

主装置タイプ／サーバタイプ 音声メールユニット 取扱説明書

このたびは、ネットコミュニティシステム
αNXII typeL（主装置タイプ）／（サーバ
タイプ）音声メールユニットをお買い求めい
ただきまして、まことにありがとうございます
ます。

- ご利用の前に、この「取扱説明書」をよく
お読みのうえ、内容を理解してからお使い
ください。
- お読みになったあとも、本商品のそばなど
いつも手もとに置いてお使いください。







安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本書を紛失または損傷したときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店でお求めください。

本書中のマーク説明

| | |
|---|--|
|  危険 | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。 |
|  警告 | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。 |
|  注意 | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。 |
|  お願い | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。 |
|  お知らせ | この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。 |
|  ワンポイント | この表示は、本商品を取り扱ううえで知っておくと便利な内容を示しています。 |

注意

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者は適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

- この取扱説明書は、ネットコミュニティシステムαNX typeL標準電話機18回線タイプを例として記載しています。
- 本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
This telephone system is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、通話、録音、通話料金管理、FAX通信、データ通信、その他のサービスの利用ができなかったために生じた損害、または本商品の登録された情報内容の消失などにより生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本商品に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いいたします。
- 本商品で万一、故障が発生した場合、録音されているメッセージについては保証いたしかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本商品は、お客様固有の情報を保存または保持可能な商品です。本商品内に保存または保持された情報の流出による不測の損害などを回避するために、本商品を廃棄、譲渡、返却される際には、本商品内に保存または保持された情報を消去する必要があります。詳しくは当社のサービス取扱所にご相談ください。
- 本商品の設置工事および修理には、工事担当者資格を必要とします。無資格者の工事、修理は違法となりまた事故のもととなりますので絶対におやめください。
- 本商品を分解したり改造したりすることは、絶対に行わないでください。
- 本書とともに必ず、ネットコミュニティシステムαNX II typeL (主装置タイプ) / (サーバタイプ) の取扱説明書をよくお読みになり、理解したうえでお使いください。
- 電話機操作について操作早見表をご使用の際は、必ず取扱説明書をよく読み理解したうえでお使いください。
- 商品の外観および機能などの仕様は、お客様にお知らせすることなく変更される場合があります。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社のサービス取扱所へお申しつけください。

Microsoft、Windows、およびWindows Mediaは、米国およびその他の国におけるMicrosoft Corporationの登録商標または商標です。

その他の社名および製品名は、それぞれの会社の登録商標または商標です。

なお、本文中には™、®マークは明記していません。



危険

●蓄電池は密閉空間には設置しないでください。爆発や火災により、感電・やけど・けがの原因となることがあります。

●蓄電池は火気の近くには設置しないでください。爆発・火災により、感電・やけど・けがの原因となることがあります。

●蓄電池を使用する場合は、次のことを必ず守ってください。蓄電池の損傷により、火災・感電の原因となることがあります。

- ・電池のプラス端子とマイナス端子間を針金などの金属類で接続しない。
- ・火の中に投入したり、加熱しない。
- ・金具工具を使用する場合は、ビニールテープなどで絶縁したものを使用する。

●蓄電池を改造または分解しないでください。蓄電池の液漏れ、発熱、破裂等により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。蓄電池の点検・調整・清掃・修理は、当社のサービス取扱所にご依頼ください。

●蓄電池内部の液が眼に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。

●蓄電池は定期的に交換してください。交換時期を過ぎて使用した場合、電槽の破損により漏電の原因となることがあります。蓄電池の交換については、当社のサービス取扱所にご依頼ください。

●蓄電池を単体では充電しないでください。電池の液漏れ、発熱、破裂等により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

設置について



- 主装置（本商品を含む）、電話機、電源アダプタ、電話機コード、電話機用コンセント、電話機コードのモジュラープラグ、(LANケーブル、LANケーブルのコネクタ)などのそばに、水や液体の入った花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品などの容器、または小さな金属類を置かないでください。主装置（本商品を含む）、電話機に水や液体がこぼれたり、小さな金属類が中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。



- 主装置（本商品を含む）、電話機、電源アダプタ、電話機コード、電話機用コンセント、電話機コードのモジュラープラグ、(LANケーブル、LANケーブルのコネクタ)は次のような環境に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

- 直射日光が当たる場所、暖房設備やボイラーなどの近くや屋外などの温度の上がる場所。
- 調理台のそばなど、油飛びや湯気の当たるような場所。
- 湿気の多い場所や水・油・薬品などのかかる恐れがある場所。
- ごみやほこりの多い場所、鉄粉、有毒ガスなどが発生する場所。
- 製氷倉庫など、特に温度が下がる場所。

- 主装置(本商品を含む)の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと、主装置の内部に熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。次のような設置のしかたはしないでください。

- 主装置（本商品を含む）を仰向けや横倒しや逆さまにしたり仰向けにする。
- 主装置（本商品を含む）を取納棚や本箱、配線ボックスなどの風通しの悪い狭い場所に押し込む。
- 主装置（本商品を含む）をじゅうたんや布団の上に置く。
- 主装置（本商品を含む）にテーブルクロスなどをかける。
- 主装置（本商品を含む）の周りに物を置いて、通風孔をふさぐ。

お取り扱いについて

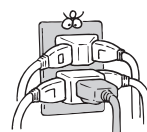


- 電源は、AC100Vの商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。



- 電源プラグは電源コンセントの奥まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、火災・感電の原因となることがあります。

- テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となることがあります。また、主装置の誤作動の原因となることもあります。



- お客様による主装置（本商品を含む）の設置工事、配線作業、修理・移動などは危険ですから絶対におやめください。主装置（本商品を含む）の設置工事、配線作業、修理、移動などを行うときは、当社のサービス取扱所にご依頼ください。

- 万一、主装置（本商品を含む）内部のヒューズ切れなどにより使用不可となった場合は、当社のサービス取扱所にご連絡ください。お客さまによるヒューズの交換は絶対に行わないでください。火災・感電の原因となることがあります。

- 万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認し、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

- 万一、主装置（本商品を含む）を倒したり、主装置（本商品を含む）のキャビネットを破損した場合は、すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

- 主装置（本商品を含む）、電話機から異常音がしたり、主装置（本商品を含む）のキャビネットが熱くなっている状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に点検をご依頼ください。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

警告

- 主装置（本商品を含む）、電話機、電源アダプタ、電話機コード、電話機用コンセント、電話機コードのモジュラープラグ、（LANケーブル、LANケーブルのコネクタ）に水をかけたり、ぬれた手で操作や電源プラグの抜き差しをしないでください。火災・感電の原因となることがあります。



- 主装置（本商品を含む）の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

- 万一、主装置（本商品を含む）、内部、電源アダプタ、LANケーブル、LANケーブルのコネクタに水などの液体が入った場合は、すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。また、LANケーブル、LANケーブルのコネクタがぬれた場合は、乾いても使用しないでください。

- 主装置（本商品を含む）、電話機を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となることがあります。内部の点検、調整、清掃、修理は当社のサービス取扱所にご依頼ください（分解、改造された主装置（本商品を含む）、電話機は修理に応じられない場合があります）。



- 主装置（本商品を含む）のキャビネットは外さないでください。感電の原因となることがあります。内部の点検、調整、清掃、修理は、当社のサービス取扱所にご依頼ください。



- 主装置（本商品を含む）の電源コードおよび電話機までの配線などを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物を乗せたり、加熱したりすると電源コードおよび電話機までの配線が破損し、火災・感電の原因となることがあります。電源コードおよび電話機までの配線が傷んだら、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。



- 主装置（本商品を含む）の電源コードおよび電話機までの配線が傷んだ状態（芯線の露出、断線など）のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

- 近くに雷が発生したときは、すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてご使用を控えてください。雷による、火災・感電の原因となることがあります。



警告

●主装置（本商品を含む）、電話機、電源コード類を熱器具に近づけないでください。キャビネットや電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

●電源プラグを電源コンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



●電源プラグは、ほこりが付着していないことを確認してから電源コンセントに差し込んでください。また、半年から1年に1回は、電源プラグを電源コンセントから抜いて点検、清掃をしてください。ほこりにより、火災・感電の原因となることがあります。なお、点検に関しては当社のサービス取扱所にご相談ください。

設置について

注意

●主装置（本商品を含む）、電話機は次のような場所に置かないでください。落ちたり倒れたりしてけがの原因となることがあります。

- ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所。
- 振動、衝撃の多い場所。



●電話機を壁掛け設置する場合は、専用の取り付け金具によりしっかりと固定設置してください。固定が不十分な場合、落下、転倒の原因となることがあります。

●屋外に渡る配線は行わないでください。特に、建物から建物へ空中を通す配線は雷などによる故障の原因となることがあります。

お取り扱いについて

注意

●ビルなどの電源系統の点検の際は、はじめに最も下の段の主装置の電源プラグを電源コンセントから抜き、次に残りのすべての主装置の電源プラグを電源コンセントから抜いてください。点検終了後は、まず最も下の段以外のすべての主装置の電源プラグを電源コンセントに接続し、最後に最も下の段の主装置の電源プラグを電源コンセントに接続してください。

●主装置（本商品を含む）、電話機の上に重い物をのせないでください。バランスがくずれて落下やけがの原因となることがあります。

●主装置（本商品を含む）、電話機に乗らないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。倒れたり、こわしたりして、けがの原因となることがあります。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

⚠ 注意

- 本商品を長時間ご使用にならないときは、安全のため必ず主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- 主装置（本商品を含む）は高度な技術によって構成された精密機器です。より安心して使用していただくためには、当社の定期点検をお受けすることをお勧めします。詳しくは、当社のサービス取扱所にお問い合わせください。
- 電話機の底面には、ゴム製のすべり止めを使用していますので、ゴムとの接触面が、まれに変色するおそれがあります。
- 電話機パネルの取り外しには先のとがったものを利用してください。指や爪で行うとけがをするおそれがあります。
- 受話音量を明瞭モードに切り替えて、音量を大きくしたまま使用すると、聴力障害の原因となることがあります。

設置について



STOP お願い

- 主装置（本商品を含む）、電話機を電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、インバータエアコン、電磁調理器など）。
 - 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通話ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
 - テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
 - 放送局や無線局などが近く、雑音が大きいときは、主装置や電話機などの設置場所を移動してみてください。
- 電話機は平らな面に置いてお使いください。落下や故障の原因となることがあります。
- 硫化水素が発生する場所（温泉地）や、塩分の多いところ（海岸）などでは、主装置（本商品を含む）、電話機などの寿命が短くなることがあります。



お取り扱いについて

STOP お願い

- 主装置（本商品を含む）、電話機などをベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。主装置（本商品を含む）、電話機などの変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。ただし電話機コードのモジュラープラグ部分は、よくしぼった場合でも、中性洗剤をつけた布では絶対にふかないでください。
 
- 停電中に主装置の電源スイッチを切らないでください。停電復旧時に使用できなくなります。
- 停電のときは、停電用電話機を使用してください。
 - ・他の内線電話機は使えません。
 - ・ドアホンは使えません。
 - ・音声メールの機能は使えません。
- ナンバー・ディスプレイのご利用に際しては、総務省の定める「発信者情報サービスの利用における発信者個人情報の保護に関するガイドライン」を尊重してご利用願います。
- ナンバー・ディスプレイを利用して着信拒否を設定している場合は、緊急の件でも着信音は鳴りませんのでご注意ください。
- ハンドセットは逆方向に掛けないでください。正常に動作できないことがあります。
- 電話機を落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。
 
- 電話機コードをひっぱらないでください。故障の原因となることがあります。

廃棄（または譲渡、返却）される場合のご注意

本商品は、お客さま固有の情報を保存または保持可能な商品です。本商品内に保存または保持された情報の流出による不測の損害などを回避するために、本商品を廃棄、譲渡、返却される際には、本商品内に保存または保持された情報を消去する必要があります。下表に従って消去または当社のサービス取扱所にご相談ください。

| 記録内容 | 処置（主装置取扱説明書参照ページ） |
|--------------|---|
| 録音内容および録音者情報 | P42を参照し、すべてのボックスの録音内容を消去してください。または、P123を参照し、VMメモリをフォーマットしてください。 |

この取扱説明書の見かた／ 添付品を確認してください

この取扱説明書の構成

- 
- 1 お使いになる前に**
お使いになる前に知っておいていただきたいことをまとめています。
 - 2 お話を録音する**
通話を録音する操作の手順について説明しています。
 - 3 メールを送る**
メールを送るための操作・機能について説明しています。
 - 4 メールを再生／消去する**
メールを再生したり、消去する操作・機能について説明しています。
 - 5 留守番電話として利用する**
留守番電話として利用するための操作・機能について説明しています。
 - 6 IVR 機能**
IVR 機能を利用するための操作・機能について説明しています。
 - 7 より便利に使う**
1～6章までの内容のほかに、利用できる便利な機能について説明しています。
 - 8 ご参考に**
便利にお使いになるための「システム設定」について説明しています。
- PC操作編**
パソコンの Web ブラウザを使って音声メールを管理する方法について説明しています。

操作説明ページの構成

章タイトル

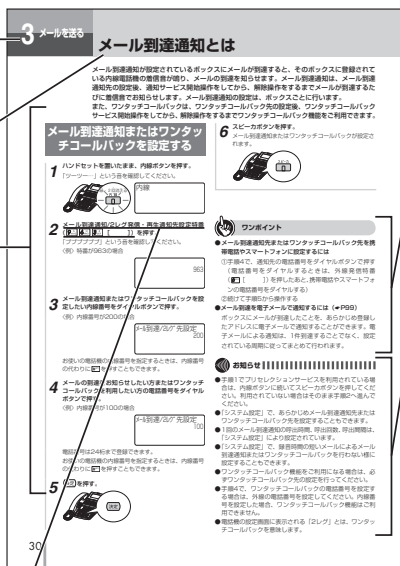
章ごとにタイトルが付けられています。

タイトル

目的ごとにタイトルが付けられています。

操作手順説明

順番に操作を説明しています。



ワンポイント

知っておくと便利な事項、操作へのアドバイスなどの補足説明を示しています。

お願いまたはお知らせ

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。

お知らせ

この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。

特番

各種機能を利用できるようにする番号のことで、

特番は、「システム設定」で変更することもできます。

この取扱説明書では、特番について次のように表しています。

〈例〉

ユーザ暗証番号設定特番 (#**17***) [])

「システム設定」で変更した場合の番号を記入してください。

お買い求め時の番号

添付品の確認

■ユニットタイプ

取扱説明書 (1部)

取扱説明書 CD (1枚)

操作早見表 (4部)

表示シール (1組)

●セットに足りないものがあつたり、取扱説明書に乱丁・落丁があつた場合には、当社のサービス取扱所へご連絡ください。

目次

安全にお使いいただくために必ずお読みください 2
この取扱説明書の見かた/
添付品を確認してください 10

1 お使いになる前に

特長 14
メールボックスについて 15
音声メール操作ボタンとランプ表示 16

2 お話を録音する

自動で録音するには (自動通話録音) 18
電話をかけるとき 18
電話がかかってきたとき 20
手動で録音するには (手動通話録音) 22
録音内容にコメントを付けるには 23

3 メールを送る

メールを送るには 24
外線を利用してメールを送るには 26
メールを転送するには 28
メール到達表示とは 29
メール到達通知とは 30
メール到達通知またはワンタッチコールバックを
設定する 30
メール到達通知サービスを開始する 31
メール到達通知に回答する 32
メール到達通知サービスまたはワンタッチコール
バックサービスを停止する 33

4 メールを再生/消去する

メールを再生するには 34
外線を利用してメールを再生するには 36
再生するメールを一覧から選択するには 38
メールをバックアップするには 39
再生中のメールにコメントを付けるには 40
再生中のメールを消去するには 41
すべてのメールを消去するには 42

5 留守番電話として利用する

留守番電話として利用するには 43
留守番電話として設定する 43

留守番電話の設定を解除する 44
留守番電話を起動する 45
留守番電話の起動を解除する 45
留守番電話が応答したとき、
他の電話機に転送する 46
留守番電話モニタ可表示とは 47
留守番電話をモニタするには 48

6 IVR機能

IVR機能を利用するには 49
IVR機能とは 49
操作の流れ 49
動作フローを作成する 50
シナリオコマンドを組み合わせる 51
シナリオを作成 (編集) する 55
応答ガイダンスを録音する 57
シナリオを確認する 57
IVR機能の利用回数を確認する 58

7 より便利に使う

暗証番号を登録するには 59
ガイダンス機能を利用するには 61
ボックスに対応したガイダンスを登録する 62
システムモードに対応したガイダンスを登録する 63
オリジナルのガイダンスを録音する 64
共用ガイダンスを録音する 65
着信を端末操作で音声メールに転送するには 66
トーカー機能を利用するには 67
トーカーを登録する 68
内線電話機に転送するには (内線呼出) 69
外線に転送するには (外線転送) 70
各種機能にアクセスするには (機能アクセス) 71
ダイヤルイン暗証番号を設定するには 73
ワンタッチコールバック再生を利用するには 74
ワンタッチコールバック発信を利用するには 75

8 ご参考に

システム設定によりご利用になれる機能 76
お話を録音する 77
メールを送る 77
メールを再生/消去する 78
その他 79
各種機能を利用するための特番一覧 80

PC 操作編

1 概要

| | |
|---------------|----|
| 特長 | 82 |
| パソコンの接続 | 83 |
| お客様にご用意いただくもの | 83 |
| 動作環境について | 83 |
| Webブラウザの設定 | 84 |
| 画面の流れ | 85 |
| 一般ユーザ | 85 |
| ユーザ管理者 | 86 |

2 操作の流れ

| | |
|-----------------|----|
| ログインするには | 89 |
| 一般ユーザとしてログインする | 89 |
| ユーザ管理者としてログインする | 90 |
| 設定画面の流れ | 91 |
| 一般ユーザの設定画面の流れ | 91 |
| ユーザ管理者の設定画面の流れ | 91 |

3 管理を行う

| | |
|--------------------------------|-----|
| 録音メッセージを管理するには | 92 |
| 録音メッセージをパソコンに保存する (一般ユーザ) | 92 |
| 録音メッセージをパソコンに保存する (ユーザ管理者) | 94 |
| 録音メッセージを消去する (一般ユーザ) | 96 |
| 録音メッセージを消去する (ユーザ管理者) | 97 |
| 録音内容を一括管理するには (音声メールアップロード) | 98 |
| 録音メッセージの管理に電子メールを利用するには | 99 |
| 電子メールサーバの利用を設定する | 101 |
| メール到達通知を設定する | 102 |
| 個別ガイダンスを管理するには | 103 |
| 個別ガイダンスをアップロードする (一般ユーザ) | 103 |
| 個別ガイダンスをアップロードする (ユーザ管理者) | 104 |
| 個別ガイダンスをダウンロードする (一般ユーザ) | 105 |
| 個別ガイダンスをダウンロードする (ユーザ管理者) | 106 |

| | |
|------------------|-----|
| 共用ガイダンスを管理するには | 108 |
| 共用ガイダンスをアップロードする | 108 |
| 共用ガイダンスをダウンロードする | 109 |

4 保守を行う

| | |
|---------------------------------|-----|
| メールの再生順を設定するには | 110 |
| 付加番号ダイヤルイン入力エラー時の 転送先を設定するには | 111 |
| 録音可能時間やメールの件数を 確認するには | 112 |
| 録音可能時間・件数を確認する (一般ユーザ) | 112 |
| 録音可能時間・件数を確認する (ユーザ管理者) | 112 |
| IPシステムデータを設定するには | 113 |
| IPアドレス設定をする | 113 |
| VLAN環境設定をする | 114 |
| ワンタッチコールバック機能を設定するには | 115 |
| ワンタッチコールバック発信通知番号を 設定するには | 116 |
| 音声メールアップロードを設定するには | 117 |
| 音声メールアップロード機能を設定する | 117 |
| 音声メールアップロードの有無を設定する | 118 |
| 接続タイムアウト時間を変更するには | 119 |
| WEB設定データを管理するには | 120 |
| WEB設定データをアップロードする (PC→VM) | 120 |
| WEB設定データをダウンロードする (VM→PC) | 121 |
| パソコンから音声メール機能をリセットするには | 122 |
| パソコンからVMメモリをフォーマットするには | 123 |
| ユーザ管理者IDを変更するには | 124 |

5 ご参考に

| | |
|------------|-----|
| 停電になったときは | 125 |
| 故障かな?と思ったら | 126 |
| 索引 | 127 |
| 仕様 | 130 |
| 保守サービスのご案内 | 131 |

特長

電話での通話を録音

音声メールを装着すると、電話機を使ってお話ししている内容を録音できます。お話しを始めたと同時に録音すること（自動通話録音）も、録音したいときに操作して録音すること（手動通話録音）もできます。録音したメッセージ（メール）を他の方に送ることもできます。



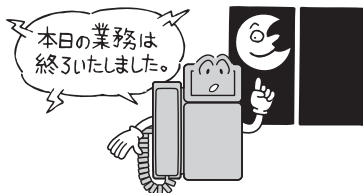
外出先からアクセス可能

外出先から音声メールへアクセスして、録音されているメッセージを再生または相手の方へのメールを録音することができます。さらに、音声メールのガイダンスを利用した内線呼出や外線転送、システムモードの設定などの機能へのアクセスがあります。



不在のときでも着信代行

夜間や休日などの電話に、音声メールが代わって応答します。ご用意しているメッセージの他にも、お客様でご自由にメッセージを録音することができます。また、トーキー機能もご利用いただけます。



音声ガイダンスで簡単操作

操作の内容は、音声ガイダンスが案内します。ガイダンスに従ってメール操作が簡単に行えます。



暗証番号を自由に設定

メールの再生、録音、消去などを行うときの暗証番号を自由に設定できます。



充実した留守番電話・録音通知機能

不在時には、音声メールを留守番電話として利用できます。また、メッセージが録音されたことを、電話の発信や電子メールの送信によって通知することもできます。

IVR 機能

音声による自動応答を行う機能で、発信者のダイヤル操作に合わせて、シナリオに沿ってあらかじめ録音してある音声を発信者に自動的に再生し、メッセージ録音、内線呼出や外線転送を行うことができます。

STOP お願い

相手の方に無断で通話録音をしないでください。通話録音は、必ず相手の方の了解を得てから録音を始めてください。個人のプライバシーの侵害にあたる場合があります。特に着信自動録音に設定されている電話機では相手の方の了解を得られない場合は、通話中に取消ボタンを押して通話録音を中止してください。



お知らせ

- 外出先から音声メールにアクセスする場合は、プッシュホン電話機または回転ダイヤル式電話機で、トーン信号（PB）に切り替えられる電話機をお使いください。

メールボックスについて

音声メールで、録音された内容は、メールボックスという単位で管理します。「システム設定」により、お使いの電話機の内線番号や外線にボックス番号を対応させて使用します（内線ボックス、外線ボックス）。メールボックスは「システム設定」により、共通ボックス、同報ボックスとしてもご利用になれます。

■内線ボックス

内線に 1 対 1 で対応したメールボックスです。
内線ボックスは、ボックスボタンに登録して利用することもできます。
ボックス番号は、001 ～ 500 がお使いになれます。

■同報ボックス

複数の内線ボックスや外線ボックスを 1 つにまとめたメールボックスです。
同じメッセージを一度の操作で複数のボックスに送る場合にご利用ください。
同報ボックスは、内線番号やボックスボタンに登録してご利用になれます。
1 つの同報ボックスに最大 16 ボックスまでまとめて利用することができます。
同報ボックスの最大は 16 ボックスです。
ボックス番号は、501 ～ 516 がお使いになれます。

■外線ボックス

外線に 1 対 1 で対応したメールボックスです。
外線ボックスはボックスボタンに登録してご利用になれます。
ボックス番号は、001 ～ 500 がお使いになれます。

■共通ボックス

1 つのボックスを、複数の内線、複数の外線、複数の内線と外線に登録して使用するメールボックスです。
複数の内線や外線で共通に利用することができます。
共通ボックスはボックスボタンに登録してご利用になれます。
ボックス番号は、001 ～ 500 がお使いになれます。

音声メール操作ボタンとランプ表示

お使いになっている電話機（αNXII typeL（主装置タイプ／サーバタイプ））やコンソールに、音声メール操作のボタンを設定することによって、操作が簡単になります。なお、イラストはネットコミュニティシステムαNX typeL標準電話機18キータイプを例として記載しています。詳しくは、設置工事のときにご相談ください。

標準電話機（18キータイプ）



回線ボタン

未使用の回線ボタンに次のボタンを設定することができます。

- 録音…………… お話しの録音を開始する
録音中に押すと、一時停止となる
- 取消…………… お話しやコメントの録音、メール送信を途中で取りやめる
再生中のメールを消去する
- コメント……… メールにコメントを付ける
- 留守…………… 留守番電話機能を設定／解除する
- メール送信… 録音中のメールを送信する
再生中のメールを送信する
- 再生…………… メールを再生する
- ボックス……… メールボックスを指定する
ボックスに録音されているメールを再生する
- 録音モード… 自動通話録音／手動通話録音を切り替える

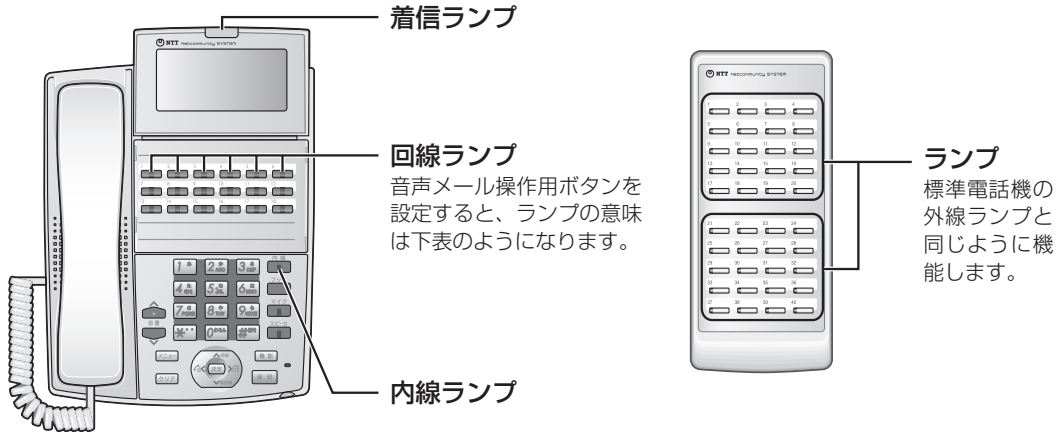
※ 再生ボタンは、暗証番号をダイヤルしないでメールを再生できるボタンで、ボックスボタンと同様に操作できます。

コンソール



標準電話機での設定と同じように未使用のボタンを設定することができます。

【ランプ表示】



着信ランプ

回線ランプ

音声メール操作ボタンを設定すると、ランプの意味は下表のようになります。

内線ランプ

ランプ

標準電話機の外線ランプと同じように機能します。

■ ランプの表記について

この取扱説明書では、ランプについて以下のように表します。



| ランプの種類 | ランプのつきかた (色) | 電話機の状態 |
|----------|--------------|----------------------|
| 着信ランプ | 速い点滅 (赤) | メール到達通知されたとき |
| 内線ランプ | 速い点滅 (赤) | メール到達通知されたとき |
| 録音ランプ | 点灯 (赤) | 録音中 |
| | 点滅 (赤) | 録音一時停止中 |
| | 速い点滅 (赤) | 録音時間オーバー、録音できないとき |
| 取消ランプ | — | (ランプは点灯・点滅しません) |
| コメントランプ | 2回消える (緑) | コメント録音中 |
| | 速い点滅 (赤) | コメントが録音できないとき |
| | 点滅 (緑) | コメント録音一時停止中 |
| 留守ランプ | 2回消える (赤) | 留守番電話起動中、留守番電話の設定操作中 |
| メール送信ランプ | 2回消える (緑) | メール送信中、送信先の設定操作完了 |
| | 点滅 (赤) | 送信先の設定操作中 |
| | 点滅 (緑) | メール送信一時停止中 |
| | 速い点滅 (赤) | 送信できないとき |
| 再生ランプ | 2回消える (緑) | メール再生中 |
| | 点滅 (緑) | メールが録音されたとき |
| | 点灯 (赤) | 音声メールが使えないとき |
| ボックスランプ | 2回消える (緑) | メール再生中 |
| | 点滅 (緑) | メールが録音されたとき |
| | 点灯 (赤) | 音声メールが使えないとき |
| 録音モードランプ | 点灯 (赤) | 自動通話録音設定中 |

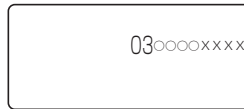
自動で録音するには (自動通話録音)

外の相手の方とお話の内容を自動的に録音することができます。ただし、内線でのお話しは録音されません。自動通話録音は「システム設定」で設定されている必要があります。

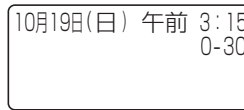
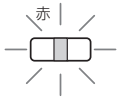
電話をかけるとき

外の相手の方とお話しを始めると、自動的に録音を開始します。お使いの電話機に対応するボックスに録音されます。

- 1** 外線で電話をかける。
電話番号が表示されます。



- 2** 相手の方がでたら、お話しする。
録音ランプが点灯し、お話しの内容が録音されます。



- 3** お話しが終わったら、ハンドセットを置く。
録音が終了し、録音ランプが消えます。



ワンポイント

●自動通話録音の種類

お話しを自動的に録音するには、下のどの条件で録音を開始するかを「システム設定」で設定する必要があります。

- 電話をかけて、相手の方とお話しを始めたときから録音する
- かけてきた相手の方とお話しを始めたときから録音する
- 転送されてきた相手の方とお話しを始めたときから録音する

●録音を一時停止するには

- 録音中に録音ボタンを押します。録音を再開したいときは、もう一度録音ボタンを押します。
- 録音中に [M] を押します。録音を再開したいときは、もう一度 [M] を押します。

●録音内容にコメントを録音するには

録音内容にコメントを付けることができます。(P23)

●録音内容を転送するには

録音内容を他のボックスに転送することができます。(P28)

●保留を行ったときには

保留を行うと、録音は一時停止します。保留に回答すると、再び録音を開始します。ただし、保留中は録音を終了したり、中止することはできません。

●録音を終了するには

録音中または録音一時停止中に録音を終了したいときは、[#] [#] を押します。

●録音を中止するには

録音中または録音一時停止中に、取消ボタンを押します。

●録音中止後に録音を再開したいときは

録音を中止したあとで、録音ボタンを押します。

●録音中に相手の方が電話を切ったときは

切断されました。

というガイダンスが流れ、自動的に録音を終了します。

●録音件数や録音時間を設定するには

1つのボックスに録音できる数や、1回の操作で録音できる時間を「システム設定」することができます。

●録音モードを切り替えるには

「システム設定」で、録音モードが自動通話録音に設定されているときに、録音モードボタンを押すと、手動通話録音に切り替えることができます。再度、録音モードボタンを押すと自動通話録音モードに戻ります。

また、次の操作でも切り替えられます。手順①で内線ボタンを押すと、ワンタッチオンフックサービスを利用されている場合は、スピーカランプが自動的に点灯します。それ以外の場合はスピーカボタンを押してください。

〈手動通話録音モードに切り替える〉

- ①ハンドセットを置いたまま、内線ボタンを押す
- ②自動通話録音モード解除特番 (9^{ext} 6^{ext} 7^{ext}) []) を押す
- ③スピーカボタンを押す

〈自動通話録音モードに切り替える〉

- ①ハンドセットを置いたまま、内線ボタンを押す
- ②自動通話録音モード設定特番 (9^{ext} 6^{ext} 6^{ext}) []) を押す
- ③スピーカボタンを押す

●録音時間が一定時間を超えたときは

「システム設定」により設定された録音時間が経過すると、「システム設定」の内容により、次のようになります。

- 録音が終了し、録音ランプが赤で速く点滅します。再度、録音ボタンを押すと、新しいメッセージとして録音されます。
- 録音時間が経過した時点で、それまでの録音内容は消去され、続けて録音されます。

●録音時間が一定時間に満たなかったときは

「システム設定」によって、録音時間の短い録音を自動で消去するように設定することもできます。

**お知らせ**

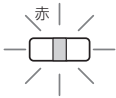
- 内線でのお話しは、自動通話録音されません。手動での通話録音は可能です。(☛P22)
- 録音した内容をお使いの電話機のボックスに保存するかどうかは「システム設定」で設定します。(☛P77)
- お話しを録音中に次の操作をすると、録音は終了します。
 - 他の方に電話を転送する
 - 会議通話をする
 - フックキーを押す
- 録音ランプが赤で速く点滅しているときは、録音できません。
- 通話録音中に長時間保留後、長時間保留警報による着信に応答すると、再び録音を開始します。ハンドセットを置くと録音は終了します。
- ハンズフリーでお話し中の場合も録音されます。
- 通話録音中の外線を音声メールに保留転送することはできません。

電話がかかってきたとき

外からかかってきた電話に応答すると、自動的に録音を開始します。お使いの電話機に対応するボックスに録音されます。

1 着信音が鳴ったら、応答操作を行い、ハンドセットを上げる。

2 相手の方とお話する。
録音ランプが点灯し、お話しの内容が録音されます。



10月19日(日) 午前 3:15
0-30

3 お話しが終わったら、ハンドセットを置く。
録音が終了し、録音ランプが消えます。



ワンポイント

●自動通話録音の種類

お話しを自動的に録音するには、下のどの条件で録音を開始するかを「システム設定」で設定する必要があります。

- 電話をかけて、相手の方とお話しを始めたときから録音する
- かけてきた相手の方とお話しを始めたときから録音する
- 転送されてきた相手の方とお話しを始めたときから録音する

●録音を一時停止するには

- 録音中に録音ボタンを押します。録音を再開したいときは、もう一度録音ボタンを押します。
- 録音中に [M] を押します。録音を再開したいときは、もう一度 [M] を押します。

●録音内容にコメントを録音するには

録音内容にコメントを付けることができます。(P23)

●録音内容を転送するには

録音内容を他のボックスに転送することができます。(P28)

●保留を行ったときには

保留を行うと、録音は一時停止します。保留に応答すると、再び録音を開始します。ただし、保留中は録音を終了したり、中止することはできません。

●録音を終了するには

録音中または録音一時停止中に録音を終了したいときは、[#] [#] を押します。

●録音を中止するには

録音中または録音一時停止中に、取消ボタンを押します。

●録音中止後に録音を再開したいときは

録音を中止したあとで、録音ボタンを押します。

●録音中に相手の方が電話を切ったときは

切断されました。

というガイダンスが流れ、自動的に録音を終了します。

●録音件数や録音時間を設定するには

1つのボックスに録音できる数や、1回の操作で録音できる時間を「システム設定」することができます。

●録音モードを切り替えるには

「システム設定」で、録音モードが自動通話録音に設定されているときに、録音モードボタンを押すと、手動通話録音に切り替えることができます。再度、録音モードボタンを押すと自動通話録音モードに戻ります。

また、次の操作でも切り替えられます。手順①で内線ボタンを押すと、ワンタッチオンフックサービスを利用されている場合は、スピーカランプが自動的に点灯します。それ以外の場合はスピーカボタンを押してください。

〈手動通話録音モードに切り替える〉

- ①ハンドセットを置いたまま、内線ボタンを押す
- ②自動通話録音モード解除特番 (9.00 6.00 7.00 []) を押す
- ③スピーカボタンを押す

〈自動通話録音モードに切り替える〉

- ①ハンドセットを置いたまま、内線ボタンを押す
- ②自動通話録音モード設定特番 (9.00 6.00 6.00 []) を押す
- ③スピーカボタンを押す

●録音時間が一定時間を超えたときは

「システム設定」により設定された録音時間が経過すると、「システム設定」の内容により、次のようになります。

- 録音が終了し、録音ランプが赤で速く点滅します。再度、録音ボタンを押すと、新しいメッセージとして録音されます。
- 録音時間が経過した時点で、それまでの録音内容は消去され、続けて録音されます。

●録音時間が一定時間に満たなかったときは

「システム設定」によって、録音時間の短い録音を自動で消去するように設定することもできます。

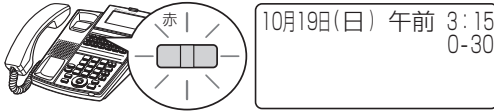
お知らせ 

- 内線でのお話しは、自動通話録音されません。手動での通話録音は可能です。(☛P22)
- 録音した内容をお使いの電話機のボックスに保存するかどうかは「システム設定」で設定します。(☛P77)
- お話しを録音中に次の操作をすると、録音は終了します。
 - 他の方に電話を転送する
 - 会議通話をする
 - フックキーを押す
- 録音ランプが赤で速く点滅しているときは、録音できません。
- 通話録音中に長時間保留後、長時間保留警報による着信に応答すると、再び録音を開始します。ハンドセットを置くと録音は終了します。
- ハンズフリーでお話し中の場合も録音されます。
- 通話録音中の外線を音声メールに保留転送することはできません。

手動で録音するには (手動通話録音)

相手の方とお話し中に、録音開始の操作をすると録音されます。外線、内線どちらをお使いのときも録音できます。お使いの電話機に対応しているボックスに録音されます。

- 1** 相手の方とお話し中に、録音ボタンを押す。
録音ランプが点灯し、お話しの内容が録音されます。



- 2** お話しが終わったら、ハンドセットを置く。
録音が終了し、録音ランプが消えます。



ワンポイント

- **録音を一時停止するには**
 - 録音中に録音ボタンを押します。録音を再開したいときは、もう一度録音ボタンを押します。
 - 録音中に[*]を押します。録音を再開したいときは、もう一度[*]を押します。
- **保留を行ったときには**
保留を行うと、録音は一時停止します。保留に応答すると、再び録音を開始します。ただし、保留中は録音を終了したり、中止することはできません。
- **録音を終了するには**
録音中または録音一時停止中に録音を終了したいときは、[#] [#]を押します。
- **録音を中止するには**
録音中または録音一時停止中に、取消ボタンを押します。
- **録音中止後に録音を再開したいときは**
録音を中止したあとで、録音ボタンを押します。
- **録音件数や録音時間を設定するには**
1つのボックスに録音できる数や、1回の操作で録音できる時間を「システム設定」することができます。
- **録音時間が一定時間を超えたときは**
「システム設定」により設定された録音時間が経過すると、「システム設定」の内容により、次のようになります。
 - 録音が終了し、録音ランプが赤で速く点滅します。再度、録音ボタンを押すと、新しいメッセージとして録音されます。
 - 録音時間が経過した時点で、それまでの録音内容は消去され、続けて録音されます。
- **録音時間が一定時間に満たなかったときは**
「システム設定」によって、録音時間の短い録音を自動で消去するように設定することもできます。
- **録音中に相手の方が電話を切ったときは**
[] 切断されました。
というガイダンスが流れ、自動的に録音を終了します。



お知らせ

- 録音した内容をお使いの電話機のボックスに保存するかどうかは「システム設定」で設定します。(P77)
- お話しを録音中に次の操作をすると、録音は終了します。
 - 他の方に電話を転送する
 - 会議通話をする
 - フックキーを押す
- 録音ランプが赤で速く点滅しているときは、録音できません。
- 通話録音中に長時間保留後、長時間保留警報による着信に応答すると、再び録音を開始します。ハンドセットを置くと録音は終了します。
- ハンズフリーでお話し中の場合も録音されます。
- 通話録音中の外線を音声メールに保留転送することはできません。

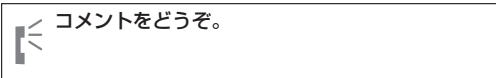
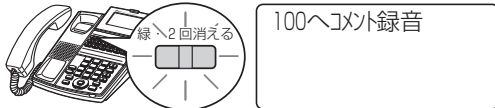
録音内容にコメントを付けるには

録音中または録音一時停止中に、録音した内容の前または後にコメントを付けることができます。コメントを付けたあと、そのメールを他のボックスに転送することもできます。

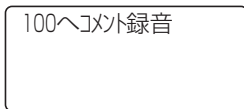
1 お話しを録音中または録音の一時停止中に、コメントボタンを押す。

コメントボタンを押したときに録音が終了します。

〈例〉内線番号が100の場合

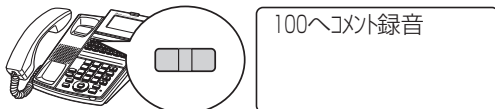


2 コメントをお話する。



3 お話しが終わったら、コメントボタンを押す。

コメントの録音が終了し、コメントランプが消えます。



ワンポイント

- 通話録音中にコメントボタンを押したときは相手の方とのお話しを終了し、コメントの録音を開始します。
- コメントの録音を一時停止するには録音中に **[*]** を押すと、**[<]** 録音を中断しました。というガイダンスが流れ、録音を一時停止します。もう一度 **[*]** を押すと、**[<]** 録音を再開しました。というガイダンスが流れ、再び録音できます。
- 録音を終了するには録音中または録音一時停止中に録音を終了したいときは、**[##]** **[#]** を押します。
- コメントの位置を決めるにはコメントの位置は「システム設定」で、録音した内容（メール）の前または後のどちらかに指定できます。
- コメントの録音を途中で取り消すにはコメントの録音中または録音一時停止中に取消ボタンを押すと、コメント録音は中止され取り消されます。
- コメントの録音後、メールを転送するには手順2でコメントをお話したあと、メールの転送操作を行います。（●P28）
- コメントの録音時間が一定時間に満たなかったときは「システム設定」で設定された録音時間にコメント録音が満たなかった場合は、そのコメントは自動で消去されます。
- 一時停止した録音を自動で再開させるには「システム設定」で一時停止した録音を自動で再開させることができます。録音を再開した場合、「録音を再開しました」というガイダンスが流れます。（●P77）



お知らせ

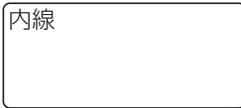
- 手順1でコメントボタンを押したとき、コメントランプが赤で速く点滅すると、コメントの録音はできません。
- すでにコメントの付いているメールに再びコメントを付けると、前に付いていたコメントは消去されて、新しいコメントが付きます。ハンズフリーでお話し中の場合も録音されます。

メールを送るには

内線電話機より他の方のボックスにメールを録音することができます。

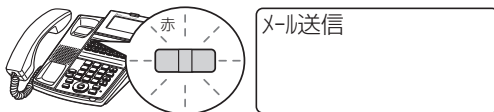
1 電話が使用中でないことを確認し、ハンドセットを上げる。

「ツーツー…」という音を確認してください。
内線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。



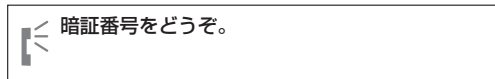
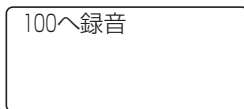
2 メール送信ボタンを押す。

メール送信ランプが点滅します。

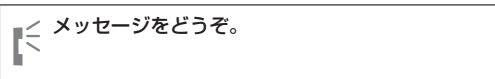
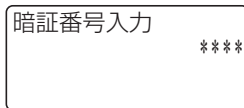


3 ダイヤルボタンで相手の方の内線番号、またはボックスボタンを押す。

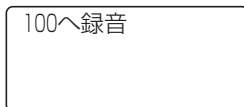
メール送信ランプが点灯し、周期的に2回消えます。
〈例〉内線番号が100の場合



4 録音・消去用の暗証番号をダイヤルボタンで押す。



5 メッセージをお話する。



6 お話が終わったら、ハンドセットを置く。

録音したメールが、相手の方のボックスへ送信され、メール送信ランプが消えます。



ワンポイント

- 録音を一時停止するには
録音中に [＊] を押すと、
[←] 録音を中断しました。
というガイダンスが流れ、録音を一時停止します。
もう一度 [＊] を押すと、
[←] 録音を再開しました。
というガイダンスが流れ、再び録音できます。
- 録音を終了するには
録音中または録音一時停止中に録音を終了したいときは、
[#] [#] を押します。
- メールを送信を中止するには
メッセージの録音中または録音一時停止中に、取消ボタンを押します。
- 暗証番号が設定されていないときは
手順3で、
[←] メッセージをどうぞ。
というガイダンスが聞こえたら、手順5から行ってください。
- 録音中のメールにコメントを録音するには
録音中のメールにコメントを付けることができます。
(☛P23)
- メールを転送するには
録音したメールを他のボックスに転送することができます。
(☛P28)

- 一度に複数のボックスにメールを送るには（同報メール）
手順3で、同報メール用の内線番号またはボックスボタンを押すと、同報ボックスとして登録されているすべてのボックスに送信されます。
- 呼び出した内線電話機がお話中、または応答しないときにメールを送るには
 - ①ハンドセットを上げて、「ツーツー…」という音を確認する
 - ②内線番号をダイヤルボタンで押す
 - ③話中音または呼出音を確認する
 - ④メール送信ボタンを押す
 - ⑤手順4から操作する
- メール送信ボタンを押さずにメールを送るには
手順2でメール送信ボタンの代わりに、メール送信特番（**9** **6** **1** []）を押します。
- 録音時間が一定時間に満たなかったときは
「システム設定」によって、録音時間の短い録音を自動で消去するように設定することもできます。
- 一時停止した録音を自動で再開させるには
「システム設定」で一時停止した録音を自動で再開させることができます。録音を再開した場合、「録音を再開しました」というガイダンスが流れます。（▶P77）



お知らせ

- 暗証番号を3回間違えて押すと、音声メールから切断されます。暗証番号を確認して始めから操作をやり直してください。
- 同報メールを行うには、「システム設定」が必要です。
- 操作をボックスボタンで行った場合で、そのボックスボタンに対応した内線番号がシステム設定されていない場合は、ディスプレイの内線番号は「-----」と表示されます。
また、システム設定によりひとつのボックスを複数の内線に登録した場合は、操作した内線番号と違う内線番号がディスプレイに表示される場合があります。

外線を利用してメールを送るには

外から電話をかけて、指定したボックスにメッセージを録音することができます。(メールサービス)。「システム設定」でメールサービスが設定されていることが必要です。

1 「音声メール」へ電話をかける。



ダイヤリングサービスを行います。サービス番号をどうぞ。

2 [2] を押す。

こちらはメールボックスです。再生は 1 を、録音は 2 をダイヤルしてください。

3 [2] を押す。

内線番号をどうぞ。

4 録音する内線番号をダイヤルボタンで押す。

暗証番号をどうぞ。

5 録音・消去用の暗証番号をダイヤルボタンで押す。

メッセージをどうぞ。

6 お話する。

お話しの内容が録音されます。



7 お話しが終わったら、電話を切る。

録音が終了します。



ワンポイント

- 録音を一時停止するには
録音中に[*]を押すと、
録音を中断しました。
というガイダンスが流れ、録音を一時停止します。
もう一度[*]を押すと、
録音を再開しました。
というガイダンスが流れ、再び録音できます。
- 録音を終了するには
録音中または録音一時停止中に録音を終了したいときは、
[END]を押します。
- 録音を終了し、再生または録音を選択する操作に戻るには
録音中または録音停止中に[0]を押すと、録音を終了し、音声メールへ電話をかけたときのガイダンスに戻ります。
- 暗証番号が設定されていないときは
手順4で、
メッセージをどうぞ。
というガイダンスが聞こえたら、手順6から行ってください。
- 内線電話機からご利用になるには
「システム設定」でメールサービスが設定されていない場合もご利用になれます。
①ハンドセットを上げて、「ツーツ…」という音を確認する
②音声メールへの内線番号をダイヤルボタンで押す
③続けて手順3から操作する
- 録音時間が一定時間に満たなかったときは
「システム設定」によって、録音時間の短い録音を自動で消去するように設定することもできます。
- ガイダンス再生中にダイヤルボタンを押したときは
ガイダンスの再生が中断され、押したダイヤルに対応したサービスが開始されます。
- 一時停止した録音を自動で再開させるには
「システム設定」で一時停止した録音を自動で再開させることができます。録音を再開した場合、「録音を再開しました」というガイダンスが流れます。(P77)



お知らせ

- 内線番号、暗証番号を3回間違えて押すと、音声メールから切断されます。内線番号、暗証番号を確認して始めから操作をやり直してください。
- お話ししている外線を内線から音声メールへ保留転送してもらい、メッセージを録音することもできます。音声メールに保留転送された場合、ガイダンスが途中から再生されます。
- 外線から音声メールを録音した場合、音声メールへ蓄積される発信者情報は外線の番号になります。
- 外線の番号を表示させるためのナンバーディスプレイ（発信電話番号表示サービス）を利用するには当社との利用契約が必要です。
- 「システム設定」によって、音声メールが応答した場合に録音したガイダンス（共用ガイダンス）を再生することができます。（☛P65）
- 「システム設定」によって設定できる音声メール応答時の共用ガイダンスは、1種類のみです。
- 音声メール応答時の共用ガイダンスは、応答したあとに1回だけ再生されます。
- ガイダンスが聞こえている間にダイヤルボタンを押した場合、正常に動作しないことがあります。ガイダンスが終了してからダイヤルボタンを押してください。

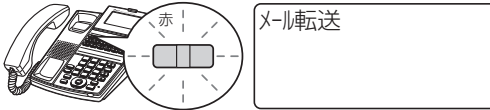
メールを転送するには

メールを他の方のボックスに転送することができます。一度の操作で最大16ボックスに送ることができます。

1 お話しの録音中、録音一時停止中、コメント録音中、メールの再生中に、メール送信ボタンを押す。

メール送信ランプが点滅します。

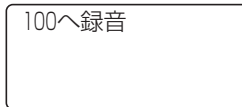
〈例〉録音中にメールを転送する場合



2 ダイヤルボタンで相手の方の内線番号、またはボックスボタンを押す。

メール送信ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

〈例〉内線番号が100の場合



複数のボックスに送るときは、手順1、2を繰り返します。

3 ハンドセットを置く。

メールが相手のボックスへ送信され、メール送信ランプが消えます。



ワンポイント

● 転送先を取り消すには

手順2で取消ボタンを押すと、それまでに設定したすべての転送先を取り消すことができます。



お知らせ

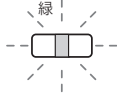
- 「システム設定」により、転送したメールを元のボックスに残すか残さないかを設定することができます。
 - メール転送先の設定中でも、コメントを録音することができます。
 - 手順2で、同報メール用の内線番号またはボックスボタンを指定することもできます。
 - 操作をボックスボタンで行った場合で、そのボックスボタンに対応した内線番号がシステム設定されていない場合は、ディスプレイの内線番号は「-----」と表示されます。
- また、システム設定によりひとつのボックスを複数の内線に登録した場合は、操作した内線番号と違う内線番号がディスプレイに表示される場合があります。

メール到達表示とは

お使いの電話機に登録されているボックスボタンまたは再生ボタンのボックスにメールが到達すると、そのボックスランプまたは再生ランプが点滅してメールがきたことをお知らせします。

1 ボックスにメールが到達すると、ボックスランプまたは再生ランプが点滅する。

(ボックスランプ/再生ランプ)



ワンポイント

- メール到達時のランプ表示について
ボックスにメールが到達したときのボックスランプまたは再生ランプの状態を、「システム設定」で設定することができます。(☛P78)
- メール到達を電子メールで通知するには (☛P99)
ボックスにメールが到達したことを、あらかじめ登録したアドレスに電子メールで通知するように設定できます。

メール到達通知とは

メール到達通知が設定されているボックスにメールが到達すると、そのボックスに登録されている内線電話機の着信音が鳴り、メールの到達を知らせます。メール到達通知は、メール到達通知先の設定後、通知サービス開始操作をしてから、解除操作をするまでメールが到達するたびに着信音でお知らせします。メール到達通知の設定は、ボックスごとに行います。

また、ワンタッチコールバックは、ワンタッチコールバック先の設定後、ワンタッチコールバックサービス開始操作をしてから、解除操作をするまでワンタッチコールバック機能をご利用できます。

メール到達通知またはワンタッチコールバックを設定する

- 1** ハンドセットを置いたまま、内線ボタンを押す。
「ツーツー…」という音を確認してください。



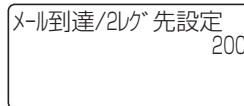
- 2** メール到達通知/2レグ発信・再生通知先設定特番 (9 6 3) [] を押す。

「プププププ」という音を確認してください。
〈例〉特番が963の場合



- 3** メール到達通知またはワンタッチコールバックを設定したい内線番号をダイヤルボタンで押す。

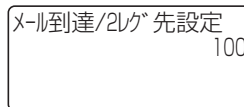
〈例〉内線番号が200の場合



お使いの電話機の内線番号を指定するときは、内線番号の代わりに # を押すこともできます。

- 4** メールの到達をお知らせしたい方またはワンタッチコールバックを利用したい方の電話番号をダイヤルボタンで押す。

〈例〉内線番号が100の場合



電話番号は24桁まで登録できます。

お使いの電話機の内線番号を指定するときは、内線番号の代わりに # を押すこともできます。

- 5** [決定] を押す。



- 6** スピーカボタンを押す。
メール到達通知またはワンタッチコールバックが設定されます。



ワンポイント

- メール到達通知先またはワンタッチコールバック先を携帯電話やスマートフォンに設定するには

①手順4で、通知先の電話番号をダイヤルボタンで押す（電話番号をダイヤルするときは、外線発信特番 (0) [] を押したあと、携帯電話やスマートフォンの電話番号をダイヤルする）

②続けて手順5から操作する

- メール到達を電子メールで通知するには (P99)

ボックスにメールが到達したことを、あらかじめ登録したアドレスに電子メールで通知することができます。電子メールによる通知は、1件到達することでなく、設定されている周期に従ってまとめて行われます。

お知らせ

- 手順1でプリセクションサービスを利用されている場合は、内線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。利用されていない場合はそのまま手順2へ進んでください。

- 「システム設定」で、あらかじめメール到達通知先またはワンタッチコールバック先を設定することもできます。

- 1回のメール到達通知の呼出時間、呼出回数、呼出間隔は、「システム設定」により設定されています。

- 「システム設定」で、録音時間の短いメールによるメール到達通知またはワンタッチコールバックを行わない様に設定することもできます。

- ワンタッチコールバック機能をご利用になる場合は、必ずワンタッチコールバック先の設定を行ってください。

- 手順4で、ワンタッチコールバックの電話番号を設定する場合は、外線の電話番号を設定してください。内線番号を設定した場合、ワンタッチコールバック機能はご利用できません。

- 電話機の設定画面に表示される「2レグ」とは、ワンタッチコールバックを意味します。

メール到達通知サービスを開始する

- 1** ハンドセットを置いたまま、内線ボタンを押す。
「ツーツー…」という音を確認してください。



内線

- 2** メール到達通知起動特番 (9^ワ 6^ハ 4^タ [])
を押す。

「ブブブブブ」いう音を確認してください。
〈例〉特番が964の場合

964

- 3** メール到達通知サービスを開始したい方の内線番号
をダイヤルボタンで押す。

〈例〉内線番号が200の場合

メール到達通知起動 200



メール到達通知起動
100

メール到達通知先の
電話番号

お使いの電話機の内線番号を指定する場合は、内線番号
の代わりに # を押すこともできます。

- 4** [決定] を押す。
「ピーピー」という確認音が聞こえます。



- 5** スピーカボタンを押す。
メール到達通知サービスを開始します。



ワンポイント

- ワンタッチコールバックサービスを開始するには
 - ①手順2で、2レグ発信・再生起動特番 (9^ワ 6^ハ 4^タ [])
を押す。
 - ②続けて手順3から操作する。

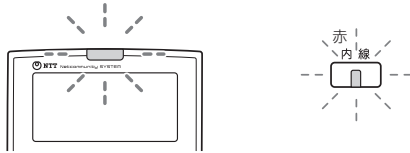


お知らせ

- 手順1でプリセクションサービスを利用されている場合は、内線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。利用されていない場合はそのまま手順2へ進んでください。

メール到達通知に応答する

- 1 メール到達通知されると、着信音が鳴り、着信ランプと内線ランプが速く点滅する。



- 2 ハンドセットを上げる。

☎ こちらはメールボックスです。暗証番号をどうぞ。

- 3 メール再生用の暗証番号をダイヤルボタンで押す。

☎ メールは××件あります。

- 4 メールの内容を聞く。



お知らせ

- お聞きになっているメールによっては、ダイヤルボタンでメール再生中の発信特番を押しても、録音した方へ発信できない場合があります。録音した方へ発信できない場合、メール再生中の発信特番を押してもメールの再生が継続になる場合や、メールをお聞きになっている電話が切れる場合があります。詳しくは販売店やサービス取扱所にご相談ください。
- メール再生中の発信特番については、外線からメールをお聞きになっている場合のみ、操作することができます。内線の電話機でメールをお聞きになっている場合に操作を行うとメールをお聞きになっている電話は切断されません。
- 録音した方の番号通知がないメールの場合、ワンタッチコールバック発信を行うことはできません。メール再生中発信特番の操作は無視されます。
- ワンタッチコールバック発信を行う場合、メールが再生されているときにメール再生中の発信特番をダイヤルしてください。ダイヤルを押したタイミングによっては、ダイヤル操作が有効とならない場合があります。



ワンポイント

- 暗証番号が設定されていないときは
手順2で、
☎ こちらはメールボックスです。メールは××件あります。
というガイダンスが流れ、メールが再生されます。
- ダイヤルボタンを使った再生時のメール操作
再生中に下表のダイヤルボタンを押して操作します。

| | 内 容 |
|-----|---------------------|
| 1 | 同じメールを繰り返し再生する |
| 2 | メールをバックアップする (☎P39) |
| 3 | メールを消去する (☎P41) |
| 4 | 前のメールを再生する |
| 6 | 次のメールを再生する |
| 7 | メールを数秒間巻き戻す |
| 9 | メールを数秒間早送りする |
| * * | すべてのメールを消去する (☎P42) |

※ 左ボタンでダイヤルボタン 4、右ボタンでダイヤルボタン 6 を押したときと同じ操作ができます。

- ワンタッチコールバック発信を利用するには
メール到達通知を携帯電話やスマートフォン等に設定している場合など、外線からメールの内容をお聞きになっているときにダイヤルボタンでメール再生中の発信特番 (☎ #) [] を押すと、録音した方へ発信してお話することができます。ご利用になるにはワンタッチコールバックデータ設定 (☎P115) とシステム設定を行う必要があります。

メール到達通知サービスまたはワンタッチコールバックサービスを停止する

- 1** ハンドセットを置いたまま、内線ボタンを押す。
「ツーツー…」という音を確認してください。



内線

- 2** メール到達通知/2レグ発信・再生通知停止特番 (9 65) を押す。

「プププププ」いう音を確認してください。

〈例〉特番が965の場合

965

- 3** メール到達通知サービスまたはワンタッチコールバックサービスを終了したい方の内線番号をダイヤルボタンで押す。

〈例〉内線番号が200の場合

メール到達通知/2レグ 停止
200



メール到達通知/2レグ 停止
100

メール到達通知先またはワンタッチコールバック先の電話番号

お使いの電話機の内線番号を指定する場合は、内線番号の代わりに [#] を押すこともできます。

- 4** [決定] を押す。
「ピーピー」という確認音が聞こえます。



- 5** スピーカボタンを押す。
メール到達通知サービスまたはワンタッチコールバックサービスを停止します。



お知らせ

- 手順1でプリセクションサービスを利用されている場合は、内線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。利用されていない場合はそのまま手順2へ進んでください。

メールを再生するには

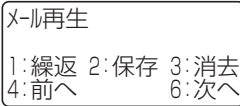
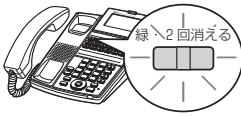
ボックスに録音されているメールを再生します。

1 電話が使用中でないことを確認し、ハンドセットを上げる。

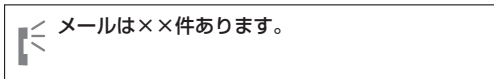
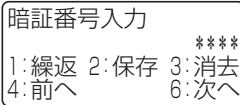
「ツーツー…」という音を確認してください。
内線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。



2 ボックスボタンを押す。

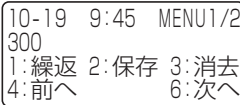


3 メール再生用の暗証番号をダイヤルボタンで押す。



4 メールの内容を聞く。

複数のメールが録音されているときは、約3秒の間隔を開けて次のメールが再生されます。
メール再生時にできる操作は (☛ワンポイント)



5 メールを聞き終わったら、ハンドセットを置く。

ボックスランプが消えます。



ワンポイント

●メールがないときは

手順3で、
「メールがありません。」
というガイダンスが流れてお知らせします。

●再生ボタンでメールを再生するには

①手順2で、ボックスボタンの代わりに再生ボタンを押すと、

「メールは××件あります。」

というガイダンスが流れ、メールが再生される

②メールを聞き終わったら、ハンドセットを置く

●再生ボタン、ボックスボタンを押さずにメールを再生するには

手順2で、再生ボタン、ボックスボタンの代わりに、メール再生特番 (☎☎☎☎ []) と内線番号をダイヤルボタンで押したあと、手順3から操作してください。

●暗証番号が設定されていないときは

手順2で、メールの内容が聞こえてきます。

●メールの再生を中止するには

メール再生中に、ハンドセットを置きます。

●ダイヤルボタンを使った再生時のメール操作

再生中に下表のダイヤルボタンを押して操作します。

| | 内容 |
|--------|---------------------|
| [1] | 同じメールを繰り返し再生する |
| [2] | メールをバックアップする (☛P39) |
| [3] | メールを消去する (☛P41) |
| [4]* | 前のメールを再生する |
| [6]* | 次のメールを再生する |
| [7] | メールを数秒間巻き戻す |
| [9] | メールを数秒間早送りする |
| [*][*] | すべてのメールを消去する (☛P42) |

※左ボタンでダイヤルボタン [4]、右ボタンでダイヤルボタン [6] を押したときと同じ操作ができます。

●再生中のメールにコメントを録音するには

再生中のメールにコメントを付けることができます。
(☛P40)

●再生中のメールを転送するには

再生中のメールを他の方のボックスに転送することができます。
(☛P28)

●メール再生後のランプ表示について

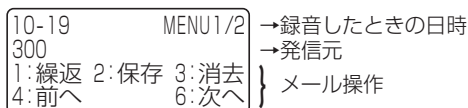
メール再生後のボックスランプまたは再生ランプの状態を「システム設定」で設定することができます。設定できる状態は次のとおりです。

- 常時点灯しない
- ボックス内に未再生メールがあったときに緑で点滅する
- ボックス内にメールがあったときに緑で点滅する
- メール再生で消える。そのあと新しいメールが到達すると、再び緑で点滅する

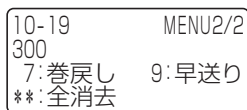
●メール再生中の表示操作について

メールを再生すると次のように表示されます。

〈メール再生中〉



下ボタン ↓ ↑ 上ボタン
を押す を押す



- 上下ボタンでダイヤルボタンに対応した操作内容の表示が切り替えられます。
- 最後のメールを再生し終わると、先頭からメールを再生し始めます。
- 録音時刻の表示は、24時間表示です。

●メール再生後の録音日時と発信者番号のアナウンスについて

「システム設定」を設定することにより、メールを再生したあとにそのメールが録音された日時と発信者の番号をアナウンスするように設定できます。

ただし、録音時に相手の方から発信者の番号が通知されなかった場合は、録音日時のみアナウンスされます。

●メールの再生順について

録音時刻の新しい順に再生するか、古い順に再生するかを、ボックスごとに設定できます。(P110)

お知らせ

- 暗証番号を3回間違えて押すと、音声メールから切断されます。暗証番号を確認して始めから操作をやり直してください。
- 1つのボックス番号が複数の電話機に登録されている場合、ある電話機でメール再生操作を行うと、それら複数の電話機のランプ表示も「システム設定」されたランプの状態になります。
- メール再生でメールをお聞きになっている場合、ダイヤルボタンでメール再生中の発信特番を押しても、録音した方へ発信することはできません。ダイヤルボタンを押してもメール再生が継続されます。

外線を利用してメールを再生するには

外から電話をかけて、指定したボックスに録音されているメールを聞くことができます。(メールサービス)「システム設定」でメールサービスが設定されている必要があります。

1 「音声メール」へ電話をかける。



☎️ ダイヤリングサービスを行います。サービス番号をどうぞ。

2 **2**を押す。

☎️ こちらはメールボックスです。再生は1を、録音は2をダイヤルしてください。

3 **1**を押す。

☎️ 内線番号をどうぞ。

4 内線番号をダイヤルボタンで押す。

☎️ 暗証番号をどうぞ。

5 メール再生用の暗証番号をダイヤルボタンで押す。

☎️ メールは××件あります。

6 メールの内容を聞く。



7 メールを聞き終わったら、電話を切る。



ワンポイント

- メールがないときは
手順5で、
☎️メールがありません。
というガイダンスが流れてお知らせします。
- 内線電話機からご利用になるには
「システム設定」でメールサービスが設定されていない場合もご利用になれます。
①ハンドセットを上げて、「ツーツ…」という音を確認する
②音声メールへの内線番号をダイヤルボタンで押す
③続けて手順3から操作する
- ダイヤルボタンを使った再生時のメール操作
再生中に下表のダイヤルボタンを押して操作します。

| | 内 容 |
|-------------------|---------------------|
| 1 | 同じメールを繰り返し再生する |
| 2 | メールをバックアップする (●P39) |
| 3 | メールを消去する (●P41) |
| 4 | 前のメールを再生する |
| 6 | 次のメールを再生する |
| 7 | メールを数秒間巻き戻す |
| 9 | メールを数秒間早送りする |
| 0 | はじめの操作ガイダンスに戻る |
| * * | すべてのメールを消去する (●P42) |

- 暗証番号が設定されていないときは
手順4で、
☎️メールは××件あります。
というガイダンスが流れ、メールが再生されます。
- ガイダンス再生中にダイヤルボタンを押したときは
ガイダンスの再生が中断され、押したダイヤルに対応したサービスが開始されます。

再生するメールを一覧から選択するには

お使いの電話機に登録されている再生ボタンのボックスに録音されているメールを標準電話機のディスプレイに一覧表示できます。その一覧からメールを選択し、再生することができます。

1 電話が使用中でないことを確認してから、再生ボタンを押す。

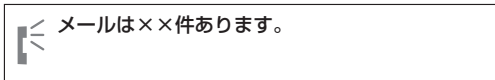
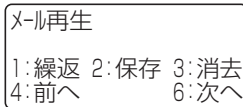
押した再生ボタンのボックスに録音されているメールの発信元と、録音時刻が表示されます。



2 上下ボタンで再生したいメールを選択する。



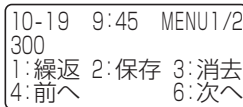
3 ハンドセットを上げる。



4 メールの内容を聞く。

複数のメールが録音されているときは、約3秒の間隔を開けて次のメールが再生されます。

メール再生時にできる操作は (●ワンポイント)



5 メールを聞き終わったら、ハンドセットを置く。

メールの再生が終了し、再生ランプが消えます。



ワンポイント

- **ハンドセットを置いたままメールを再生するには**
手順3でハンドセットを上げずに (決定) またはスピーカボタンを押します。終了するときは、スピーカボタンを押します。
- **メールがないときは**
手順3で、
「メールがありません。」というガイダンスが流れてお知らせします。
- **メール再生時に利用できる操作について**
メール再生時の下記の操作については、「メールを再生するには」(●P34) を参照してください。
 - ・ダイヤルボタンを使ったメール操作
 - ・再生中のメールにコメントを録音する
 - ・再生中のメールを転送する
 - ・メールの再生を中止する
- **メール再生後のランプ表示について**
「メールを再生するには」(●P35) を参照してください。



お知らせ

- 録音時刻の表示は、24時間表示です。
- 再生済みのメールには、手順1、2のディスプレイの録音時刻の前に「*」が表示されます。
- メールのは発信元は、12桁まで表示されます。13桁以降は表示されません。

メールをバックアップするには

再生中のメールをバックアップします。バックアップしたメールは、「メールを自動的に消去する」(P78)、「すべてのメールを消去するには」(P42)を操作しても、消去されません。大事なメールを保存しておくときに便利です。

1 電話が使用中でないことを確認し、ハンドセットを上げる。

「ツーツー…」という音を確認してください。
内線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。



2 ボックスボタンを押す。



メール再生
1: 繰返 2: 保存 3: 消去
4: 前へ 6: 次へ

暗証番号をどうぞ。

3 メール再生用の暗証番号をダイヤルボタンで押す。

暗証番号入力 ****
1: 繰返 2: 保存 3: 消去
4: 前へ 6: 次へ

メールは××件あります。

4 メールの内容を聞く。

10-19 9:45 MENU1/2
300
1: 繰返 2: 保存 3: 消去
4: 前へ 6: 次へ

5 再生中に [2] を押す。

再生中のメールがバックアップされます。

10-19 9:45 MENU1/2
300 2
1: 繰返 2: 保存 3: 消去
4: 前へ 6: 次へ

メールをバックアップしました。

6 メールを聞き終わったら、ハンドセットを置く。 メールの再生が終了し、ボックスランプが消えます。



ワンポイント

●メールがないときは

手順3で、
「メールがありません。」
というガイダンスが流れてお知らせします。

●再生ボタンでメールをバックアップするには

①手順2で、ボックスボタンの代わりに再生ボタンを押すと、
「メールは××件あります。」
というガイダンスが流れ、メールが再生される

②再生中に [2] を押す

③メールを聞き終わったら、ハンドセットを置く

●メールの再生を中止するには

メール再生中に、ハンドセットを置きます。

●暗証番号が設定されていないときは

手順2で、メールの内容が聞こえたら、手順5から行ってください。

●メールの再生後のランプ表示について

「メールを再生するには」(P34)を参照してください。

●メールをパソコンに保存するには

大事なメールをパソコンに保存することができます。
(P92、94)



お知らせ

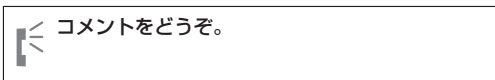
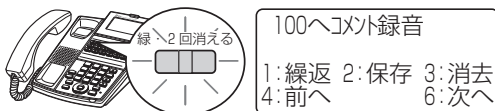
●暗証番号を3回間違えて押すと、音声メールから切断されます。暗証番号を確認して始めから操作をやり直してください。

再生中のメールにコメントを付けるには

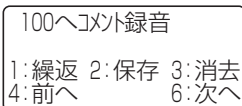
再生中のメールの前または後にコメントを付けることができます。コメントを付けたあと、そのメールを他のボックスに転送することもできます。

1 メール再生中に、コメントボタンを押す。

メールの再生が中断します。

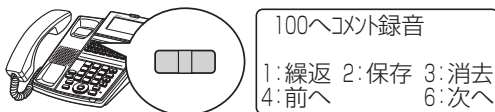


2 コメントをお話する。



3 お話しが終わったら、コメントボタンを押す。

コメントの録音が終了し、コメントランプが消えます。



複数のメールが録音されているときは、次のメールが再生されます。



ワンポイント

● コメントの録音を一時停止するには

録音中に[*]を押すと、
録音を中断しました。
というガイダンスが流れ、録音を一時停止します。

もう一度[*]を押すと、
録音を再開しました。
というガイダンスが流れ、再び録音できます。

● 録音を終了するには

録音中または録音一時停止中に録音を終了したいときは、[#] [#]を押します。

● コメントの位置を決めるには

コメントの位置は「システム設定」で、録音した内容（メール）の前または後のどちらかに指定できます。

● コメントの録音を途中で取り消すには

コメントの録音中または録音一時停止中に取消ボタンを押すと、コメント録音は中止され消去されます。

● コメントの録音後、メールを転送するには

手順2でコメントをお話したあと、メールの転送操作を行います。(P28)

● コメントの録音時間が一定時間に満たなかったときは

「システム設定」で設定された録音時間にコメント録音が満たなかった場合は、そのコメントは自動で消去されます。このとき、すでにコメントが付いていた場合はそのコメントは残ります。

● 一時停止した録音を自動で再開させるには

「システム設定」で一時停止した録音を自動で再開させることができます。録音を再開した場合、「録音を再開しました」というガイダンスが流れます。(P77)



お知らせ

- すでにコメントの付いているメールに再びコメントを付けると、前に付いていたコメントは消去されて、新しいコメントが付きます。

再生中のメールを消去するには

再生中のメールを消去することができます。

1 メール再生中に、取消ボタンまたは **3^{DEF}** を押す。



暗証番号をどうぞ。

2 録音・消去用の暗証番号をダイヤルボタンで押す。

暗証番号入力 *****
1: 繰返 2: 保存 3: 消去
4: 前へ 6: 次へ

メールが消去されました。

メールを消去しました。

3 複数のメールが登録されているときは、次のメールの内容が再生される。

10-19 9:45 MENU1/2
300
1: 繰返 2: 保存 3: 消去
4: 前へ 6: 次へ

続けてメールを消去するときは、手順1から繰り返します。

4 メールを消去を終了するときは、ハンドセットを置く。



ワンポイント

- 暗証番号が設定されていないときは
手順1で、再生中のメールが消去されます。
- バックアップされたメールのときは
 - ① 手順2で暗証番号をダイヤルすると、
暗証番号入力バックアップしたメールがあります。メールを消去しますか。よろしければ*をダイヤルしてください。
というガイダンスが流れる
 - ② *を押すと、
暗証番号入力メールを消去しました。
というガイダンスが流れる
 - ③ 続けて手順3から操作する
(暗証番号が設定されていないときは、手順1で上記①のガイダンスが流れる)



お知らせ

- 暗証番号を3回間違えて押すと、音声メールから切断されます。暗証番号を確認して始めから操作をやり直してください。
- 「システム設定」により決められたメール保存日数が経過すると、メールは自動的に消去されます。ただし、バックアップされたメールは消去されません。

再生中のメールを消去するには
再生中のメールにコメントを付けるには

すべてのメールを消去するには

メール再生中にすべてのメールを消去することができます。ただし、バックアップされているメールは消去されません。

1 メール再生中に、**[*]**を押す。

10-19 9:45 MENU1/2
300 *
1: 繰返 2: 保存 3: 消去
4: 前へ 6: 次へ

すべてのメールを消去します。
よろしければ*をダイヤルしてください。

2 **[*]**を押す。

10-19 9:45 MENU1/2
300 *
1: 繰返 2: 保存 3: 消去
4: 前へ 6: 次へ

暗証番号をどうぞ。

メールを消去したくないときは、**[*]**以外のダイヤルボタンを押します。

3 録音・消去用の暗証番号をダイヤルボタンで押す。

暗証番号入力

1: 繰返 2: 保存 3: 消去
4: 前へ 6: 次へ

すべてのメールが消去されました。

すべてのメールを消去しました。

4 ハンドセットを置く。



ワンポイント

- 暗証番号が設定されていないときは
手順2で、すべてのメールが消去されます。
- ボックス内にバックアップされたメールがあるときは
すべてのメールが消去されたあと、バックアップされて
いるメールが再生されます。



お知らせ

- 暗証番号を3回間違えて押すと、音声メールから切断され
ます。暗証番号を確認して始めから操作をやり直して
ください。
- 「システム設定」により設定されたメール保存日数が経過
すると、メールは自動的に消去されます。ただし、バ
ックアップされたメールは消去されません。

留守番電話として利用するには

不在時または夜間や休日にかかってきた電話に、音声メールで対応することができます。また、相手の方からのメッセージがあれば、留守番電話として設定した内線または外線のリボックスに録音することもできます。

留守番電話の設定は「システム設定」で決められた電話機から行ってください。応答するガイダンスは、あらかじめ登録しておく必要があります。(▶P61)

留守番電話として設定する

設定操作をする電話機の外線ボタンに、留守番電話を設定できます。

- 1** ハンドセットを置いたまま、内線ボタンを押す。
「ツーツー…」という音を確認してください。



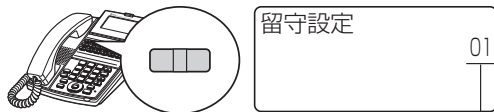
- 2** **決定** を押す。
「ツツツ…」という音を確認してください。



- 3** 留守ボタンを押す。
「ブブブブブ…」という音を確認してください。



- 4** 留守番電話として設定したい外線ボタンを押す。



留守番電話として設定予約したボタンの数

続けて複数の外線ボタンまたは内線ボタンを押すことができます。

押したボタンを再度押すと、そのボタンの設定予約が取り消されます。

- 5** **決定** を押す。
留守ランプが消え、「ピーピー」という確認音が聞こえます。

- 6** スピーカボタンを押す。
留守番電話の設定が終了します。



ワンポイント

- 留守番電話の設定を途中でやめるには
手順5で、スピーカボタンを押して操作を終了すると、それまでの設定操作は取り消されます。
- 録音時間が一定時間に満たなかったときは
「システム設定」によって、録音時間の短い録音を自動で消去するように設定することもできます。
- 留守番電話で録音中の通話をモニタするには
留守番電話応答中に、モニタ可表示されている外線ボタンまたは内線ボタンを押すと、留守番電話で応答中の通話を聞くことができます。(▶P48)
- 留守番電話で録音中の通話に応答するには
留守番電話で録音中の通話をモニタしているときに**決定**を押すと、留守番電話に録音していた相手の方とお話しすることができます。(▶P48)



お知らせ

- 手順1で内線ボタンを押すと、ワンタッチオンフックサービスを利用されている場合は、スピーカランプが自動的に点灯します。それ以外の場合はスピーカボタンを押してください。
- 留守番電話として起動している電話機からは、留守番電話の設定・解除はできません。
- 留守番電話の用件録音時間は、「システム設定」により決められています。
- 留守番電話としての設定は、「システム設定」で設定することもできます。
- 留守番電話が応答するまでの時間を「システム設定」で、1～255秒で設定することができます。
- 留守番電話として設定できる外線ボタンは、「システム設定」で設定しておく必要があります。
- 外線ボタンに登録してある外線ボックスを「システム設定」で設定しておく必要があります。
- コンソールの外線ボタンを留守番電話として設定することはできません。

4 メールを再生
消去する

5 留守番電話として利用する

留守番電話として利用するには
すべてのメールを消去するには

留守番電話の設定を解除する

- 1** ハンドセットを置いたまま、内線ボタンを押す。
「ツーツー…」という音を確認してください。



- 2** **決定**を押す。
「ツツツ…」という音を確認してください。



- 3** 留守ボタンを押す。
「ブブブブブ」いう音を確認してください。



- 4** **決定**を押す。
留守ランプが消え、「ピーピー」という確認音が聞こえます。

- 5** スピーカボタンを押す。
留守番電話の設定が解除されます。



お知らせ

- 手順1でプリセクションサービスを利用されている場合は、内線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。利用されていない場合はそのまま手順2へ進んでください。

留守番電話を起動する

留守番電話を起動します。留守番電話を設定した電話機で操作してください。

1 留守番電話が起動されていないことを確認し、留守ボタンを押す。

留守ランプ、留守番電話を設定した外線ランプ、内線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。



留守番電話の起動を解除する

留守番電話の起動を解除します。留守番電話を設定した電話機で操作してください。

1 留守番電話が起動されていることを確認し、留守ボタンを押す。

留守ランプ、留守番電話を設定した外線ランプ、内線ランプが消えます。



ワンポイント

- 留守ボタンを押さずに留守番電話を起動するには
 - ①ハンドセットを置いたまま内線ボタンを押す
 - ②留守番電話起動特番 (9.3) 7.000 [] を押す
 - ③スピーカボタンを押す
- メッセージの録音を携帯電話やスマートフォンに通知するには
メール到達通知機能を利用します。(P30)
- メッセージの録音を電子メールで通知するには (P99)



お知らせ

- 留守番電話で応答した場合は、ボックスに登録されているガイダンスが流れます。(P61)
- 留守番電話を起動すると、留守番電話を設定した外線ランプ、内線ランプが赤く点灯し、周期的に2回消えます。起動を解除すると、外線ランプ、内線ランプは消えます。
- 留守番電話の設定をしていないときは、留守番電話の起動はできません。
- 留守番電話起動時、着信中の回線があれば、その着信に対して留守番電話が応答します。ただし、機能アクセス (P71) により起動を行った場合は、着信中の回線には応答しません。
- 以下の場合には、留守ボタンを押しても留守番電話の起動および解除はできません。
 - ・機能/設定特番操作中
 - ・メールの録音/再生/消去時のパスワード入力中
 - ・ダイヤル中特番操作中
 - ・ハンドセットを上げた状態で短縮ダイヤルを読み出している時



ワンポイント

- 留守ボタンを押さずに留守番電話の起動を解除するには
 - ①ハンドセットを置いたまま内線ボタンを押す
 - ②留守番電話解除特番 (9.3) 7.000 [] を押す
 - ③スピーカボタンを押す

留守番電話が応答したとき、他の電話機に転送する

留守番電話が応答したとき、メッセージを録音するか、またはメール録音通話切替特番のダイヤルを押して他の電話機を呼び出すことができます。

1 電話をかける。



〈例〉特番が962の場合

「ただ今、留守にしております。お急ぎの方は962 #をダイヤルしてください。メッセージをどうぞ。」

2 メッセージの録音中にメール録音通話切替特番 (9⁹⁵ 6⁹⁷ 2⁹⁸ []) を押す。

3 (#) ボタンを押す。

録音が中断し、呼出音が流れます。転送先に転送されます。

4 相手の方が出たら、お話しする。



ワンポイント

●転送先（メール録音通話切替先）が設定されていないときは

手順1で、あらかじめボックスに設定されているガイダンスが聞こえます。メッセージをお話してください。おかけになったボックスに録音されます。

転送先（メール録音通話切替先）が設定されている場合でも「システム設定」によって、あらかじめボックスに設定されているガイダンスを再生することができます。

●オリジナルの応答ガイダンスを登録するには (P61)

●他の電話機に転送できないときは

「転送できませんでした。メッセージをどうぞ。」というガイダンスが聞こえます。メッセージをお話してください。おかけになったボックスに録音されます。ただし、手順2で録音した内容は消去されます。

●再度、転送するには

他の電話機に転送できない場合、メッセージの録音中に再度、メール録音通話切替特番 (9⁹⁵ 6⁹⁷ 2⁹⁸ []) と (#) を押して転送を行うこともできます。



お知らせ

●転送先は、留守番電話として利用するボックスに「システム設定」で設定しておく必要があります。(P79) おかけになった方が転送先を指定することはできません。

●応答ガイダンスの選択は、「システム設定」により行います。標準電話機などからの設定はできません。

●メール応答時に再生されるガイダンスは、「システム設定」によりオリジナルの応答ガイダンスに変更することができます。その場合は留守番電話で設定されたメッセージが再生されます。

留守番電話モニタ可表示とは

留守番電話起動後、留守応答中の通話がモニタ可能なときに、外線または内線ランプが点滅（緑）して通知します。

1 留守番電話起動後、着信中の外線または内線ランプが点滅する。



ワンポイント

- 留守番電話応答中の通話をモニタするには
留守番電話モニタ可表示中の外線または内線をモニタすることができます。(P48)



お知らせ

- 留守番電話応答中の通話をモニタするには、「システム設定」が必要です。
- 内線ボタンがモニタ可表示中のときは、内線ボタンによる内線発信はできません。
- 以下の場合には、モニタ可表示されません。
 - ・ 索線ボタン、拡張内線グループボタンへの着信が留守番電話となったとき
 - ・ 着信未応答通知により留守番電話機能が動作し、メール録音となったとき
 - ・ 話中転送により留守番電話機能が動作し、メール録音となったとき
 - ・ 「システム設定」でメール録音通話切替先が設定されているボックスに、メール録音となったとき
 - ・ 留守番電話以外の機能によりメール録音となったとき
- モニタ可表示は、対象となる通話が終わった時点で消灯します。

留守番電話をモニタするには

指定した留守応答中の通話をモニタ（聞く）することができます。途中でモニタをやめて、相手の方とお話することもできます。

1 電話が使用中でないことを確認し、ハンドセットを上げる。

「ツーツー…」という音を確認してください。
内線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。

2 留守番電話モニタ可表示中の外線または内線ボタンを押す。

〈例〉外線ボタンの場合



外線ランプが点灯し、通話のモニタが開始されます。



ワンポイント

- **モニタを終了したいときには**
ハンドセットを置か、スピーカボタンを押します。
- **プリセクションサービスが設定されている場合には**
以下の手順で通話モニタを行います。
①留守番電話モニタ可表示中の外線または内線ボタンを押します。
②ハンドセットを上げるか、スピーカボタンを押します。
- **モニタ中の相手の方とお話するには**
(決定)を押すと、モニタ中の相手先とお話することができます。
- **録音時間が一定に満たなかったときは**
「システム設定」によって、録音時間の短い録音を自動で消去するように設定することもできます。



お知らせ

- ワンタッチオンフックサービスを利用されている場合は、手順2から操作を行うこともできます。スピーカランプが自動的に点灯します。
- 内線ボタンがモニタ可表示中のときは、内線ボタンによる内線発信はできません。
- 以下の場合には、留守番電話をモニタできません。
 - ・電話機の状態が空きまたは内線発信中以外のときにモニタ可表示中の外線または内線ボタンを押したとき
- モニタされている相手の方が電話を切った場合、モニタは自動的に終了します。
- モニタ中、以下の操作はできません。
 - ・保留操作
 - ・会議招集
 - ・PB信号送出（PB表示が消灯）
- 複数の着信が留守応答されている場合、モニタ中に他の相手へモニタを切り替えることはできません。
- モニタ中でも留守番電話への録音は行われます。
- 録音中に(決定)を押してモニタをやめたときは、(決定)を押すまでの録音内容が保存されます。

IVR機能とは

音声による自動応答を行う機能のことです。発信者のダイヤル操作に合わせて、あらかじめ録音してある音声をシナリオに沿って自動的に再生し、メッセージ録音、内線呼出や外線転送をすることができます。

シナリオは、IVRシナリオ作成メニュー画面の11個のシナリオコマンドを組み合わせて作成（編集）します。電話受付、商品注文、情報提供や資料請求などの業務に合わせたオリジナルのシナリオを作成することができます。また、システムに初期設定されているシナリオを編集して利用することもできます。

1つの音声メールユニットに対し、20のシナリオを登録することができます。1つのシナリオは128行までのシナリオコマンドを組み合わせたことができます。

1つのシナリオから別のシナリオを呼び出すこともできるので、高度なシステムを構築できます。

また、シナリオへのアクセス数をカウントすることができます。情報提供などのサービスに活用することができます。



操作の流れ

実際のサービスを構築する操作の流れです。

1 動作フローを作成する（☛P50）

サービスの内容に合わせ、具体的なシナリオの動作フローを作成します。必須ではありませんが、動作フローを作成することにより、次のシナリオコマンドの組み合わせが正確にできます。

2 シナリオコマンドを組み合わせる（☛P51）

作成した動作フローに合わせ、シナリオコマンド（☛P52）を組み合わせます。

3 シナリオを作成（編集）する（☛P55）

組み合わせたシナリオコマンドを電話機から登録します。

4 応答ガイダンスを録音する（☛P57）

シナリオに合わせた応答ガイダンスを録音します。

5 シナリオを確認する（☛P57）

シナリオコマンドが正しく作成されているか、確認します。

「5」までの操作が終了したら、実際にIVR応答用の番号に電話をかけ、ガイダンスに従ってダイヤル操作をするテストを行ってください。テストは内線からの発信でも行えます。IVR機能が正しく働かなかったときは、もう一度シナリオを編集してください。

IVR機能を利用するには
留守番電話をモニタするには

5 留守番電話として利用する

6 IVR機能



ワンポイント

- IVR機能の利用回数を確認するには（☛P58）



お知らせ

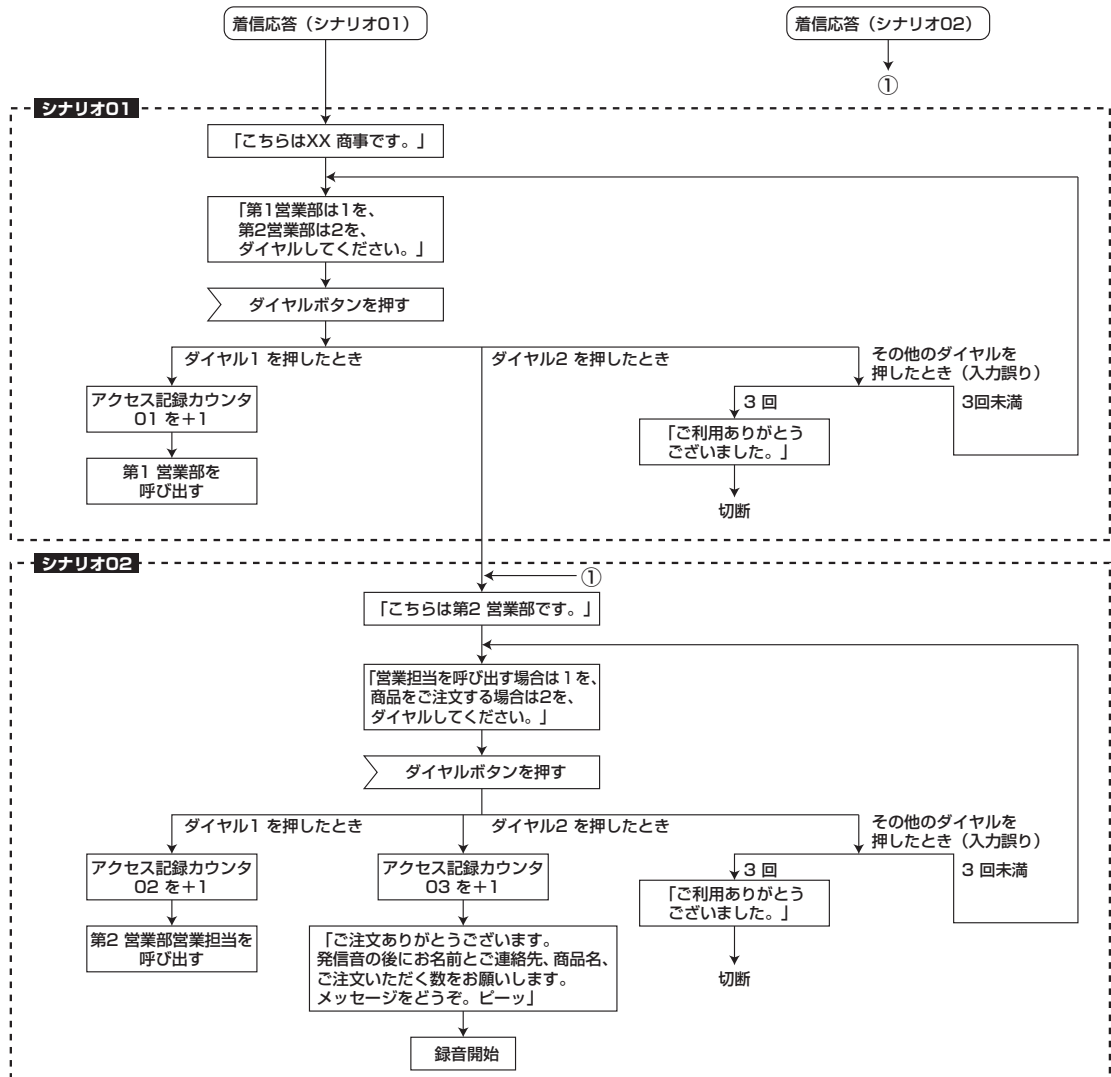
- IVR機能をご利用になるには、「システム設定」でIVR応答用の番号を設定する必要があります。
- 外線からIVR応答用の番号に電話をかけるときは、プッシュ信号を送出できる電話機を使用する必要があります。

動作フローを作成する

サービスの内容に合わせ、具体的なシナリオの動作フローを作成します。
下記の初期設定シナリオの動作フローをご参考にして作成してください。

■ 初期設定シナリオの動作フロー

初期設定シナリオ



ワンポイント

● 初期設定シナリオについて

- 初期設定シナリオをご利用になる場合は、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へお気軽にご相談ください。
- 初期設定シナリオは、シナリオ番号01と02に設定されます。
- 初期設定シナリオは、応答ガイダンスが録音されていないので、該当するガイダンス番号に録音が必要です。(●P65)

シナリオコマンドを組み合わせる

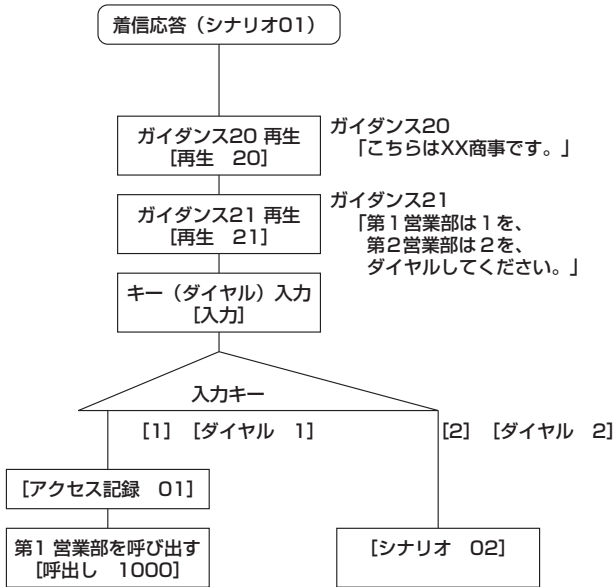
動作フローに合わせ、シナリオコマンド（●P52）を組み合わせます。

〈初期設定シナリオのフロー図〉

初期設定シナリオ動作フロー（●P50）からシナリオを作成する場合のフロー図です。初期設定フローと合わせて、シナリオ作成時のご参考としてください。

〈例〉 第1営業部の内線番号：1000
第2営業部の内線番号：2000

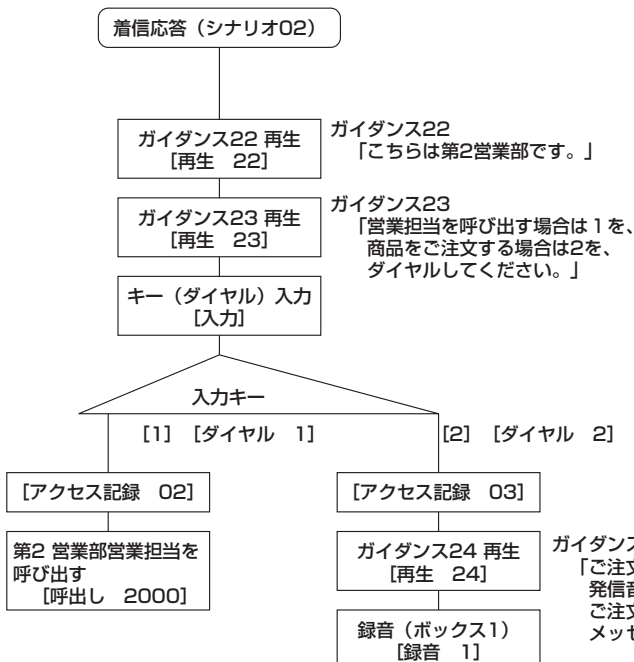
■シナリオ 01



シナリオ 01 のフロー図をシナリオとして登録できるように作成（編集）したものです。

- 001：再生 20
- 002：再生 21
- 003：入力
- 004：ダイヤル 1
- 005：アクセス記録 01
- 006：呼出し 1000
- 007：停止
- 008：ダイヤル 2
- 009：シナリオ 02
- 010：停止
- 011：終了

■シナリオ 02



シナリオ 02 のフロー図をシナリオとして登録できるように作成（編集）したものです。

- 001：再生 22
- 002：再生 23
- 003：入力
- 004：ダイヤル 1
- 005：アクセス記録 02
- 006：呼出し 2000
- 007：停止
- 008：ダイヤル 2
- 009：アクセス記録 03
- 010：再生 24
- 011：録音 1
- 012：停止
- 013：終了

IVR機能を利用するには

<シナリオコマンドについて>

■サイセイ（再生）

<用途>

- パラメータ（ガイダンス番号1～99）で指定した応答（共用）ガイダンスを再生します。

<入力方法>

- メニュー画面（1/6）を表示し、**1**（[再生]）を選択を押します。
- ダイヤルボタンでパラメータ（ガイダンス番号）を入力し、**決定**を押して入力を確定します。

| | |
|--------|--------|
| 1:再生 | メニ-1/6 |
| 2:繰返し | |
| 001-再生 | 20 |
| 002-再生 | 21 |

シナリオ
コマンド
パラメータ
(ガイダンス番号)

■ロクオン（録音）

<用途>

- パラメータ（ボックス番号1～516）で指定したメールボックスに録音します。

<入力方法>

- メニュー画面（2/6）を表示し、**2**（[録音]）を選択を押します。
- ダイヤルボタンでパラメータ（ボックス番号）を入力し、**決定**を押して入力を確定します。

| | |
|--------|--------|
| 1:ダイヤル | メニ-2/6 |
| 2:録音 | |
| 002-再生 | 24 |
| 003-録音 | 1 |

シナリオ
コマンド
パラメータ
(ボックス番号)

<制限事項>

- 次のシナリオコマンドは[停止]または[終了]でなければなりません。

■ニューリョク（入力）

<用途>

- ダイヤルボタンの入力を受け付け、[ダイヤル]で指定したダイヤル**0000**～**9999**と一致した場合、その下に続くシナリオを実行します。

<入力方法>

- メニュー画面（5/6）を表示し、**2**（[入力]）を選択を押します。
- 決定**を押して入力を確定します。

| | |
|--------|--------|
| 1:呼出し | メニ-5/6 |
| 2:入力 | |
| 002-再生 | 21 |
| 003-入力 | 1000 |

シナリオ
コマンド
パラメータ
(内線番号)

<制限事項>

- 前のシナリオコマンドは[再生]でなければなりません。
- 次のシナリオコマンドは[ダイヤル]でなければなりません。
- 1つのシナリオで1回しか使用できません。



ワンポイント

- ダイヤルの入力間違いやタイムアウトになった場合にはIVR機能を利用し[入力]によりダイヤルを押した場合、押したダイヤルに誤りがあると直前のシナリオを繰り返します。またダイヤルを押さずタイムアウト（時間切れ）となった場合も直前のシナリオを繰り返します。[入力]のパラメータで内線番号が設定されている場合、ダイヤルの入力に3回失敗すると、設定されている内線番号を呼び出します。内線番号が設定されていない場合は、「ご利用ありがとうございました。」という応答ガイダンスを流し、終了します。



ワンポイント

- ボックス番号について
パラメータで指定するボックス番号は001～516となります。
- シナリオコマンド「録音」で設定するボックス番号について
「システム設定」で音声メールに設定してある範囲外のボックス番号を設定しないでください。
そのボックスに録音した場合、再生することはできません。

■ダイヤル

〈用途〉

- [ダイヤル] **[0]** ~ **[9]** で入力された値が、[ニューリョク] で受け付けたダイヤルと一致した場合、その下に続くシナリオコマンドを実行します。
- シナリオを分岐するときに使用します。

〈入力方法〉

- ①メニュー画面 (2/6) を表示し、**[1]** ([ダイヤル]) を選択を押します。
- ②ダイヤルボタンでパラメータ (ダイヤル番号) を入力し、**[決定]** を押して入力を確定します。

| | |
|----------|----------|
| 1:ダイヤル | メニュー-2/6 |
| 2:録音 | |
| 007-停止 | |
| 008-ダイヤル | 1 |

シナリオコマンド パラメータ (ダイヤル番号)

〈制限事項〉

- 次のシナリオコマンドは [停止]、[終了] または [ダイヤル] 以外でなければなりません。

■クリカエシ (繰り返し)

〈用途〉

- 直前に実行した [再生] を繰り返し実行し、ガイダンスを繰り返し再生するときに使用します。
- エンドレスで音声案内等を流すときに使用します。

〈入力方法〉

- ①メニュー画面 (1/6) を表示し、**[2]** ([繰り返し]) を選択を押します。
- ②**[決定]** を押して入力を確定します。

| | |
|----------|----------|
| 1:再生 | メニュー-1/6 |
| 2:繰り返し | |
| 002-再生 | 21 |
| 003-繰り返し | |

シナリオコマンド

〈制限事項〉

- 前のシナリオコマンドは [再生] でなければなりません。
- 次のシナリオコマンドは [停止] または [終了] でなければなりません。

■シナリオ

〈用途〉

- パラメータ (シナリオ番号01 ~ 20) で指定した他のシナリオを実行します。

〈入力方法〉

- ①メニュー画面 (4/6) を表示し、**[2]** ([シナリオ]) を選択を押します。
- ②ダイヤルボタンでパラメータ (シナリオ番号) を入力し、**[決定]** を押して入力を確定します。

| | |
|----------|----------|
| 1:アクセス記録 | メニュー-4/6 |
| 2:シナリオ | |
| 008-ダイヤル | 2 |
| 009-シナリオ | 02 |

シナリオコマンド パラメータ (シナリオ番号)

〈制限事項〉

- 次のシナリオコマンドは [停止] または [終了] でなければなりません。

■ヨビダシ (呼出)

〈用途〉

- パラメータ (内線番号) で指定した内線番号を呼び出します。

〈入力方法〉

- ①メニュー画面 (5/6) を表示し、**[1]** ([呼出し]) を選択を押します。
- ②ダイヤルボタンでパラメータ (内線番号) を入力し、**[決定]** を押して入力を確定します。

| | |
|------------|----------|
| 1:呼出し | メニュー-5/6 |
| 2:入力 | |
| 005-アクセス記録 | 01 |
| 006-呼出し | 1000 |

シナリオコマンド パラメータ (内線番号)

〈制限事項〉

- 次のシナリオコマンドは [停止] または [終了] でなければなりません。



ワンポイント

- 間違った内線番号を入力してシナリオを作成した場合は IVR機能でそのシナリオを利用した場合は、間違った内線番号の [呼出し] を実行すると「おつなぎできませんでした。ご利用ありがとうございました。」という応答ガイダンス (固定メッセージ) を流し、終了します。
- 呼出先がお話し中だった場合は 「お話し中です。ご利用ありがとうございました。」という応答ガイダンス (固定メッセージ) を流し、終了します。

IVR機能を利用するには

■ダイヤルイン

〈用途〉

- 「内線番号とシャープをどうぞ。」の応答ガイダンスを流し、発信者からの内線番号と $\#$ の入力を受け付けます。
- 入力された内線番号を呼び出します。

〈入力方法〉

- ①メニュー画面 (3/6) を表示し、 $\boxed{2}$ ([ダイヤルイン] を選択) を押します。
- ② $\boxed{決定}$ を押して入力を確定します。

| | |
|------------|----------|
| 1: 停止 | メニュー-3/6 |
| 2: ダイヤルイン | |
| 002-再生 | 21 |
| 003-ダイヤルイン | 1000 |

シナリオ
コマンド
パラメータ
(内線番号)

〈制限事項〉

- 次のシナリオコマンドは [停止] または [終了] でなければなりません。



ワンポイント

- シナリオ [ダイヤルイン] で内線番号の入力に失敗した場合は

発信者が内線番号を3回間違えて押すか3回時間切れになったときの動作は、パラメータの設定によって異なります。パラメータで内線番号が設定されていない場合は、音声メールから切断されます。内線番号が設定されている場合は、その内線番号の呼び出しになります (内線番号を呼び出せなかった場合は、切断となります)。

■テishi (停止)

〈用途〉

- [ダイヤル] で実行したシナリオコマンドを終了します。

〈入力方法〉

- ①メニュー画面 (3/6) を表示し、 $\boxed{1}$ ([停止] を選択) を押します。
- ② $\boxed{決定}$ を押して入力を確定します。

| | |
|-----------|----------|
| 1: 停止 | メニュー-3/6 |
| 2: ダイヤルイン | |
| 009-シナリオ | 02 |
| 010-停止 | |

シナリオ
コマンド

〈制限事項〉

- [シナリオ] または [ダイヤル] とセットで使用します。

■シュウリョウ (終了)

〈用途〉

- シナリオを終了します。

〈入力方法〉

- ①メニュー画面 (6/6) を表示し、 $\boxed{1}$ ([終了] を選択) を押します。
- ② $\boxed{決定}$ を押して入力を確定します。

| | |
|--------|----------|
| 1: 終了 | メニュー-6/6 |
| 010-停止 | |
| 011-終了 | |

シナリオ
コマンド

■アクセスキロク (アクセス記録)

〈用途〉

- シナリオのアクセスされた回数を記録するのに使います。
- パラメータ (アクセス記録番号00 ~ 99) で指定したアクセス記録番号のアクセス数をカウントします。

〈入力方法〉

- ①メニュー画面 (4/6) を表示し、 $\boxed{1}$ ([アクセス記録] を選択) を押します。
- ②ダイヤルボタンでパラメータ (アクセス記録番号) を入力し、 $\boxed{決定}$ を押して入力を確定します。

| | |
|------------|----------|
| 1: アクセス記録 | メニュー-4/6 |
| 2: シナリオ | |
| 004-ダイヤル | 1 |
| 005-アクセス記録 | 01 |

シナリオ
コマンド
パラメータ
(アクセス記録番号)

〈制限事項〉

- カウントは最大4,294,967,295回とし、最大カウント数まで達した場合は、それ以上カウントしません。



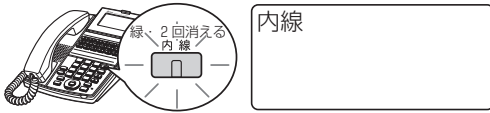
ワンポイント

- パラメータ (アクセス記録番号) を入力しなかった場合には
アクセス記録番号「00」が自動的に設定されます。

シナリオを作成（編集）する

シナリオは、電話機の **メニュー** と **ダイヤル** ボタンを使って作成（編集）します。

1 ハンドセットを置いたまま、**内線** ボタンを押す。
「ツーツー…」という音を確認してください。



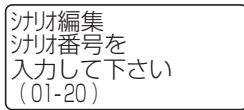
2 IVRシナリオ編集特番 (**9** **7** **7**) を押す。

「ブブブブブ」 という音を確認してください。
〈例〉特番が977の場合



3 シナリオ番号 (**0** **1** ~ **2** **0**) を押す。

〈例〉シナリオ番号02を押した場合



4 シナリオを作成（編集）する。



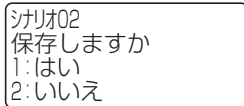
シナリオ編集中の行（シナリオ編集行）が反転表示します。
ダイヤルボタンを押してシナリオコマンドを入力してシナリオを作成します。

最後まで入力し終わったら、手順5に進みます。

5 **保留** を押す。

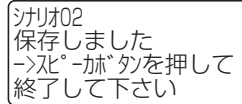


6 **1** を押す。



7 **スピーカ** ボタンを押す。

作成（編集）したシナリオを保存し、シナリオの作成（編集）が終了します。



お知らせ

- シナリオの編集は「システム設定」により、シナリオ編集が可と設定された電話機のみ行うことができます。（P76）
- 手順1でプリセクションサービスを利用されている場合は、内線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。利用されていない場合はそのまま手順2へ進んでください。

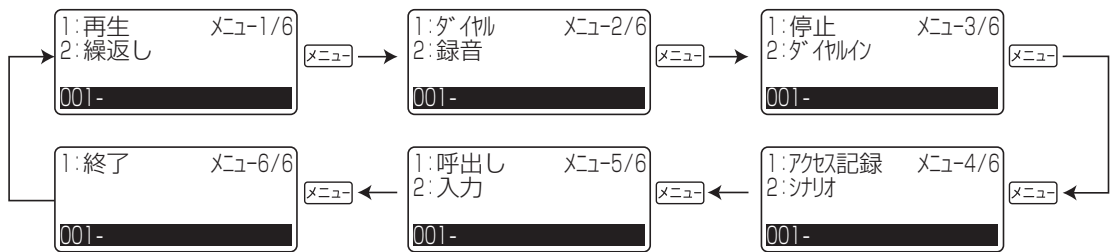
（次ページに続く）



ワンポイント

● IVRシナリオ作成メニュー画面について

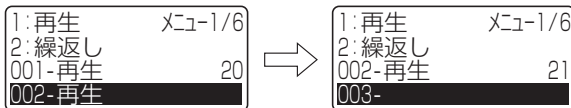
IVRシナリオ作成メニュー画面は6画面から構成されています。メニュー画面の切り替えは、下記の「メニュー」を押すたびに1/6→2/6→3/6→4/6→5/6→6/6→1/6…と切り替えることができます。



シナリオ表示行
確定したシナリオの最終行を表示する（文字点灯）
シナリオ編集行
編集中のシナリオを表示する（反転表示）

● 入力したシナリオ編集行を確定するには

〔決定〕を押すと入力が確定し、入力した文字がシナリオ表示行に移動します。



● 確定した入力を修正するには

- ① 上下ボタンを押し、修正したい行をシナリオ編集行に表示します。
- ② 〔クリア〕を押しシナリオ編集行の表示を消したあと、〔決定〕を押すと、入力した行がシナリオから削除されます。
- ③ 正しい入力を行います。

● シナリオの途中でシナリオコマンドを追加するには

フックボタンを押すと、表示されているシナリオ編集行の前に1行空白行を追加することができます。

● シナリオ作成（編集）中のシナリオをすべて削除するには

左ボタンを押すと、「全消去しますか 1:はい 2:いいえ」が表示されます。削除する場合は〔1〕を押します。削除しない場合は〔2〕を押します。

● シナリオ作成（編集）中に作成したシナリオを保存しない場合には

〔保留〕を押すと、「保存しますか 1:はい 2:いいえ」が表示されます。保存しない場合は〔2〕を押します。

● シナリオ作成（編集）中に〔保留〕を押した場合には

もう一度、〔保留〕を押すと、以前の作成（編集）中の画面に戻ります。

● シナリオ作成（編集）中にスピーカボタンを押した場合や着信応答した場合には

それまでに作成（編集）したシナリオは自動的に保存されます。ただし、フックボタンを押して、シナリオ追加中の場合、空白行表示中の行は保存されません。

応答ガイドスを録音する

応答ガイドスの録音は、「共用ガイドスを録音する」(P65) を参照して録音してください。

シナリオを確認する

編集したシナリオを電話機の上下ボタンを使って表示し確認します。

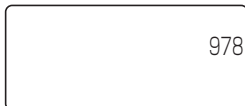
- 1** ハンドセットを置いたまま、内線ボタンを押す。
「ツーツー…」という音を確認してください。



- 2** IVRシナリオ表示特番 (9⁹ [978] 7⁷ [978] 8⁸ []) を押す。

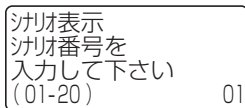
「ブブブブブ」 という音を確認してください。

〈例〉 特番が978の場合

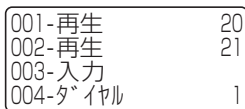


- 3** シナリオ番号 (0⁰ [01] 1¹ [] ~ 2² [] 0⁰ [01]) を押す。

〈例〉 シナリオ番号01を押しした場合



IVRシナリオ画面が表示されます。



- 4** スピーカボタンを押す。
シナリオの確認が終了します。



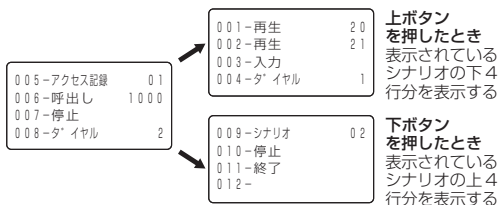
ワンポイント

- 登録されたシナリオがないときは
手順3で、「シナリオがありません」と表示されます。
- IVRシナリオ画面について
次のように内容が表示されます。

| | |
|-----------|----|
| 001-再生 | 20 |
| 002-再生 | 21 |
| 003-入力 | |
| 004-タ'イタル | 1 |

┌───┬───┬───┐
行番号 シナリオ パラメータ
 └───┘
 コマンド

- IVRシナリオ画面を切り替えるには
上下ボタンで切り替えます。



IVR機能を利用するには

IVR機能の利用回数を確認する

シナリオに登録したアクセス記録を読み出し、シナリオのアクセス数を確認することができます。

- 1 ハンドセットを置いたまま、内線ボタンを押す。
「ツーツー…」という音を確認してください。



- 2 IVRアクセス数集計特番 (9 WXYZ 7 PQRS 9 WXYZ []) を押す。

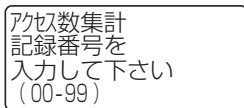
「ブブブブブ」 という音を確認してください。

〈例〉 特番が979の場合



- 3 アクセス記録番号 (0 WXYZ 0 WXYZ ~ 9 WXYZ 9 WXYZ) を押す。

〈例〉 アクセス記録番号01の場合



IVRアクセス数が表示されます。



利用回数を確認します。

- 4 スピーカボタンを押す。
利用回数の確認が終了します。



ワンポイント

- 利用回数（アクセス数）をリセットする（ゼロに戻す）には

リセットする利用回数（アクセス数）を表示して、**[クリア]** を押し、続けて**[決定]**を押します。

リセットが終了すると、次の利用回数（アクセス数）が表示されます。続けてリセットを行う場合は、同様の操作を繰り返します。

利用回数（アクセス数）が表示されているときに、**[クリア]** を押しと利用回数（アクセス数）は消えますが、リセットはされません。

- 表示されている利用回数（アクセス数）を切り替えるには
手順3でIVRアクセス数を表示したあと、上下ボタンでアクセス記録番号を切り替え、他のアクセス数を確認することができます。

上ボタン：前の利用回数（アクセス数）を表示する
下ボタン：次の利用回数（アクセス数）を表示する



お知らせ

- カウントできるアクセス数は、最大4,294,967,295回です。この回数に達した場合、それ以上はカウントしません。

暗証番号を登録するには

メール再生用、録音・消去用の暗証番号（4桁）を登録します。暗証番号の登録は、内線電話機から行ってください。

1 電話が使用中でないことを確認し、ハンドセットを上げる。

「ツーツー…」という音を確認してください。
内線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。

内線

2 「音声メール」の内線番号をダイヤルボタンで押す。

〈例〉内線番号が400の場合

400

こちらはメールボックスです。再生は1を、録音は2をダイヤルしてください。

3 #を押す。

音声メール #

設定項目をどうぞ。

4 1または2を押す。

1: メール再生用の暗証番号の登録
2: 録音・消去用の暗証番号の登録
〈例〉1を押した場合

音声メール #1

内線番号をどうぞ。

5 暗証番号を登録したいボックスの内線番号をダイヤルボタンで押す。

〈例〉内線番号が100の場合

音声メール #100

現在の暗証番号をどうぞ。

6 登録されている暗証番号をダイヤルボタンで押す。

手順4で1を押したときは再生用の暗証番号を、2を押したときは録音・消去用の暗証番号を押します。

暗証番号入力 ****

新しい暗証番号をどうぞ。

7 新しい暗証番号をダイヤルボタンで押す。

暗証番号登録 ****

暗証番号を確認します。もう一度、暗証番号をどうぞ。

暗証番号を設定しないときは、0を押します。

8 もう一度、新しい暗証番号をダイヤルボタンで押す。

再度入力 ****

暗証番号を設定しないときは、0を押します。

登録完了

暗証番号が設定されます。

暗証番号を設定しました。

暗証番号を登録するには
I-V R機能を利用するには

6 I-V R機能

7 より便利に
使う

(次ページに続く)

9 ハンドセットを置く。



ワンポイント

- 暗証番号が設定されていないときは
手順5で、
【←】新しい暗証番号をどうぞ。
というガイダンスが聞こえたら、手順7から行ってください。



お知らせ

- 「システム設定」で、あらかじめ暗証番号を登録することもできます。
- 暗証番号、内線番号を3回間違えて押すと、音声メールから切断されます。暗証番号、内線番号を確認して操作をやり直してください。
- 手順4で、【1】、【2】以外のダイヤルボタンを3回間違えて押すと、音声メールから切断されます。始めから操作をやり直してください。
- ガイダンスの問いかけに対する応答時間は、約6秒間です。応答せずに時間切れが3回になった場合は、音声メールから切断されます。始めから操作をやり直してください。

ガイダンス機能を利用するには

留守番電話（☛P43）またはシステムモード（昼・夜・休憩モード等）別外線着信など、電話がかかってきたときの状況に対応した応答ガイダンスを選択して登録することができます。ガイダンスを聞いた方のメッセージの録音もできます。ただし、システムモード別外線着信の機能をご利用になるには、あらかじめ「システム設定」で外線着信時の音声メールとの対応の設定が必要です。

ガイダンスには、下表のように10種類の固定ガイダンス（ガイダンス番号01～10）と、お客様がご自由に録音できるガイダンス（ガイダンス番号11～99）とボックス対応のガイダンス（ガイダンス番号00）があります。

ボックスに対応したガイダンスの場合はガイダンス番号00～99、システムモード別外線着信に対応したガイダンスの場合はガイダンス番号01～99を登録することができます。

| ガイダンス番号 | ガイダンス内容 |
|---|----------------------------------|
| 0 <small>0</small> <small>0</small> | （お客様が録音したオリジナルのガイダンス（☛P64）） |
| 0 <small>0</small> 1 <small>あ</small> | こちらはメールボックスです。メッセージをどうぞ。 |
| 0 <small>0</small> 2 <small>あ</small> <small>ABC</small> | ただ今、離席しております。メッセージをどうぞ。 |
| 0 <small>0</small> 3 <small>あ</small> <small>DEF</small> | ただ今、留守にしております。メッセージをどうぞ。 |
| 0 <small>0</small> 4 <small>あ</small> <small>GHI</small> | 本日の業務は終了いたしました。メッセージをどうぞ。 |
| 0 <small>0</small> 5 <small>あ</small> <small>JKL</small> | 本日のお取り扱いは終了いたしました。メッセージをどうぞ。 |
| 0 <small>0</small> 6 <small>あ</small> <small>MNO</small> | 本日は閉店しました。メッセージをどうぞ。 |
| 0 <small>0</small> 7 <small>あ</small> <small>PQRS</small> | 本日は休業しております。メッセージをどうぞ。 |
| 0 <small>0</small> 8 <small>あ</small> <small>TUV</small> | 本日は定休日とさせていただきます。メッセージをどうぞ。 |
| 0 <small>0</small> 9 <small>あ</small> <small>WXYZ</small> | ただ今、大変電話が混みあっています。しばらくお待ちください。 |
| 1 <small>あ</small> 0 <small>あ</small> | ただ今、大変電話が混みあっています。後ほどおかけ直してください。 |
| 1 <small>あ</small> 1 <small>あ</small> ～ 9 <small>あ</small> <small>WXYZ</small> 9 <small>あ</small> <small>WXYZ</small> | （お客様が録音した共用ガイダンス（☛P65）） |

ガイダンス機能を利用するには
暗証番号を登録するには

ガイダンス機能を利用するには

ボックスに対応したガイダンスを登録する

1 ハンドセットを置いたまま、内線ボタンを押す。
「ツーツー…」という音を確認してください。



2 ガイダンス登録特番 (**9** 9012 **7** 7085 **4** 414 []) を押す。

「ブブブブブ」いう音を確認してください。

〈例〉特番が974の場合

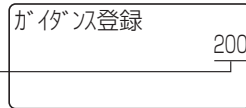


3 ダイヤルボタンで登録先の内線番号、またはボックスボタンを押す。



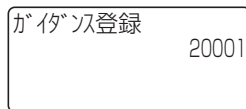
〈例〉内線番号が200の場合

ボックスボタンで操作したときも、ボックスに対応した内線番号が表示されます。



4 ガイダンス番号 (**0** 084 **0** 084 ~ **9** 9012 **9** 9012) を押す。

〈例〉ガイダンス番号01を登録した場合



5 **決定** を押す。
「ピーピー」という確認音が聞こえます。



6 スピーカボタンを押す。
ガイダンスの登録が終了します。



ワンポイント

- ガイダンスの登録を解除するには
ガイダンスの録音のときに無音で録音し、そのガイダンス番号を登録します。
- お使いの電話機のボックスに登録するときは
手順3で、内線番号の代わりに **#** を押すこともできます。

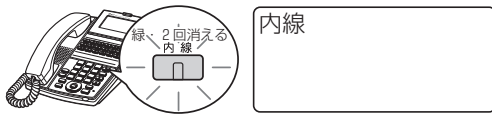
お知らせ

- 手順1でプリセクションサービスを利用されている場合は、内線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。利用されていない場合はそのまま手順2へ進んでください。
- 「システム設定」で、ボックスにガイダンスを登録することができます。
- 操作をボックスボタンで行った場合で、そのボックスボタンに対応した内線番号がシステム設定されていない場合は、ディスプレイの内線番号は「-----」と表示されます。
- 同報ボックスの応答ガイダンスは「メッセージをどうぞ。」に固定されています。応答ガイダンスは登録できません。

システムモードに対応した ガイダンスを登録する

システムモード別の外線着信に対応したガイダンスを登録することができます。

- 1** ハンドセットを置いたまま、内線ボタンを押す。
「ツーツー…」という音を確認してください。



- 2** モード対応ガイダンス登録特番 (9 9992 7 7000 5 5000) [] を押す。

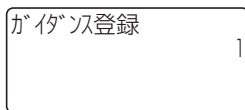
「プププププ」いう音を確認してください。
〈例〉特番が975の場合



- 3** モード番号 (1 1 ~ 5 5000) を押す。

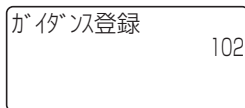
1 1 : 昼間 4 4 : 休日
2 2 : 夜間 5 5 : 特定日
3 3 : 休憩

〈例〉昼間モードを登録した場合



- 4** ガイダンス番号 (0 000 1 1 ~ 9 9992 9 9992) を押す。

〈例〉ガイダンス番号02を登録した場合



- 5** [決定] を押す。
「ピーピー」という確認音が聞こえます。



- 6** スピーカボタンを押す。
ガイダンスの登録が終了します。



ワンポイント

●システムモードについて

手順3で選択できるモードは、下記の5種類です。各モードに対応したガイダンスを登録できます。

- 昼 間：平日の昼間モードのときに流れるガイダンス
- 夜 間：平日の夜間モードのときに流れるガイダンス
- 休 憩：平日の休憩モードのときに流れるガイダンス
- 休 日：日曜日など、週間の指定した曜日に流れるガイダンス
- 特定日：祝日など、年間の指定した月日に流れるガイダンス

●システムモードの優先順位は

①特定日、②休日、③平日のモード（昼間／夜間／休憩）の順に優先されます。

お知らせ

- 手順1でプリセクションサービスを利用されている場合は、内線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。利用されていない場合はそのまま手順2へ進んでください。

ガイダンス機能を利用するには

7
使う
より便利に

オリジナルのガイダンスを録音する

オリジナルのガイダンス（ガイダンス番号00）を録音できます。

1 電話が使用中でないことを確認し、ハンドセットを上げる。

「ツーツ…」という音を確認してください。
内線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。



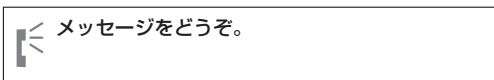
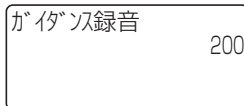
2 ガイダンス録音特番（9⁵XYZ 7⁴QRS 2³ABC []）を押す。

録音ランプが赤で点灯します。
〈例〉特番が972の場合



3 ダイヤルボタンで録音先の内線番号、またはボックスボタンを押す。

〈例〉内線番号が200の場合



お使いの電話機のボックスに録音するときは、内線番号の代わりに[#*]を押すこともできます。

4 録音するガイダンスをお話する。

5 お話が終わったら、ハンドセットを置く。
録音ランプが消え、ガイダンスの録音が終了します。



ワンポイント

- **ガイダンスをパソコンに保存するには**
録音したガイダンスをパソコンに保存することができません。（☛P105、106）
- **パソコンからガイダンスを登録するには**
パソコンに保存されているガイダンスをオリジナルガイダンスとして登録することができます。（☛P103、104）
- **お使いの電話機のボックスにオリジナルのガイダンスを録音するには**
 - ① ハンドセットを上げて、「ツーツ…」という音を確認する
 - ② 録音ボタンを押す
 - ③ 留守ボタンを押す
 - ④ ガイダンスをお話する
 - ⑤ ハンドセットを置く
- **録音を一時停止するには**
録音中に[PAUSE]を押すと、
[PAUSE] 録音を中断しました。
というガイダンスが流れ、録音を一時停止します。
もう一度[PAUSE]を押すと、
[PAUSE] 録音を再開しました。
というガイダンスが流れ、再び録音できます。
- **録音を終了するには**
録音中または録音一時停止中に録音を終了したいときは、
[END] [#*]を押します。
- **一時停止した録音を自動で再開させるには**
「システム設定」で一時停止した録音を自動で再開させることができます。録音を再開した場合、「録音を再開しました」というガイダンスが流れます。（☛P77）



お知らせ

- 操作をボックスボタンで行った場合で、そのボックスボタンに対応した内線番号がシステム設定されていない場合は、ディスプレイの内線番号は「-----」と表示されます。

共用ガイダンスを録音する

共用ガイダンスを録音できます。共用ガイダンスは、ガイダンス番号11～99までの89種類を自由に録音できます。録音されたガイダンスは、トーカー接続されたときやシステムモード別の外線着信に应答したときのガイダンスとして利用できます。

1 電話が使用中でないことを確認し、ハンドセットを上げる。

「ツーツ〜…」という音を確認してください。

内線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。

内線

2 共用ガイダンス録音特番 (9^o WXYZ 7[#] PQRS 3^o DEF []) を押す。

録音ランプが赤で点灯します。

〈例〉特番が973の場合

973

3 録音したいガイダンス番号 (1^{*} 1^{*} ~ 9^o WXYZ 9^o WXYZ) を押す。

〈例〉ガイダンス番号11に録音する場合

ガイダンス録音

11

メッセージをどうぞ。

4 録音するガイダンスをお話する。

5 お話が終わったら、ハンドセットを置く。 録音ランプが消え、共用ガイダンスの録音が終了します。



ワンポイント

●録音を一時停止するには

録音中に[*]を押すと、

録音を中断しました。

というガイダンスが流れ、録音を一時停止します。

もう一度[*]を押すと、

録音を再開しました。

というガイダンスが流れ、再び録音できます。

●録音を終了するには

録音中または録音一時停止中に録音を終了したいときは、

[#*] [#*]を押します。

●一時停止した録音を自動で再開させるには

「システム設定」で一時停止した録音を自動で再開させることができます。録音を再開した場合、「録音を再開しました」というガイダンスが流れます。(●P77)

●ガイダンスをパソコンに保存するには

録音したガイダンスをパソコンに保存することができます。(●P109)

●パソコンからガイダンスを登録するには

パソコンに保存されているガイダンスを、共用ガイダンスとして登録することができます。(●P108)

着信を端末操作で音声メールに転送するには

電話がかかってきたときにご自分で応答しないで、音声メールに転送することができます。この機能をご利用になるには、あらかじめ「システム設定」でプリセクションサービスを設定する必要があります。

1 着信している外線ボタンを押す。



2 録音ボタンを押す。

外線ランプが点灯し、着信音が鳴りやみます。



3 お使いになっている電話機のボックスに転送される。

相手の方は、ボックスに登録されているガイダンスを聞き、メッセージを残すことができます。



ワンポイント

- 内線ボタンへの着信を音声メールに転送するには
手順1で内線ボタンを押し、そのあと録音ボタンを押します。内線ランプは消え、着信音は鳴りやみます。
- 転送できないときは
着信中のままの状態、録音ランプが赤で速く点滅します。



お知らせ

- 音声メールへの転送操作のあとに、電話で応答することはできません。
- 音声メールへの転送操作のあとは、通常どおり電話機をご使用になれます。
- 以下の場合には、音声メールへの転送操作を行うことはできません。
 - ・プリセクションされていないとき
 - ・長時間保留警報により着信したとき
 - ・プリセクション中の外線または内線ボタンに着信したとき
 - ・機能／設定特番操作中
 - ・短縮ダイヤル操作中
 - ・メールの録音／再生／消去時のパスワード入力中
- 通話中にプリセクション継続時間が経過すると、プリセクションは解除されます。この状態で録音ボタンを押すと、通話録音となります。
- 通話録音中にプリセクション継続時間が経過すると、プリセクションは解除されます。この状態で録音ボタンを押すと、録音は一時停止します。録音を再開したいときは、もう一度録音ボタンを押します。
- 「システム設定」で、プリセクションサービスを設定しない場合、手順1は通常の外線着信の応答操作となり、この機能はご利用になれません。
- ワンタッチオンフックサービスをご利用になっているときは、手順1のまえに「機能」を押してください。

トーキー機能を利用するには

システムモード（昼・夜・休憩モード等）別外線着信などで、電話がかかってきた相手の方に、下表のトーキー内容のガイダンスを繰り返しアナウンスすることができます（メッセージの録音はできません）。この機能をご利用になるには、あらかじめ「システム設定」で外線着信時の音声メールトーキーとの対応の設定が必要です。

トーキーには、下表のように10種類の固定ガイダンス（トーキー番号01～10）と、お客様がご自由に録音して利用できるガイダンス（トーキー番号11～99）があります。

トーキーの登録や登録したトーキーの確認は、「システム設定」で設定されたトーキーの内線番号を利用します。

| トーキー番号 | トーキー内容 |
|---|----------------------------------|
| 0 <small>0</small> <small>1</small> <small>あ</small> | こちらはメールボックスです。 |
| 0 <small>0</small> <small>2</small> <small>か</small> <small>ABC</small> | ただ今、離席しております。 |
| 0 <small>0</small> <small>3</small> <small>さ</small> <small>DEF</small> | ただ今、留守にしております。 |
| 0 <small>0</small> <small>4</small> <small>た</small> <small>GHI</small> | 本日の業務は終了いたしました。 |
| 0 <small>0</small> <small>5</small> <small>な</small> <small>JKL</small> | 本日のお取り扱いは終了いたしました。 |
| 0 <small>0</small> <small>6</small> <small>は</small> <small>MNO</small> | 本日は閉店しました。 |
| 0 <small>0</small> <small>7</small> <small>ま</small> <small>PQRS</small> | 本日は休業しております。 |
| 0 <small>0</small> <small>8</small> <small>や</small> <small>TUV</small> | 本日は定休日とさせていただきます。 |
| 0 <small>0</small> <small>9</small> <small>ろ</small> <small>WXYZ</small> | ただ今、大変電話が混みあっています。しばらくお待ちください。 |
| 1 <small>1</small> <small>あ</small> <small>0</small> <small>ア</small> <small>EA</small> | ただ今、大変電話が混みあっています。後ほどおかけ直してください。 |
| 1 <small>1</small> <small>あ</small> <small>1</small> <small>あ</small> ～ 9 <small>9</small> <small>ろ</small> <small>WXYZ</small> 9 <small>9</small> <small>ろ</small> <small>WXYZ</small> | （お客様が録音した共用ガイダンス（●P65）） |

着信を端末操作で音声メールに転送するには
トーキー機能を利用するには

トーキーを登録する

- 1** ハンドセットを置いたまま、内線ボタンを押す。
「ツーツー…」という音を確認してください。



内線

- 2** トーキー登録特番 (**9** 0 WSYZ **7** 0 PORS **6** 0 UNOZ []) を押す。
「ブブブブブ」 という音を確認してください。
〈例〉 特番が976の場合

976

- 3** トーキーの内線番号をダイヤルボタンで押す。
〈例〉 トーキーの内線番号が500の場合

トキ-音源登録 500

- 4** トーキー番号 (**0** 0 PRMN **1** 0 0 ~ **9** 0 0 0 0) を押す。
〈例〉 トーキー番号01を登録した場合

トキ-音源登録 50001

- 5** **決定** を押す。
「ピーピー」という確認音が聞こえます。



- 6** スピーカボタンを押す。
トーキーの登録が終了します。



ワンポイント

- 登録されているトーキーを確認するには
 - ① ハンドセットを上げて、「ツーツー…」という音を確認する
 - ② トーキーの内線番号をダイヤルボタンで押す



お知らせ

- 手順1でプリセクションサービスを利用されている場合は、内線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。利用されていない場合はそのまま手順2へ進んでください。
- トーキーの録音は、共用ガイダンス録音 (●P65) で行います。

内線電話機に転送するには（内線呼出）

外から音声メールに電話をかけて、直接内線電話を呼び出すことができます。

1 「音声メール」へ電話をかける。



ダイヤリングサービスを行います。サービス番号をどうぞ。

2 **0**を押す。

内線番号と#をどうぞ。

3 ダイヤルボタンで転送先の内線番号と **#** を押す。

内線番号は〇〇〇ですね。よろしければ0、訂正ならば1をどうぞ。

4 **0**を押す。

転送します。お待ちください。

5 転送先の方が出たら、お話しする。



6 お話が終わったら、電話を切る。



お知らせ

- 転送先の呼び出しは、「システム設定」により設定されている時間だけ呼び出し、転送先がお話し中または不在で応答しないときは、内線番号のダイヤル待ちになります。手順3から操作をやり直してください。また、ダイヤル待ちが3回を超えると、音声メールから切断されます。始めから操作をやり直してください。
- 内線番号を3回間違えて押すと、音声メールから切断されます。内線番号を確認して始めから操作をやり直してください。
- ガイダンスの問いかけに対する応答時間は、約6秒間です。応答せずに時間切れが3回になった場合は、音声メールから切断されます。始めから操作をやり直してください。
- 内線番号を3回間違えた場合や、時間切れが3回になった場合に、あらかじめ設定された番号を呼び出すように、「システム設定」により設定できます。（●P111）

内線電話機に転送するには（内線呼出）
トーカー機能を利用するには

外から音声メールに電話をかけて、直接外線電話（専用線を含みます）を呼び出すことができます。ただし、ご利用になるには、ダイヤルイン暗証番号（☛P73）が必要です。

1 「音声メール」へ電話をかける。



☛ ダイヤリングサービスを行います。サービス番号をどうぞ。

2 1☎を押す。

☛ 暗証番号と#をどうぞ。

3 ダイヤルボタンでダイヤルイン暗証番号と☎を押す。

☛ 転送先番号と#をどうぞ。

4 ダイヤルボタンで転送先の電話番号と☎を押す。
〈例〉転送先の電話番号が0-03-0000-xxxxの場合

☛ 外線転送は 003 0000xxxxですね。よろしければ0、訂正ならば1をどうぞ。

5 0☎を押す。

☛ 転送します。お待ちください。

6 転送先の方が出たら、お話しする。



7 お話しが終わったら、電話を切る。



ワンポイント

- 転送先番号とは
外線発信特番と相手先番号のことです。



お知らせ

- 転送先の呼び出しは、「システム設定」により設定されている時間だけ呼び出し、転送先がお話し中または不在で応答しないときは、転送先番号のダイヤル待ちになります。手順4から操作をやり直してください。また、ダイヤル待ちが3回を超えると、音声メールから切断されます。始めから操作をやり直してください。
- ダイヤルイン暗証番号を3回間違えて押すと、音声メールから切断されます。ダイヤルイン暗証番号を確認して始めから操作をやり直してください。
- 転送先番号を3回間違えて押すと、音声メールから切断されます。転送先番号を確認して始めから操作をやり直してください。
- ガイダンスの問いかけに対する応答時間は、約6秒間です。応答せずに時間切れが3回になった場合は、音声メールから切断されます。始めから操作をやり直してください。
- 番号を3回間違えた場合や、時間切れが3回になった場合に、あらかじめ設定された番号を呼び出すように、「システム設定」により設定できます。（☛P111）

各種機能にアクセスするには (機能アクセス)

外から音声メールに電話をかけて、次の機能を設定できます。

- 昼間モードの切り替え
- 夜間モードの切り替え
- 休憩モードの切り替え
- システムモードの手動解除
- 留守番電話の起動 (●P45)
- 留守番電話の起動解除 (●P45)
- 留守番電話応答ガイダンスの設定

ご利用になるには、ダイヤルイン暗証番号 (●P73) が必要です。

1 「音声メール」へ電話をかける。



ダイヤリングサービスを行います。サービス番号をどうぞ。

2 **3** を押す。

暗証番号と#をどうぞ。

3 ダイヤルボタンでダイヤルイン暗証番号と **#** を押す。

サービス番号と#をどうぞ。

4 ダイヤルボタンで機能アクセスのサービス番号と **#** を押す。

〈例〉サービス番号が〇〇〇の場合

サービス番号は〇〇〇ですね。よろしければ0、訂正ならば1をどうぞ。

5 **0** を押す。

サービスを要求します。お待ちください。

6 サービス受付が完了する。



サービスを受け付けました。ご利用ありがとうございました。

7 電話を切る。



各種機能にアクセスするには(機能アクセス)
外線に転送するには(外線転送)

7 より便利
に使う

(次ページに続く)



ワンポイント

●機能アクセスのサービス番号について

手順4で、各種機能にアクセスするサービス番号は、下記のとおりです。

- 昼間モードの切り替え : 9^時 5^分 1^{*} []
- 夜間モードの切り替え : 9^時 5^分 2^時 []
- 休憩モードの切り替え : 9^時 5^分 3^時 []
- システムモードの手動解除 : 9^時 5^分 0^時 []
- 留守番電話の起動 : 9^時 7^分 0^時 []
- 留守番電話の起動解除 : 9^時 7^分 1^{*} []
- 留守番電話応答ガイダンスの設定 : 9^時 7^分 4^分 []



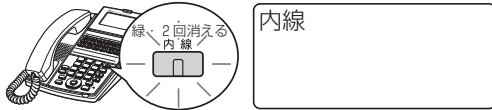
お知らせ

- ダイヤルイン暗証番号を3回間違えて押すと、音声メールから切断されます。ダイヤルイン暗証番号を確認して始めから操作をやり直してください。
- 機能アクセスのサービス番号を3回間違えて押すと、音声メールから切断されます。機能アクセスのサービス番号を確認して始めから操作をやり直してください。
- ガイダンスの問いかけに対する応答時間は、約6秒間です。応答せずに時間切れが3回になった場合は、音声メールから切断されます。始めから操作をやり直してください。
- 機能アクセスにより留守番電話の起動を行った場合は、着信中の回線には留守番電話で応答しません。

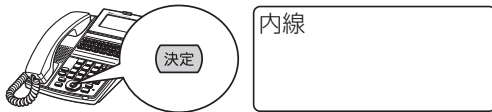
ダイヤルイン暗証番号を設定するには

外線転送サービス（☛P70）や機能アクセスサービス（☛P71）をご利用になるときに必要ダイヤルイン暗証番号を設定します。ダイヤルイン暗証番号は、「IDコード（4～8桁）」と「ユーザ暗証番号（4桁）」を合わせた番号（8～12桁）です。

- 1** ハンドセットを置いたまま、内線ボタンを押す。
「ツーツー…」という音を確認してください。



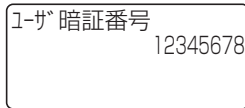
- 2** **決定** を押す。
「ツツツ…」という音を確認してください。



- 3** ユーザ暗証番号設定特番（☛☛☛☛ []）を押す。
「ブブブブブ」という音を確認してください。
〈例〉特番が*0の場合



- 4** IDコード（4～8桁）をダイヤルボタンで押す。



- 5** 現在登録されているユーザ暗証番号（4桁）をダイヤルボタンで押す。



- 6** 新しいユーザ暗証番号（4桁）をダイヤルボタンで押す。



- 7** **決定** を押す。
「ピーピー…」という確認音が聞こえます。

- 8** スピーカボタンを押す。
ダイヤルイン暗証番号が設定されます。



ワンポイント

- ユーザ暗証番号を消去するには
現在登録されているユーザ暗証番号を消去する場合は、手順6で**クリア**を押し、手順7から行ってください。
- 暗証番号の設定を途中で止めるには
手順7で**決定**を押す前にスピーカボタンを押します。
- 手順2で**決定**を押さずにダイヤルイン暗証番号を設定するには
①手順1のあと、ユーザ暗証番号特番（☛☛☛☛ []）を押す
②IDコード（4～8桁）をダイヤルボタンで押す
③現在のユーザ暗証番号（4桁）をダイヤルボタンで押す
④新しいユーザ暗証番号（4桁）をダイヤルボタンで押す
⑤**決定**を押す
⑥スピーカボタンを押す



お知らせ

- ここでは、すでにIDコードと暗証番号が設定されている場合について説明しています。
IDコードに現在の暗証番号が設定されていない場合、手順5は省略となります。手順6から操作を行ってください。
- 手順1でプリセクションサービスを利用されている場合は、内線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。利用されていない場合はそのまま手順2へ進んでください。
- IDコードの桁数とIDコード（4～8桁）は、「システム設定」で設定した値となります。
- ユーザ暗証番号（4桁）は「システム設定」であらかじめ登録することもできます。（☛P76）

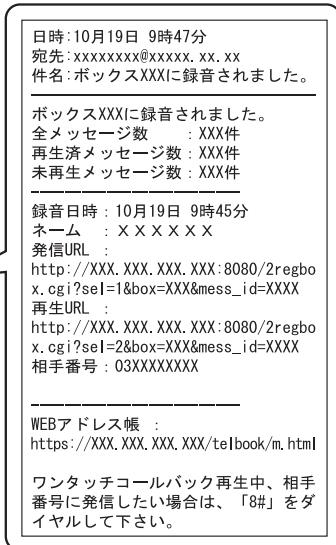
各種機能にアクセスするには（機能アクセス）
ダイヤルイン暗証番号を設定するには

ワンタッチコールバック再生を利用するには

外出先でメールの内容を確認したいときに電子メールに記載されている再生URLをクリックすることにより、事業所（システム設置所）の料金負担でメールを聞くことができます。

1 電子メールで通知された、録音されたメールの内容を確認する。

メールが録音されると電子メールで通知がきます。電子メールの内容を確認すると録音されたメールの内容が表示されます。



※この画面は電子メールイメージです。

2 電子メールの再生URLをクリックする。

携帯電話やスマートフォンのブラウザが起動し、「要求を受け付けました。」が表示されます。

3 システムから携帯電話やスマートフォンに電話がかかる。



ワンポイント

●ワンタッチコールバック再生を利用するには

ワンタッチコールバック再生をご利用になるには、ワンタッチコールバック設定（●P30）およびサービスの開始（●P31）、音声メールユニットのワンタッチコールバック設定（●P115）とシステム設定が必要になります。

●メール再生中からワンタッチコールバック発信を行うにはワンタッチコールバック再生、メール到達通知により、メール再生をしているときにメール再生中の発信特番を押すと、メールを録音した方への発信に切り替えることができます。

メール再生中の発信特番を行うためには音声メールユニットのワンタッチコールバック設定（●P115）とシステム設定が必要になります。

4 着信に応答する。

メールの内容を聞くことができます。



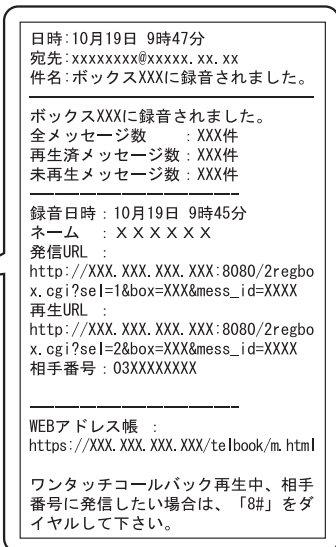
お知らせ

- 電子メールで通知されるWEBアドレス帳サーバURL、メール再生中のワンタッチコールバック発信特番説明文と、録音メッセージ1件ずつの発信URL、再生URLについては、録音されたメッセージやワンタッチコールバック機能設定の設定内容によって表示されない場合があります。表示されない場合、その機能はご利用になれません。
- 再生URLにアクセスし、「要求を受け付けました。」と表示されても、電話機に着信が入らない場合があります。その場合、少し待ってから再度、再生URLにアクセスしてください。
- 電子メールで通知されたメールが消去された場合など、ワンタッチコールバックの機能がご利用になれない場合、「要求を受け付けられませんでした。」が表示されます。
- ワンタッチコールバック再生の着信に応答したときに、該当するメッセージを再生できない場合、「該当するメッセージはありません。」が再生されます。
- お使いの携帯電話やスマートフォンによっては、電子メールやブラウザの画面表示や文字サイズが異なる場合があります。
- お使いの携帯電話やスマートフォンのブラウザによっては、ワンタッチコールバック機能をご利用になれない場合があります。
- ワンタッチコールバック機能を同時にご利用になれる端末は1台となります。他の方が同時にご利用になっている場合、再生URLまたは発信URLをクリックしても操作に失敗する場合があります。すこし時間をおいてからご利用になってください。

外出先でメール録音者へ電話をかけたいときに、電子メールに記載されている発信URLをクリックすることにより、事業所（システム設置所）の料金負担で通話できます。

1 電子メールで通知された、録音されたメールの内容を確認する。

メールが録音されると電子メールで通知がきます。電子メールの内容を確認すると録音されたメールの内容が表示されます。



※この画面は電子メールイメージです。

2 電子メールの発信URLをクリックする。

発信URLにアクセスすると、ワンタッチコールバック発信が要求され、「要求を受け付けました。」が表示されます。

3 システムから携帯電話やスマートフォンに電話がかかる。

4 着信に応答する。

呼び出し音が聞こえ、メールを録音した方への発信になります。相手の方が出たらお話しすることができます。



ワンポイント

●WEBアドレス帳からワンタッチコールバック発信を行うには電子メールで通知されたWEBアドレス帳URLにアクセスすると、WEBアドレス帳のワンタッチコールバック機能を利用することができます。詳しくはWEBアドレス帳取扱説明書を参照してください。

●ワンタッチコールバックを利用するにはワンタッチコールバック発信、WEBアドレス帳、メール再生中の発信特番の機能をご利用になるには、ワンタッチコールバック設定（☛P30）およびサービスの開始（☛P31）、音声メールユニットのワンタッチコールバック設定（☛P115）とシステム設定が必要になります。



お知らせ

- 電子メールで通知されるWEBアドレス帳サーバURL、メール再生中のワンタッチコールバック発信特番説明文と、録音メッセージ1件ずつの発信URL、再生URLについては、録音されたメッセージやワンタッチコールバック機能設定の設定内容によって表示されない場合があります。表示されない場合、その機能はご利用になれません。
- お聞きになっているメールによっては、ダイヤルボタンでメール再生中の発信特番を押しても、録音した方へ発信できない場合があります。録音した方へ発信できない場合、メール再生中の発信特番を押してもメールの再生が継続になる場合や、メールをお聞きになっている電話が切れる場合があります。詳しくは販売店やサービス取扱所にご相談ください。
- メール再生中の発信特番については、ワンタッチコールバック再生、メール到達通知で外線から再生している場合のみ操作できます。メール到達通知で内線から再生している場合は、操作することはできません。操作を行うとメールをお聞きになっている電話の切断となります。
- ボックスボタンや音声メールの番号をダイヤルして再生した場合には、メール再生中の発信特番を操作することはできません。
- お使いの携帯電話やスマートフォンによっては、電子メールやブラウザの画面表示や文字サイズが異なる場合があります。
- お使いの携帯電話やスマートフォンのブラウザによっては、ワンタッチコールバック機能をご利用になれない場合があります。
- ワンタッチコールバック機能を同時にご利用になれる端末は1台となります。他の方が同時にご利用になっている場合、再生URLまたは発信URLをクリックしても操作に失敗する場合があります。すこし時間を置いてからご利用になってください。

ワンタッチコールバック発信を利用するには

7 より便利
に使う

システム設定によりご利用になれる機能

音声メールの機能には、お客様が登録・設定できる機能のほか、システムの設置時にあらかじめ「システム設定」で登録・設定しておくとお使いになれる機能が多数あります。また、いろいろな機能を利用するための番号があらかじめ「システム設定」により決められています。「システム設定」を行いたいときや、変更したいときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へお気軽にご相談ください。

| | 機 能 | システム設定項目 | ページ |
|-----------------------------|--|------------------------------|------|
| お話しを録音する | 自動的にお話しを録音する | 自動通話録音対象 | ☛P77 |
| | 1メールの録音時間を設定する | VM録音最大時間 VM録音最大時間時処理 | ☛P77 |
| | 1ボックスに録音できるメールの件数を設定する | メールボックスデータ | ☛P77 |
| | 通話録音が終了したときにメールを自動的に保存する | 自動通話録音終了時メール保存終了 | ☛P77 |
| | メールに付加するコメントの位置を設定する | VMコメント位置指定 | ☛P77 |
| | 一時停止した録音を自動で再開する | ポーズ解除タイマ | ☛P77 |
| | お話しを録音する場合に音切れを防止するかどうか設定する | 音切れ防止制御 | - |
| | 音切れしてもお話しを録音するかどうか設定する | 音切れ通話モニタ可否 | - |
| お話しを録音する場合に音切れ防止が必要な回線を設定する | 音切れ防止対象回線 | - | |
| メールを送る | かかってきた電話をボックスへ転送する | 端末未応答話中通知 EK未応答話中通知 | ☛P77 |
| | メールを転送したあとにもとのボックスにメールを保存する | 転送時メール保存設定 | ☛P77 |
| | 1回のメール到達通知時に呼び出す時間 | VM到着通知発信呼出時間 | ☛P77 |
| | メール到達通知する回数 | VM到着通知発信回数 | ☛P77 |
| | メール到達通知の間隔 | VM到着通知発信周期時間 | ☛P77 |
| | メール到達時、ボックスランプまたは再生ランプを点灯させる | VM到着表示 | ☛P78 |
| メールを再生／消去する | メールを録音／再生し、転送したあとに録音／再生中のボックスにメールを保存する | 転送時メール保存設定 | ☛P78 |
| | メールを再生したあとに録音日時と相手の方の番号をガイダンスで流す | VMタイムスタンプ | ☛P78 |
| | メール再生から次のメールを再生するまでの(無音の)時間を設定する | メール再生間隔タイマ | ☛P78 |
| | メールを自動的に消去する | VM保存日数 VM自動消去時刻 | ☛P78 |
| その他 | 外線から音声メールへ電話をかけてサービスを受ける | DSAサービス設定 IDコード ID暗証番号 | ☛P79 |
| | 複数のボックスをまとめて、同報ボックスとする | VM同報ボックス | ☛P79 |
| | 音声メールを複数実装した場合のボックスの割付け | メールボックスデータ VM同報ボックス | ☛P79 |
| | 回線へのボックスの割当て | TR対応ボックス指定 | ☛P79 |
| | 留守番電話が応答したとき他の電話機に転送する | 録音メール到着通知先 | ☛P79 |
| | 留守番電話中の通話をモニタし、相手の方との通話に切り替える | 留守番電話モニタ割込可否 | ☛P79 |
| | システムモードに対応したガイダンスを設定する | VMモード対応ガイダンス | ☛P79 |
| | 録音時間の短いメールを無効とし消去する | 録音ガード時間 | ☛P79 |
| | ダイヤルイン暗証番号を設定する | IDコード定義 | ☛P73 |
| | IVRシナリオを作成(編集)する | IVRシナリオ編集可否 | ☛P55 |

お話しを録音する

■ 自動的にお話しを録音する

自動的にお話しを録音するには、下のどの条件で録音を開始するのかが設定します。

- ・電話をかけて、相手の方とお話しを始めたときから録音する
- ・かけてきた相手の方とお話しを始めたときから録音する
- ・転送されてきた電話の相手の方とお話しを始めたときから録音する

■ 1メールの録音時間を設定する

1つのメールを録音できる最大時間を1～30分または制限なしに、設定することができます。

メールの録音中に、設定した最大時間を超えた場合の処理を次のどちらかに設定することができます。

- ・通話録音を終了する（続けて録音したい場合は、録音ボタンを押すと、新しいメールとして録音を開始する）
- ・通話録音時間を経過した時点で、それまでの録音内容は消去され、続けて録音される

■ メールに付加するコメントの位置を設定する

メールの先頭または末尾にコメントを付けるように設定することができます。

■ 1ボックスに録音できるメールの件数を設定する

1ボックスに録音できるメールの件数を設定することができます。

最大255件まで設定できます。

■ 通話録音が終了したときにメールを自動的に保存する

通話録音が終了したときにメールをボックスに保存するか否かを設定することができます。「保存する」に設定したときは、メールは使用した電話機に対応したボックスに保存されます。

メールを転送したときは、設定に関係なく、転送先の電話機に対応したボックスに保存されます。

■ 一時停止した録音を再開する

一時停止した録音を自動で再開する時間を10～255秒に設定することができます。指定しない場合は自動で録音は再開されません。ただし、自動通話録音（●P18）および手動通話録音（●P22）で録音を一時停止した場合、設定は無効となります。

メールを送る

■ かかってきた電話をボックスへ転送する

かかってきた電話に応答しないまま一定時間経過後、指定したボックスに転送したり、お話し中のときにかかってきた電話を指定したボックスに転送することができます。

■ メールを転送したあとにもとのボックスにメールを保存する

録音／再生したメールを転送したときに、録音／再生中のボックスにメールを保存するかどうかを設定することができます。

| 設 定 | 保存先のボックス | |
|-------|----------------------|---|
| | 録音／再生後 | 録音／再生後に転送したとき |
| 保存する | 録音／再生したメールはそのまま保存される | 録音／再生したメールは消去されない 転送したメールは転送先のボックスに保存される |
| 保存しない | 録音／再生したメールはそのまま保存される | 録音／再生したメールは消去される 転送したメールは転送先のボックスに保存される |

■ 1回のメール到達通知時に呼び出す時間

メールが録音されたことを知らせる着信音が鳴り続ける時間を設定することができます。

■ メール到達通知する回数

メール到達通知を行う回数を設定することができます。24回まで設定できます。0回に設定すると、メールが着信したことを通知しません。

■ メール到達通知の間隔

メール到達通知回数を複数回に設定したときに、通知する間隔を1～60分の間隔で設定することができます。

■ メール到達時、ボックスランプまたは再生ランプを点灯させる

ボックスに新しいメールが録音された場合に、ボックスボタンまたは再生ボタンのランプが点灯するように設定できます。

また、メール再生後のボックスボタンまたは再生ボタンのランプの状態を設定することができます。設定できる状態は次のとおりです。

- ・常時点灯しない
- ・ボックス内に未再生メールがあったときに緑で点滅する
- ・ボックス内にメールがあったときに緑で点滅する
- ・メール再生で消える。そのあと新しいメールが到達すると、再び緑で点滅する

メールを再生／消去する

■ メールを録音／再生し、転送したあとに録音／再生中のボックスにメールを保存する

録音／再生し、転送が終了したときに、メールを録音／再生中のボックスに保存するかどうかを設定することができます。

| 設 定 | 保存先のボックス | |
|-------|----------------------|---|
| | 録音／再生後 | 録音／再生後に転送したとき |
| 保存する | 録音／再生したメールはそのまま保存される | 録音／再生したメールは消去されない 転送したメールは転送先のボックスに保存される |
| 保存しない | 録音／再生したメールはそのまま保存される | 録音／再生したメールは消去される 転送したメールは転送先のボックスに保存される |

■ メールを再生したあとに録音日時と相手の方の番号をガイダンスで流す

メールを再生したあとに、そのメールが録音された日時と相手の方の電話番号が流れるように設定することができます。

■ メール再生から次のメールを再生するまでの（無音の）時間を設定する

メールを再生したあとに次のメールを再生するまでの時間（なし、1～255秒）を設定することができます。

■ メールを自動的に消去する

ボックスに保存しているメールを自動的に消去するように設定できます。

設定した保存日数経過後、設定した自動消去時刻になると、メールは消去されます。自動消去をしない設定にすることもできます。

ただし、バックアップしたメールは自動的に消去できません。

その他

■ 外線から音声メールへ電話をかけてサービスを受ける

「システム設定」すると、外線からかけたときと同じように音声メールのサービスをご利用になれます。

- ・ 外線を利用してメールを送る (●P26)
- ・ 外線を利用してメールを再生する (●P36)
- ・ 外線を利用してメールをバックアップする

■ 複数のボックスをまとめて、同報ボックスとする

最大16ボックスをまとめて、1つのボックスとみなすことができます。

同報ボックスにメールを送ると、同じメールを一度に同報ボックスに登録されている複数のボックスに送ることができます。

■ 音声メールを複数実装した場合のボックスの割付け

1つの主装置に複数の音声メールを装着することができます。ボックス番号は、主装置に装着されている音声メール全体で、001～516まで付けることができます。

〈例〉

ボックス番号…001～200 201～400 401～500
(同報ボックス)…(501～505) (506～510) (511～516)

| | | |
|------------|------------|------------|
| 音声メール A | 音声メール B | 音声メール C |
|------------|------------|------------|

※内線ボックス、外線ボックス、共通ボックスのボックス番号は001～500、同報ボックスのボックス番号は501～516がお使いになれます。

■ 回線へのボックスの割当て

電話回線ごとにボックスを登録することができます。かかってきた回線のボックスにメールが録音されます。

■ 留守番電話が応答したとき他の電話機に転送する

留守番電話が応答したとき、メッセージを録音するか、またはメール録音通話切替特番のダイヤルを押して、他の電話機を呼び出すことができます。

次のような場合は、転送されず、応答した音声メールのボックスにメッセージが録音されます。

- ・ グループ間接続規制などにより転送先を接続できないとき
- ・ 転送先内線を決定できないとき
- ・ 転送先がお話し中のとき

■ 留守応答中の通話を聞く（モニタする）、モニタ中の相手と通話する

指定した留守応答中の通話をモニタ（聞く）したり、モニタ中の相手の方と通話することができます。

また、モニタ可能な留守応答中の通話を外線または内線ランプを点滅（緑）させて通知します。

■ システムモードに対応したガイダンスを設定する

次のモードごとに流れるガイダンスを設定することができます。

〈モードの種類〉

- ・ 昼間
- ・ 夜間
- ・ 休憩
- ・ 休日
- ・ 特定日

■ 録音時間の短いメールを無効とし消去する

録音時間の短いメールを、自動消去する為の時間を設定します。

設定は、消去しない、1～5秒の選択ができます。

また、この設定はコメントの録音に対しても有効となります。

各種機能を利用するための特番一覧

以下の機能にはあらかじめ特番が設定されています。操作方法については参照先をご覧ください。
 (「システム設定」により変更ができます。)

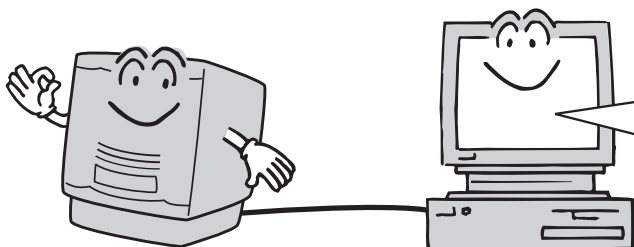
| 名 称 | 機 能 | 番 号 | 参照先 |
|-------------------------|---------------------------------|---|---------|
| 自動通話録音モード解除特番 | 自動通話録音モードを解除する | 9 <small>ら</small> WXYZ 6 <small>は</small> MN0 7 <small>ま</small> PQRS [] | ☛P19、21 |
| 自動通話録音モード設定特番 | 自動通話録音モードを設定する | 9 <small>ら</small> WXYZ 6 <small>は</small> MN0 6 <small>は</small> MN0 [] | ☛P19、21 |
| メール送信特番 | メールを送信する | 9 <small>ら</small> WXYZ 6 <small>は</small> MN0 1 <small>あ</small> [] | ☛P25 |
| メール到達通知/2レグ発信・再生通知先設定特番 | メールの到達通知先またはワンタッチコールバック先を設定する | 9 <small>ら</small> WXYZ 6 <small>は</small> MN0 3 <small>さ</small> DEF [] | ☛P30 |
| メール到達通知起動特番 | メール到達通知の機能を起動する | 9 <small>ら</small> WXYZ 6 <small>は</small> MN0 4 <small>た</small> GHI [] | ☛P31 |
| 2レグ発信・再生特番 | ワンタッチコールバックの機能を起動する | 9 <small>ら</small> WXYZ 1 <small>あ</small> 7 <small>ま</small> PQRS [] | ☛P31 |
| メール到達通知/2レグ発信・再生停止特番 | メールの到達通知またはワンタッチコールバックの機能を停止する | 9 <small>ら</small> WXYZ 6 <small>は</small> MN0 5 <small>な</small> JKL [] | ☛P33 |
| メール再生特番 | メールを再生する | 9 <small>ら</small> WXYZ 6 <small>は</small> MN0 0 <small>ひら</small> [] | ☛P34 |
| 留守番電話起動特番 | 留守番電話を起動する | 9 <small>ら</small> WXYZ 7 <small>ま</small> PQRS 0 <small>ひら</small> [] | ☛P45 |
| 留守番電話解除特番 | 留守番電話の起動を解除する | 9 <small>ら</small> WXYZ 7 <small>ま</small> PQRS 1 <small>あ</small> [] | ☛P45 |
| メール録音通話切替特番 | メール録音中に他の電話機を呼び出す | 9 <small>ら</small> WXYZ 6 <small>は</small> MN0 2 <small>か</small> ABC [] | ☛P46 |
| ガイダンス登録特番 | ボックスに対応したガイダンスを登録する | 9 <small>ら</small> WXYZ 7 <small>ま</small> PQRS 4 <small>た</small> GHI [] | ☛P62 |
| モード対応ガイダンス登録特番 | システムモード対応のガイダンスを登録する | 9 <small>ら</small> WXYZ 7 <small>ま</small> PQRS 5 <small>な</small> JKL [] | ☛P63 |
| ガイダンス録音特番 | ガイダンスを録音する | 9 <small>ら</small> WXYZ 7 <small>ま</small> PQRS 2 <small>か</small> ABC [] | ☛P64 |
| 共用ガイダンス録音特番 | 共用ガイダンスを録音する | 9 <small>ら</small> WXYZ 7 <small>ま</small> PQRS 3 <small>さ</small> DEF [] | ☛P65 |
| トーカー登録特番 | トーカーを登録する | 9 <small>ら</small> WXYZ 7 <small>ま</small> PQRS 6 <small>は</small> MN0 [] | ☛P68 |
| ユーザ暗証番号特番 | ダイヤルイン暗証番号のユーザ暗証番号を登録する | 9 <small>ら</small> WXYZ 1 <small>あ</small> 4 <small>た</small> GHI [] | ☛P73 |
| ユーザ暗証番号設定特番 | ダイヤルイン暗証番号のユーザ暗証番号を(決定)を使って登録する | (決定) + * 0 <small>ひら</small> [] | ☛P73 |
| IVRシナリオ編集特番 | シナリオを作成(編集)する | 9 <small>ら</small> WXYZ 7 <small>ま</small> PQRS 7 <small>ま</small> PQRS [] | ☛P55 |
| IVRシナリオ表示特番 | シナリオを確認する | 9 <small>ら</small> WXYZ 7 <small>ま</small> PQRS 8 <small>や</small> RST [] | ☛P57 |
| IVRアクセス数集計特番 | シナリオへのアクセス回数を確認する | 9 <small>ら</small> WXYZ 7 <small>ま</small> PQRS 9 <small>ら</small> WXYZ [] | ☛P58 |

PC操作編

音声メールで録音された内容をパソコンで管理

音声メール（主装置に収容されているユニットタイプ）とパソコンとをLAN接続することにより、パソコンのWebブラウザを使って音声メールを管理できます。

PC操作を行うには、一般ユーザまたはユーザ管理者でログインします。



一般ユーザの利用メニュー

一般ユーザ

ボックス番号: 10

録音可能時間: 100時間07分

現在のメール保有数: 0

- 録音メッセージダウンロード
- 録音メッセージ消去
- 個別ガイダンス管理
- 電子メール通知設定

ログアウト

ユーザ管理者の利用メニュー

ユーザ管理者

- 録音メッセージダウンロード
- 録音メッセージ消去
- 個別ガイダンス管理
- 共用ガイダンス管理
- VMリセット
- VMメモリフォーマット
- ユーザ管理者ID変更
- メール再生順設定
- 付加ID失敗時転送先設定
- 電子メール通知設定
- 録音可能時間・件数確認
- IP系データ設定
- ワンタッチコールバック設定
- 音声メールアップロード設定
- 接続タイムアウト時間変更
- WEB設定データ管理

ログアウト

録音メッセージのダウンロード

メールボックスに保存されている録音メッセージとコメントをwaveファイルとしてパソコンにダウンロードすることができます。

録音メッセージの消去

メールボックスに保存されている録音メッセージとコメントをパソコンから消去できます。

録音メッセージの管理に電子メールを利用する

ボックスにメールが到達したことを、登録したアドレスに電子メールで通知するように設定できます。また、録音可能な時間が残りわずかになったときに、特定のユーザ管理者に電子メールで通知することもできます。

音声メールアップロード(ユーザ管理者のみ)

メールボックスに保存されている録音メッセージを自動的に社内LAN上のサーバやクラウド上のサーバにアップロードすることができます。

個別ガイダンスの管理

メールボックスに保存されている個別ガイダンスをパソコンにダウンロードできます。また、パソコンから個別ガイダンスをアップロードすることも可能です。

共用ガイダンスの管理(ユーザ管理者のみ)

メールボックスに保存されている共用ガイダンスをパソコンにダウンロードできます。また、パソコンから共用ガイダンスをアップロードすることも可能です。

音声メールの保守(ユーザ管理者のみ)

パソコンから音声メール機能をリセットしたり、VMメモリをフォーマットすることができます。

WEB設定データバックアップ(ユーザ管理者のみ)

WEB設定データを音声メールユニットからパソコンにダウンロードしたり、パソコンから音声メールユニットにアップロードすることができます。

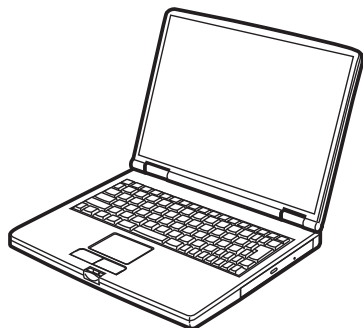
パソコンの接続

パソコンと主装置に収容されている音声メールユニットを接続するには、パソコンとLANケーブルが必要です。
パソコンのLANポートと音声メールユニットのLANポートをLANケーブルで接続してください。

お客様にご用意いただくもの

・パソコン

10BASE-Tまたは100BASE-T / 100BASE-TXに対応したLANポートを備えていることをご確認ください。



・LANケーブル

市販のLANケーブルをご用意ください。



動作環境について

主装置に収容された音声メールユニットにLAN接続したパソコンでWebブラウザを起動し、パソコンの画面で音声ファイルのアップロード／ダウンロードや、音声メールユニットが保持しているシステムデータの管理が行えます。

PC操作を行うには、次の動作環境が必要です。

| OS | 推奨ブラウザ |
|--|------------------------------|
| Windows 8 (Windows 8, Pro, Enterprise) | Internet Explorer 10.0 ※2 ※3 |
| Windows 7 (Home Premium (SP1), Professional (SP1), Ultimate (SP1)) | Internet Explorer 10.0 ※2 |
| | Internet Explorer 9.0 ※2 |
| | Internet Explorer 8.0 ※2 |
| Windows Vista (Home Basic, Home Premium, Business, Ultimate (SP2)) ※1 | Internet Explorer 9.0 ※2 |
| | Internet Explorer 8.0 ※2 |
| | Internet Explorer 7.0 |
| Windows XP (Home Edition (SP3), Professional (SP3)) ※1 | Internet Explorer 8.0 ※2 |
| | Internet Explorer 7.0 |
| | Internet Explorer 6.0 (SP3) |

※1 Windows Vista、Windows XPは32bitのみ対応

| 項目 | 条件 |
|--------|-----------|
| 同時接続台数 | 1台 |
| 解像度 | XGA以上 |
| 文字サイズ | 「中」以下 |
| 文字コード | Shift-JIS |

※2 Internet Explorer 10.0標準モード、Internet Explorer 9.0標準モードおよびInternet Explorer 8.0標準モードではご利用になりません。自動でIE7互換モードでの動作となります。

「追加のアクセラレータ検索」は使用しないでください。使用した場合、エラーとなり一定時間ログインできなくなる場合があります。

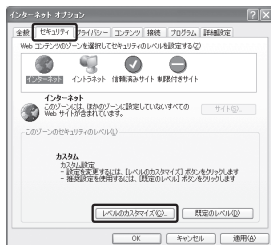
共用ガイドランスのアップロード等でエラーとなった場合、セキュリティレベルをdefaultの(中高)から(中)に下げてください。セキュリティレベルの変更については、お客様の責任で十分注意をして変更してください。

※3 Internet Explorer 10.0では、デスクトップ用Internet Explorer 10.0をご利用ください。タッチデバイス用に最適化されたWindows UIのInternet Explorer 10.0は使用しないでください。

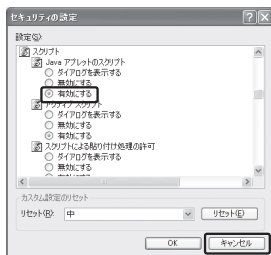
Webブラウザの設定

本商品の設定は、パソコンのWebブラウザで行います。
 お使いのWebブラウザでJavaScriptが利用可能になっていることを確認してください。
 以下は、Internet Explorer 7.0で確認する方法を説明しています。

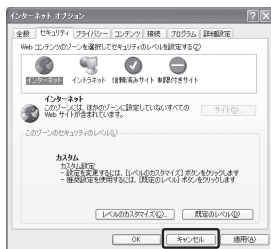
- 1 Internet Explorerを起動する。
- 2 「ツール」メニューの「インターネットオプション」をクリックする。
- 3 「セキュリティ」タブをクリックし、「レベルのカスタマイズ」をクリックする。



- 4 「スクリプト」の項目で、「アクティブスクリプト」の設定が「有効にする」になっていることを確認し、「キャンセル」をクリックする。



- 5 「インターネットオプション」画面の「キャンセル」をクリックする。



ワンポイント

- ポップアップをタブで表示する設定にしている場合はInternet Explorer 7.0をご利用の場合、ポップアップを新しいタブで表示する設定に変更していると、操作しにくい場合があります。次のように操作して、設定を変更してください。
 - ①手順1～2の操作をする
 - ②「全般」タブの「タブ」にある「設定」をクリックする
 - ③「ポップアップの発生時」で「常に新しいウィンドウでポップアップを開く」を選択し、「OK」をクリックする
 - ④「インターネットオプション」画面の「OK」をクリックする
- 個別ガイダンスのアップロード（P103、104）を行う場合は手順4で次の設定も確認してください。
 - ・「その他」の項目で、「サーバにファイルをアップロードするときローカルディレクトリのパスを含める」の設定が「有効にする」になっていること

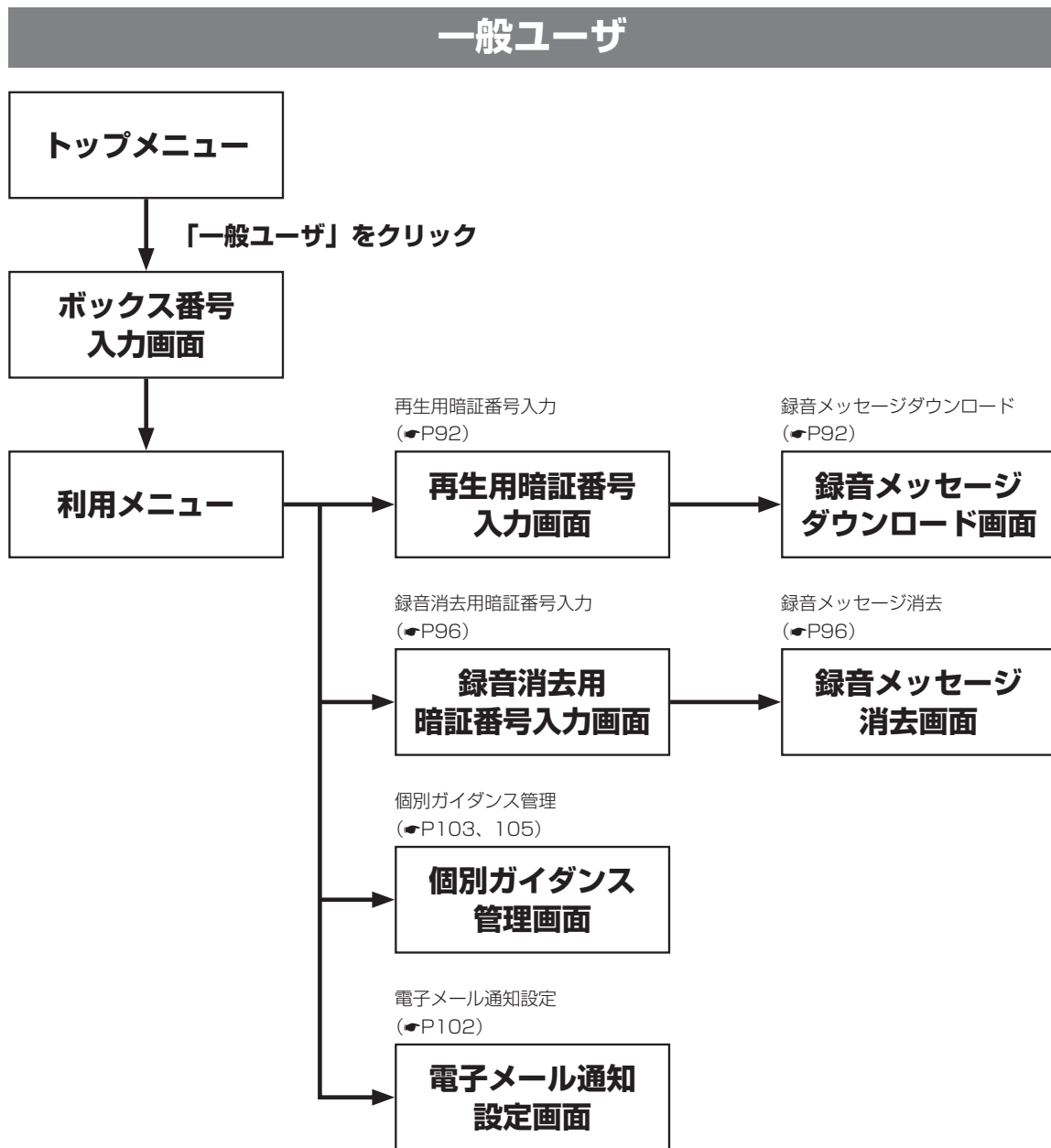


お知らせ

- アクティブスクリプトの設定が「有効にする」になっていないと、利用メニューから各機能をクリックしてもエラーメッセージが表示されて、ご利用になれません。
- 「サーバにファイルをアップロードするときローカルディレクトリのパスを含める」の設定が「無効にする」になっていると、ファイルをアップロードできません。
- PC接続機能をご利用になる場合、ブラウザ画面の大きさを変えないでください。設定した文字等が欠けて表示される場合があります。

画面の流れ

一般ユーザの基本的な画面の流れを説明します。

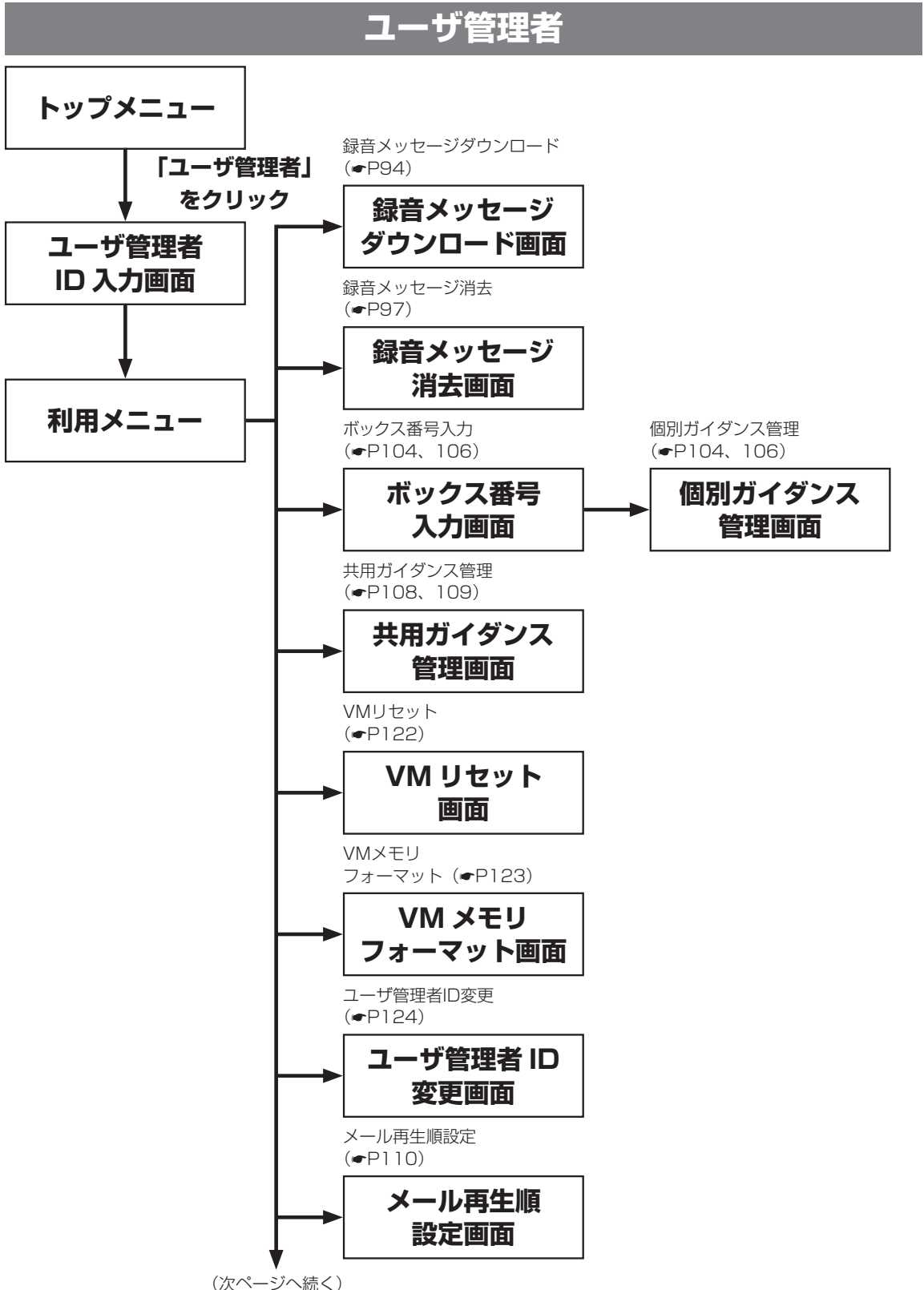


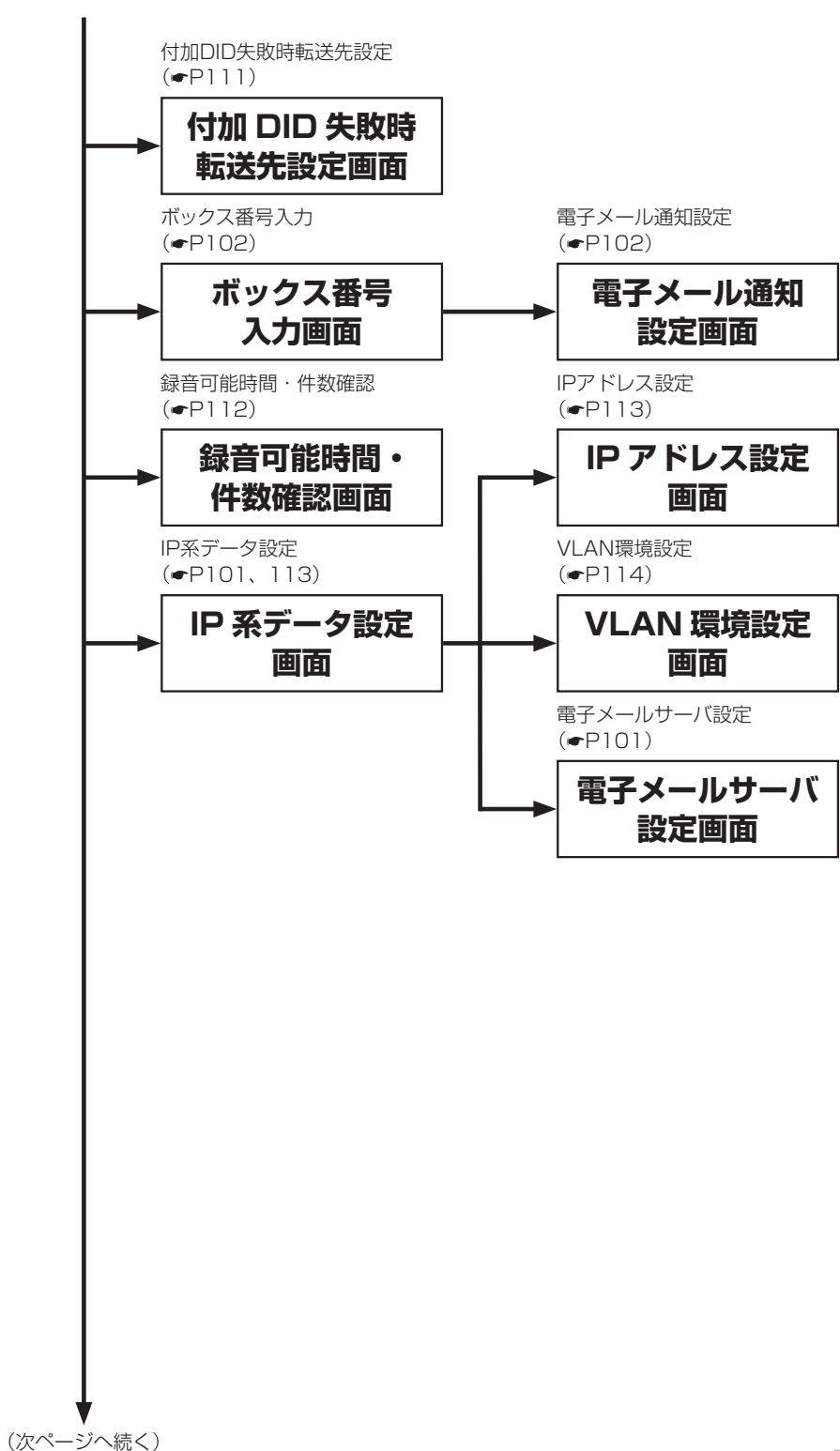
お知らせ

- 再生用暗証番号／録音消去用暗証番号が設定されていない場合には、再生用暗証番号入力画面／録音消去用暗証番号入力画面は、表示されません。
- ボックス番号入力後の利用メニューには、録音可能時間・件数確認画面が表示されます。(☛P112)

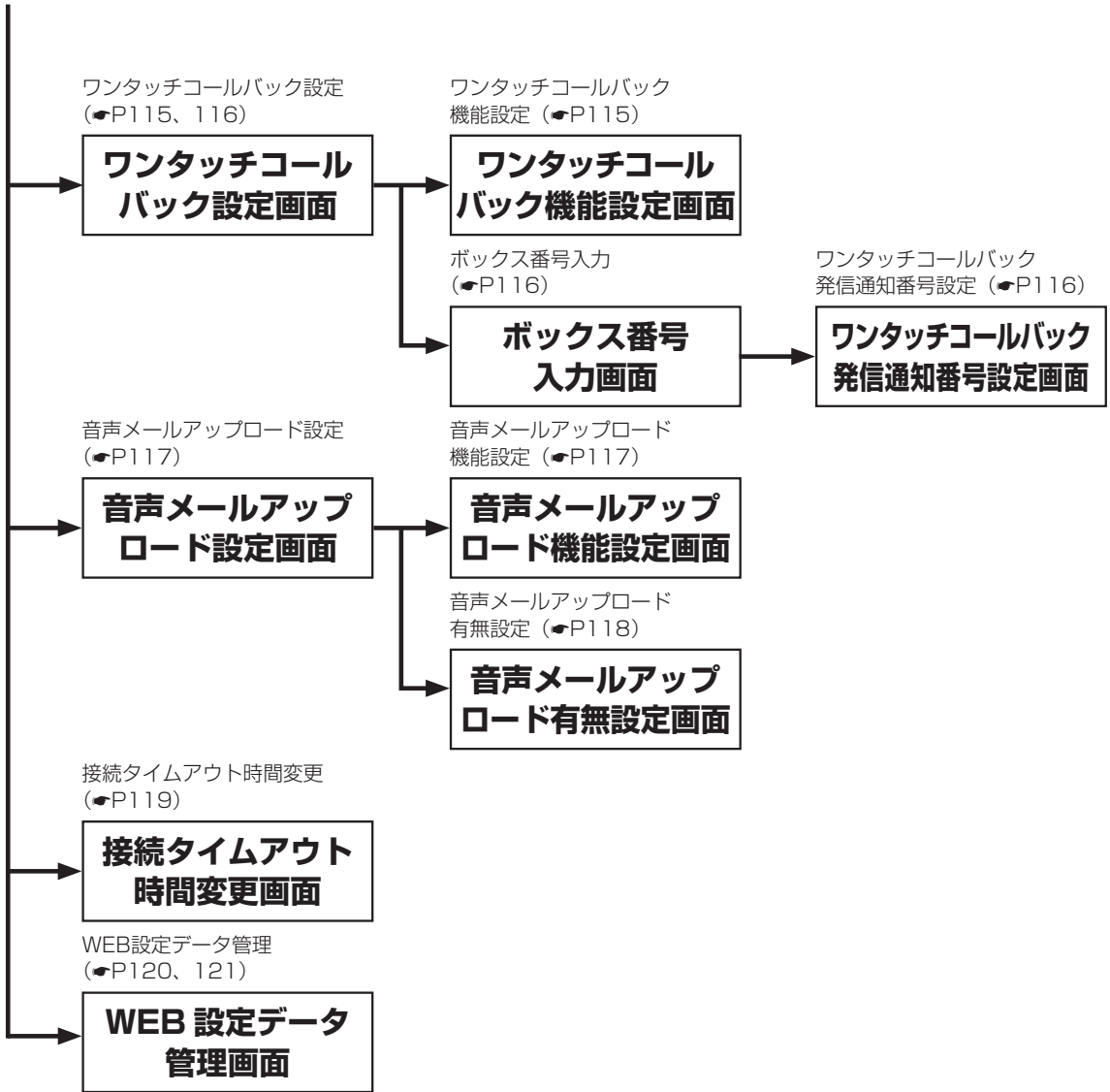
画面の流れ

ユーザ管理者の基本的な画面の流れを説明します。





画面の流れ



お知らせ

- ユーザ管理者で録音メッセージのダウンロードや録音メッセージの消去を行った場合、再生用暗証番号／録音消去用暗証番号が設定されていても、再生用暗証番号／録音消去用暗証番号の入力画面は表示されません。

パソコンでWebブラウザを起動し、ログインします。一般ユーザはメールボックスの番号、ユーザ管理者はユーザ管理者IDを入力してログインします。一般ユーザは、操作の一部が制限されています。

一般ユーザとしてログインする

一般ユーザとしてログインし、一般ユーザの利用メニューを表示します。

1 Webブラウザを起動し、音声メールユニットのIPアドレスを入力し、[Enter] キーを押す。

2 トップメニューで、「一般ユーザ」をクリックする。

Voice Mail Top Menu

1. 一般ユーザ
2. ユーザ管理者

3 メールボックスの番号を入力し、「実行」をクリックする。

一般ユーザ

メールボックスの番号を入力してください。

ボックス番号:

[トップメニューへ戻る](#)



一般ユーザの利用メニューが表示される。

一般ユーザ

ボックス番号: 10

録音可能時間: 100時間07分

現在のメール保有数: 0

1. 録音メッセージダウンロード
2. 録音メッセージ消去
3. 個別ログイン管理
4. 電子メール通知設定



ワンポイント

● ログアウトするには

PC操作を終了するときは、各画面の「ログアウト」をクリックします。「ログアウト」をクリックしないで止めた場合、一定時間音声メールユニットに接続できなくなります。その場合しばらく待ってから操作してください。



お知らせ

- 操作は、各画面に表示されているメニューやボタンでのみ行ってください。ブラウザの「戻る」「進む」ボタンを使用したり、ショートカットキー操作をするなど、画面以外の操作を行うと、正しく動作しなくなります。
- ボタンの操作は、ゆっくり確実に行ってください。繰り返しクリックすると正しく動作しなくなります。
- 手順3で「実行」をクリックしたときに他の人が使用していると「利用中のユーザがいるため、現在は利用できません。」や「ページを表示できません。」が表示されます。その場合は他の人がログアウトをして使用を止めてから操作してください。また、使用中に新たなWebブラウザを起動し操作した場合も同様な表示がされます。複数の画面を開いて操作しないでください。
- 手順3で「実行」をクリックして画面が切り替わったあと、一定時間操作しないと「タイムアウトになりました。再度ログインしてください。」が表示されます。再度、手順3の操作をしてください。
- 音声メールの電源を入れて使える状態になる前に、パソコンで音声メールにログインしないでください。先にログインしてしまった場合は、音声メールを使える状態にしてから、再度ログインしてください。

ユーザ管理者としてログインする

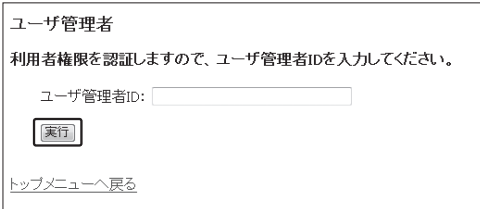
ユーザ管理者としてログインし、ユーザ管理者の利用メニューを表示します。

1 Webブラウザを起動し、音声メールユニットのIPアドレスを入力し、[Enter] キーを押す。

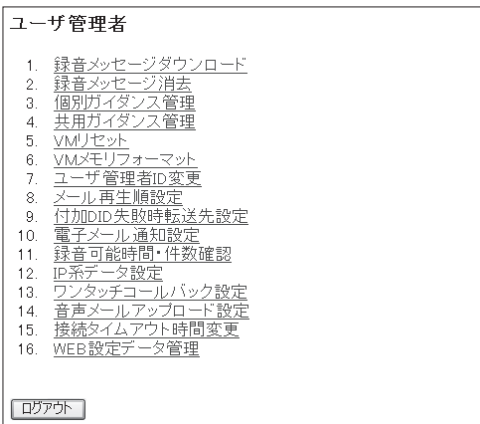
2 トップメニューで、「ユーザ管理者」をクリックする。



3 ユーザ管理者IDを入力し、「実行」をクリックする。



ユーザ管理者の利用メニューが表示される。



ワンポイント

● ログアウトするには

PC操作を終了するときは、各画面の「ログアウト」をクリックします。「ログアウト」をクリックしないで止めた場合、一定時間音声メールユニットに接続できなくなります。その場合しばらく待ってから操作してください。



お知らせ

● 操作は、各画面に表示されているメニューやボタンでのみ行ってください。ブラウザの「戻る」「進む」ボタンを使用したり、ショートカットキー操作をするなど、画面以外の操作を行うと、正しく動作しなくなります。

● ボタンの操作は、ゆっくり確実に行ってください。繰り返しクリックすると正しく動作しなくなります。

● 手順3で「実行」をクリックしたときに他の人が使用していると「利用中のユーザがいるため、現在は利用できません。」や「ページを表示できません。」が表示されます。その場合は他の人がログアウトをして使用を止めてから操作してください。

また、使用中に新たなWebブラウザを起動し操作した場合も同様な表示がされます。複数の画面を開いて操作しないでください。

● 手順3で「実行」をクリックして画面が切り替わったあと、一定時間操作しないと「タイムアウトになりました。再度ログインしてください。」が表示されます。再度、手順3の操作をしてください。

● ユーザ管理者IDを忘れた場合は、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にお問い合わせください。

設定画面の流れ

一般ユーザの設定画面の流れ

トップメニュー

Voice Mail Top Menu

1. 一般ユーザ
2. ユーザ管理者



「一般ユーザ」をクリック

ボックス番号入力画面

一般ユーザ

メールボックスの番号を入力してください。

ボックス番号:

[トップメニューへ戻る](#)



ボックス番号を入力

利用メニュー

一般ユーザ

ボックス番号: 10

録音可能時間: 100時間07分

現在のメール 保有数: 0

1. [録音メッセージダウンロード](#)
2. [録音メッセージ消去](#)
3. [個別ガイダンス管理](#)
4. [電子メール通知設定](#)

録音メッセージダウンロード (●P92)
録音メッセージ消去 (●P96)
個別ガイダンス管理 (●P103、105)
電子メール通知設定 (●P102)
録音可能時間・件数確認 (●P112)

ユーザ管理者の設定画面の流れ

トップメニュー

Voice Mail Top Menu

1. 一般ユーザ
2. ユーザ管理者



「ユーザ管理者」をクリック

ユーザ管理者 ID 入力画面

ユーザ管理者

利用者権限を認証しますので、ユーザ管理者IDを入力してください。

ユーザ管理者ID:

[トップメニューへ戻る](#)



ユーザ管理者 ID を入力

利用メニュー

ユーザ管理者

1. [録音メッセージダウンロード](#)
2. [録音メッセージ消去](#)
3. [個別ガイダンス管理](#)
4. [共用ガイダンス管理](#)
5. [VMリセット](#)
6. [VMメモリフォーマット](#)
7. [ユーザ管理者ID変更](#)
8. [メール再生順設定](#)
9. [付加DID失敗時転送先設定](#)
10. [電子メール通知設定](#)
11. [録音可能時間・件数確認](#)
12. [IP系データ設定](#)
13. [ワンタッチコールバック設定](#)
14. [音声メールアップロード設定](#)
15. [接続タイムアウト時間変更](#)
16. [WEB設定データ管理](#)

録音メッセージダウンロード (●P94)
録音メッセージ消去 (●P97)
個別ガイダンス管理 (●P104、106)
共用ガイダンス管理 (●P108、109)
VMリセット (●P122)
VMメモリフォーマット (●P123)
ユーザ管理者ID変更 (●P124)
メール再生順設定 (●P110)
付加DID失敗時転送先設定 (●P111)
電子メール通知設定 (●P102)
録音可能時間・件数確認 (●P112)
IP系データ設定 (●P101、113)
ワンタッチコールバック設定 (●P115、116)
音声メールアップロード設定 (●P117、118)
接続タイムアウト時間変更 (●P119)
WEB設定データ管理 (●P120、121)

録音メッセージを管理するには

録音メッセージをパソコンに保存したり、音声メールに保存されている録音メッセージを消去することができます。

この操作は、一般ユーザの利用者メニュー、ユーザ管理者の利用者メニューのどちらから行うこともできます。

録音メッセージをパソコンに保存する（一般ユーザ）

メールボックスに保存されている録音メッセージをパソコンにダウンロードしてwaveファイル形式で保存します。コメントがある場合は、コメントも一緒にダウンロードします。

1 利用メニューで「録音メッセージダウンロード」をクリックする。

2 再生用暗証番号を入力し、「実行」をクリックする。

3 録音メッセージを検索する。

録音日、録音時間、発番号（最大20桁）、ネーム（最大半角12文字）を指定して検索することができます。「検索」をクリックすると、該当する録音メッセージの一覧が表示されます。

| No. | 録音日時 | 既/未再 | 発番号 | ネーム | コメント |
|-----|---------------------|------|-----|-----|------|
| 01 | 2008/06/27 11:45:12 | 未 | 202 | 山田 | |
| 02 | 2008/06/27 11:24:16 | 未 | 202 | 山田 | |
| 03 | 2008/06/27 10:33:17 | 未 | 110 | 佐藤 | |
| 04 | 2008/06/27 09:21:41 | 既 | 202 | 山田 | ○ |

4 ダウンロードする録音メッセージをチェックをして、「ダウンロード」をクリックする。

コメントのない録音メッセージを1件ダウンロードする場合は、手順6に進みます。

すべてダウンロードする場合は、「全て選択」をクリックします。

選択をすべて解除する場合は、「全ての選択を解除」をクリックします。

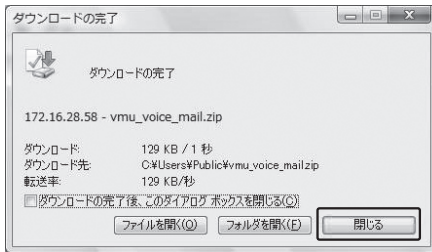
5 「こちらをクリックしてください。」をクリックする。

6 「保存」をクリックする。

7 ファイル名を確認し、「保存」をクリックする。

ファイル名を変更する場合は、新しいファイル名を入力し直します。

8 ダウンロードの完了を確認し、「閉じる」をクリックする。



ワンポイント

- **もう一度すべてのメッセージを表示するには**
手順3で「検索」をクリックしたあとに、再びすべてのメッセージを表示するには「利用メニューへ戻る」をクリックして、手順1から行ってください。
- **コメントのない録音メッセージを1件ダウンロードした場合のファイル名**
初期設定では下記のようなファイル名で保存されます。
YYMMDDhhmmssは年、月、日、時、分、秒を表します。
ボックス番号_YYMMDDhhmmss_n_zzzzzz.wav
- **複数の録音メッセージやコメント付きの録音メッセージをダウンロードした場合のファイル名**
複数の録音メッセージやコメント付きのメッセージはzipファイルで1つにまとめられて保存されます。
初期設定では下記のようなファイル名で保存されます。
vmu_voice_mail.zip
ダウンロードされたファイル「vmu_voice_mail.zip」をパソコンで解凍することにより、各録音メッセージごとのファイルが作成されます。
解凍されたファイルは下記のようなファイル名となります。
YYMMDDhhmmssは年、月、日、時、分、秒を表します。
ボックス番号_YYMMDDhhmmss_n_zzzzzz.wav
ボックス番号_YYMMDDhhmmss_n_zzzzzz_comment.wav
- **録音メッセージをダウンロードした場合のファイルサイズ**
録音メッセージをダウンロードした場合、2分の録音で約1Mbyteサイズのファイルとなります。お使いのパソコンのハードディスクなどの空き容量にご注意してお使いください。
- **ダウンロードしたwaveファイルのファイル形式について**
ダウンロードしたwaveファイルはRIFF形式、waveフォーマット、μ-Lawで保存されます。Windows Media Playerなどで再生することができます。
- **複数の録音メッセージをダウンロードする場合には**
複数の録音メッセージをダウンロードする場合、約200Mbyte以上のzipファイルをダウンロードすることはできません。その場合、200Mbyte以下に減らすか、メッセージを1件ずつダウンロードしてください。
- **コメント付きの録音メッセージをダウンロードする場合には**
コメント付きの録音メッセージが約200Mbyteを超えていた場合、ダウンロードしてもメッセージのコメント部分はダウンロードできません。
- **検索条件の指定について**
録音メッセージを検索するときには、録音日時や発番番号など複数の条件を指定することができます。複数の条件を指定すると、そのすべてを満たす録音メッセージが表示されます。



お知らせ

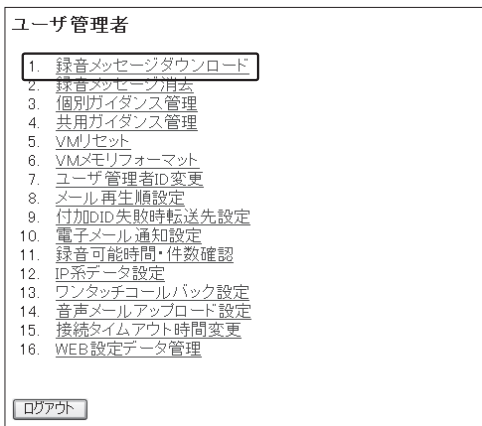
- コメントをダウンロードする／しないを選択することはできません。
- 複数の録音メッセージやコメント付きの録音メッセージをダウンロードした場合、zipファイルで保存されますが、圧縮はされません。
- zipファイルで保存するかwaveファイルで保存するかを、選択することはできません。
- 録音メッセージのダウンロード中にLANケーブルが抜け、一定時間経過すると、「ページを表示できません」または「サーバとの接続がリセットされました」と表示されます。その後、LANケーブルを接続し、再度録音メッセージのダウンロードを行うと、約2分間「ページを表示できません」や、「ZIPファイルの作成に失敗しました」などと表示される場合があります。ダウンロード中にLANケーブルが抜けた場合は、約2分たってから操作を行ってください。
- ネームを指定して検索するときは、S-JIS以外の文字は入力しないでください。環境依存文字や、アンパサンド(&)などを使用すると、正常に検索できません。
- 録音メッセージのダウンロードで大きなファイルをダウンロードした場合、接続タイムアウトとなり自動的にログアウトとなることがあります。

録音メッセージを管理するには

録音メッセージをパソコンに保存する（ユーザ管理者）

メールボックスに保存されている録音メッセージをパソコンにダウンロードしてwaveファイル形式で保存します。コメントがある場合は、コメントも一緒にダウンロードします。

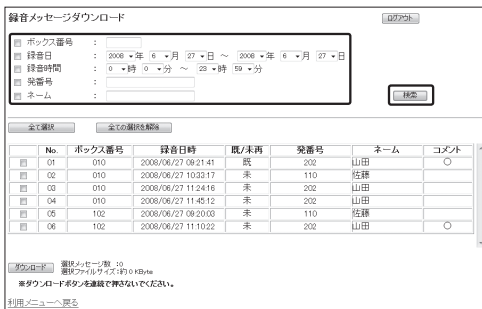
1 利用メニューで「録音メッセージダウンロード」をクリックする。



2 録音メッセージを検索する。

ボックス番号、録音日、録音時間、発番号（最大20桁）、ネーム（最大半角12文字）を指定して検索することができます。

「検索」をクリックすると、該当する録音メッセージの一覧が表示されます。

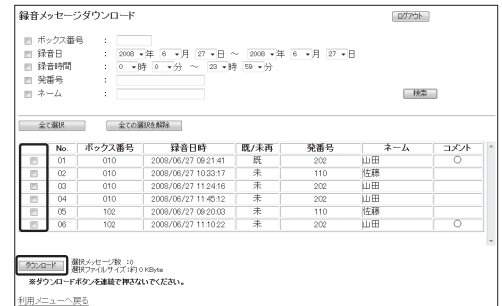


3 ダウンロードする録音メッセージをチェックをして、「ダウンロード」をクリックする。

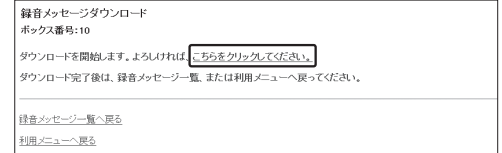
コメントのない録音メッセージを1件ダウンロードする場合は、手順5に進みます。

すべてダウンロードする場合は、「全て選択」をクリックします。

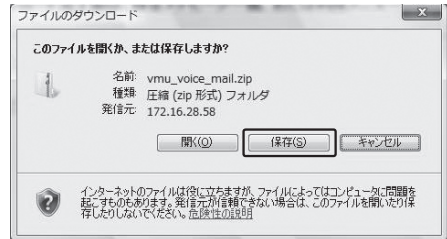
選択をすべて解除する場合は、「全ての選択を解除」をクリックします。



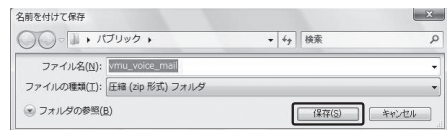
4 「こちらをクリックしてください。」をクリックする。



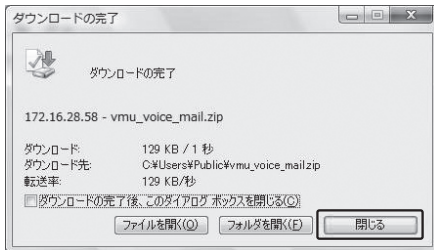
5 「保存」をクリックする。



6 ファイル名を確認し、「保存」をクリックする。
ファイル名を変更する場合は、新しいファイル名を入力し直します。



7 ダウンロードの完了を確認し、「閉じる」をクリックする。



ワンポイント



お知らせ

- コメントをダウンロードする／しないを選択することはできません。
- 複数の録音メッセージやコメント付きの録音メッセージをダウンロードした場合、zipファイルで保存されますが、圧縮はされません。
- zipファイルで保存するかwaveファイルで保存するかを、選択することはできません。
- 録音メッセージのダウンロード中にLANケーブルが抜け、一定時間経過すると、「ページを表示できません」または「サーバとの接続がリセットされました」と表示されます。その後、LANケーブルを接続し、再度録音メッセージのダウンロードを行うと、約2分間「ページを表示できません」や、「ZIPファイルの作成に失敗しました」などと表示される場合があります。ダウンロード中にLANケーブルが抜けた場合は、約2分たってから操作を行ってください。
- ネームを指定して検索するときは、S-JIS以外の文字は入力しないでください。環境依存文字や、アンパサンド(&)などを使用すると、正常に検索できません。
- 録音メッセージのダウンロードで大きなファイルをダウンロードした場合、接続タイムアウトとなり自動的にログアウトとなることがあります。

- もう一度すべてのメッセージを表示するには
手順2で「検索」をクリックしたあとに、再びすべてのメッセージを表示するには「利用メニューへ戻る」をクリックして、手順1から行ってください。
- コメントのない録音メッセージを1件ダウンロードした場合のファイル名
初期設定では下記のようなファイル名で保存されます。
YYMMDDhhmmssは年、月、日、時、分、秒を表します。
ボックス番号_Y YMMDDhhmmss_n_zzzzzz.wav
- 複数の録音メッセージやコメント付きの録音メッセージをダウンロードした場合のファイル名
複数の録音メッセージやコメント付きのメッセージはzipファイルで1つにまとめられて保存されます。
初期設定では下記のようなファイル名で保存されます。
vmu_voice_mail.zip
ダウンロードされたファイル「vmu_voice_mail.zip」をパソコンで解凍することにより、各録音メッセージごとのファイルが作成されます。
解凍されたファイルは下記のようなファイル名となります。
YYMMDDhhmmssは年、月、日、時、分、秒を表します。
ボックス番号_Y YMMDDhhmmss_n_zzzzzz.wav
ボックス番号_Y YMMDDhhmmss_n_zzzzzz_comment.wav
- 録音メッセージをダウンロードした場合のファイルサイズ
録音メッセージをダウンロードした場合、2分の録音で約1Mbyteサイズのファイルとなります。お使いのパソコンのハードディスクなどの空き容量にご注意してお使いください。
- ダウンロードしたwaveファイルのファイル形式について
ダウンロードしたwaveファイルはRIFF形式、waveフォーマット、μ-Lawで保存されます。Windows Media Playerなどで再生することができます。
- 複数の録音メッセージをダウンロードする場合には
複数の録音メッセージをダウンロードする場合、約200Mbyte以上のzipファイルをダウンロードすることはできません。その場合、200Mbyte以下に減らすか、メッセージを1件ずつダウンロードしてください。
- コメント付きの録音メッセージをダウンロードする場合には
コメント付きの録音メッセージが約200Mbyteを超えていた場合、ダウンロードしてもメッセージのコメント部分はダウンロードできません。
- 検索条件の指定について
録音メッセージを検索するときには、録音日時や発番番号など複数の条件を指定することができます。複数の条件を指定すると、そのすべてを満たす録音メッセージが表示されます。

録音メッセージを管理するには

録音メッセージを消去する
(一般ユーザ)

音声メールに保存されている録音メッセージを消去します。

1 利用メニューで「録音メッセージ消去」をクリックする。

一般ユーザ

ボックス番号: 10

録音可能時間: 100時間07分

現在のメール保有数: 0

- 録音メッセージダウンロード
- 録音メッセージ消去
- 個別アドレス管理
- 電子メール通知設定

ログアウト

2 録音消去用暗証番号を入力し、「実行」をクリックする。

録音メッセージ消去

ボックス番号: 10

録音消去用暗証番号を入力してください。

録音消去用暗証番号:

実行

利用メニューへ戻る

3 録音メッセージを検索する。

録音日、録音時間、発番号(最大20件)、ネーム(最大半角12文字)を指定して検索することができます。「検索」をクリックすると、該当する録音メッセージの一覧が表示されます。

4 消去する録音メッセージをチェックして、「消去」をクリックする。

すべて消去する場合は、「全て選択」をクリックします。選択をすべて解除する場合は、「全ての選択を解除」をクリックします。

録音メッセージ消去

ボックス番号:

録音日: 2008年9月12日 ~ 2008年9月12日

録音時間: 0時0分 ~ 23時59分

発番号:

ネーム:

検索

全て選択 全ての選択を解除

| No. | ボックス番号 | 録音日時 | 既/未再 | 発番号 | ネーム | コメント |
|--------------------------|--------|-------------------------|------|-----|-----|------|
| <input type="checkbox"/> | 01 | 010 2008/08/12 15:15:40 | 未 | 208 | 佐藤 | |
| <input type="checkbox"/> | 02 | 010 2008/08/12 15:15:58 | 未 | 211 | 山田 | |
| <input type="checkbox"/> | 03 | 010 2008/08/12 15:17:08 | 未 | 211 | 山田 | |
| <input type="checkbox"/> | 04 | 010 2008/08/12 15:17:35 | 未 | 208 | 佐藤 | |
| <input type="checkbox"/> | 05 | 010 2008/08/12 15:18:07 | 未 | 208 | 佐藤 | |
| <input type="checkbox"/> | 06 | 010 2008/08/12 15:18:28 | 未 | 211 | 山田 | |
| <input type="checkbox"/> | 07 | 052 2008/08/30 09:02:20 | 既 | | | |

消去

利用メニューへ戻る

録音メッセージの消去が終了すると、「録音メッセージを消去しました。」と表示されます。



ワンポイント

- もう一度すべてのメッセージを表示するには
手順3で「検索」をクリックしたあとに、再びすべてのメッセージを表示するには「利用メニューへ戻る」をクリックして、手順1から行ってください。
- Webブラウザのポップアップブロックの設定について
Webブラウザのポップアップブロックの設定が有効の場合は、録音メッセージの消去を実行中のウィンドウが表示されません。あらかじめWebブラウザのポップアップブロックの設定で、「10.0.0.6(初期値)」のサイトのポップアップを許可しておいてください。



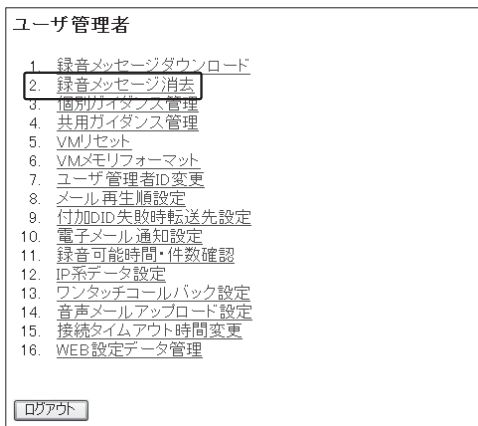
お知らせ

- 再生中のメッセージは消去できません。再生中のメッセージを消去しようとすると、「一部の録音メッセージ消去ができませんでした。」が表示されます。再生が終わってから消去してください。
- バックアップしたメッセージも、バックアップしていないメッセージと同様に消去されます。
- ネームを指定して検索するときは、S-JIS以外の文字は入力しないでください。環境依存文字や、アンパサンド(&)などを使用すると、正常に検索できません。

録音メッセージを消去する (ユーザ管理者)

音声メールに保存されている録音メッセージを消去します。

1 利用メニューで「録音メッセージ消去」をクリックする。



2 録音メッセージを検索する。

ボックス番号、録音日、録音時間、発番号（最大20桁）、ネーム（最大半角12文字）を指定して検索することができます。

「検索」をクリックすると、該当する録音メッセージの一覧が表示されます。

3 消去する録音メッセージをチェックして、「消去」をクリックする。

すべて消去する場合は、「全て選択」をクリックします。選択をすべて解除する場合は、「全ての選択を解除」をクリックします。



録音メッセージの消去が終了すると、「録音メッセージを消去しました。」と表示されます。



ワンポイント

●もう一度すべてのメッセージを表示するには

手順2で「検索」をクリックしたあとに、再びすべてのメッセージを表示するには「利用メニューへ戻る」をクリックして、手順1から行ってください。

●Webブラウザのポップアップブロックの設定について

Webブラウザのポップアップブロックの設定が有効の場合は、録音メッセージの消去を実行中のウィンドウが表示されません。あらかじめWebブラウザのポップアップブロックの設定で、「10.0.0.6 (初期値)」のサイトのポップアップを許可しておいてください。



お知らせ

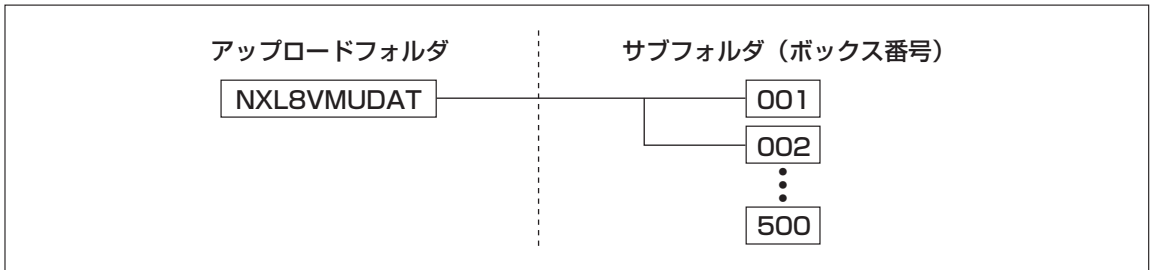
●再生中のメッセージは消去できません。再生中のメッセージを消去しようとする、「一部の録音メッセージ消去ができませんでした。」が表示されます。再生が終わってから消去してください。

●バックアップしたメッセージも、バックアップしていないメッセージと同様に消去されます。

●ネームを指定して検索するときは、S-JIS以外の文字は入力しないでください。環境依存文字や、アンパサンド(&)などを使用すると、正常に検索できません。

録音内容を一括管理するには (音声メールアップロード)

録音内容を音声ファイル (wav) としてLAN上またはクラウド上のFTPサーバに定期的にアップロードしたり、アップロードした音声ファイルを削除することができます。音声メールアップロードを利用するには、音声メールアップロードの設定 (☛P117) が必要です。音声ファイルのアップロードは、FTPサーバに下記のようなアップロードフォルダとサブフォルダを自動的に作成して保存されます。



ワンポイント

○アップロードファイルのデータフォーマット

- wavファイル形式 (μ-law)
- 録音ファイル名 :
BBB_YYMMDDhhmmss_n_zzzzzzzzzz.wav
 - BBB : ボックス番号 [001 ~ 500]
 - YYMMDDhhmmss : 録音年 (西暦下2桁) 月日時分秒
 - n : 管理番号 [0 ~ 9]
 ※ 同一日時、同一BOXメッセージが複数存在した場合は、管理番号で区別する。
 - zzzzzzzzzz : 発番号
 - wav : 拡張子 (固定)

●音声メールユニットの暗号化通信 (FTPS) 仕様

- 暗号化通信方式 : SSL3.0 / TLS1.0
- 暗号化アルゴリズム : DES、3DES、AES、ARC4(=RC4互換)
- 暗号化通信モード : Explicitモード (固定)

●音声メールのアップロードや音声メールの削除に失敗したときは

電子メール通知設定 (☛P102) で設定した通知先メールアドレスに電子メールで通知します。



お知らせ

- 応答ガイダンス、共用ガイダンス、個別ガイダンスは、アップロードの対象外です。
- 録音メッセージにコメントがある場合、コメント部分はアップロードの対象外です。
- 音声メールアップロードのプロトコルは、FTP接続とFTPS接続 (暗号化通信) から選ぶことができます。(☛P117)
ただし、サーバの種類、サーバの設定によってはご使用にできない場合もあります。
- 音声メールアップロードのデータ転送モードは、アクティブモードとパッシブモードから選ぶことができます。(☛P117)
- クラウド上のサーバをご使用の場合は、パッシブモードに設定してください。
 - アクティブモード
データ転送のための接続をサーバ側から行う方式です。
 - パッシブモード
データ転送のための接続を音声メールユニット (クライアント) 側から行う方式です。
- 音声メールのアップロードには数分から数時間かかる場合があります。
- クラウド上のサーバをご使用の場合は、通信回線の状況やアップロードするファイルサイズなどによっては、数時間以上かかることがあります。また、そのような場合、音声メールのアップロードに失敗することがあります。詳しくは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にご相談ください。

録音メッセージの管理に電子メールを利用するには

録音メッセージについての情報を、音声メールから自動送信される電子メールによって得ることができます。次の3種類の電子メールを利用できます。

■メールの到達を通知する電子メール

ボックスに登録されているEメールアドレス宛てに、次の内容を電子メールで送信します。電子メールの送信は、録音されることなく、設定されている周期に従ってまとめて行われます。

- 通知タイトル：「ボックスxxxに録音されました。」
- 全メッセージ数、再生済メッセージ数、未再生メッセージ数
- 録音メッセージ1件ずつの録音日時、ネーム、発信URL、再生URL、相手番号
- WEBアドレス帳サーバアドレス
- メール再生中の発信特番の説明文

この機能を利用するには、ユーザ管理者による電子メールサーバ設定（●P101）と、各ユーザによるアドレスなどの設定（●P102）が必要です。

通知先のEメールアドレスは、各ボックスに1件ずつ登録できます。

■録音可能時間が少なくなったことを通知する電子メール

音声メール全体の録音可能時間が残りわずかになったときに、ユーザ管理者宛に次の内容の電子メールを自動送信します。

- 通知タイトル：「録音可能時間通知」
- 本文：「xx月xx日xx時xx分の録音可能時間を通知します。」
- 全録音時間、録音可能時間、登録メッセージ数

この機能を利用するには、ユーザ管理者による電子メールサーバ設定（●P101）が必要です。

通知先のEメールアドレスは、1件のみ登録できます。

■FTPサーバへの音声メールアップロード機能で正常に動作しなかったことを通知する電子メール

FTPサーバへのログイン失敗や、音声メールのアップロード失敗、音声メールサーバの削除失敗になったときに、ユーザ管理者宛に次の内容の電子メールを自動送信します。

- 通知タイトル：「音声メールサーバへのログイン失敗通知」
「音声メールアップロード失敗通知」
「音声メール削除失敗通知」
- 本文：「XX月XX日XX時XX分 サーバへのログインが失敗しました。」
「XX月XX日XX時XX分 サーバへの音声メールアップロードが失敗しました。」
「XX月XX日XX時XX分 サーバからの音声メール削除が失敗しました。」

この機能を利用するには、ユーザ管理者による電子メールサーバ設定（●P101）が必要です。

通知先のEメールアドレスは、1件のみ登録できます。



お知らせ

- 電子メールは1ボックス1メールで送信されます。一度に多くのボックスに録音されると、多くのメッセージが送信され、プロバイダや電子メールサーバによってはSPAMメールと判断され、送信に失敗する場合があります。電子メールによる通知をご利用になる場合はご注意ください。
- 録音メッセージ1件ずつの発信URL、再生URLとWEBアドレス帳サーバURL、メール再生中の発信特番説明文については、録音されたメッセージやワンタッチコールバック機能設定の設定内容によって表示されない場合があります。表示されない場合、その機能はご利用になりません。
- 音声メールアップロードのプロトコルは、FTP接続とFTPS接続（暗号化通信）から選ぶことができます。（●P117）

（次ページに続く）



ワンポイント

- **メール到達を通知する電子メールの送信が失敗した場合は**
電子メールサーバ設定で設定されたリトライ回数に従って再送されます。リトライが成功する前に新しい録音の到達が発生したときは、送信がリセットされ、最新の情報に更新された電子メールが送信されます。
- **録音可能時間の通知の実施基準は**
通知メールの送信は、残り時間が「システム設定」により設定されている時間を下回ったときに実施されます。
- **録音可能時間を通知する電子メールの送信が失敗した場合は**
電子メールサーバ設定で設定されたリトライ回数に従って再送されます。リトライが成功する前に新しい録音や録音メッセージの消去などが発生した場合でも、通知内容の更新は行われません。
- **ワンタッチコールバックで発信するには**
電子メールで通知された発信URLに携帯電話やスマートフォンのブラウザでアクセスすることにより、ワンタッチコールバック発信を利用し、メッセージを録音した方に電話をかけることができます。(P75)
- **ワンタッチコールバックでメッセージを再生するには**
電子メールで通知された再生URLに携帯電話やスマートフォンのブラウザでアクセスすることにより、携帯電話やスマートフォンにシステムから着信がかかり応答するとそのメッセージを聞くことができます。
- **ワンタッチコールバックでWEBアドレス帳を利用するには**
WEBアドレス帳サーバURLにアクセスすることにより、WEBアドレス帳にアクセスし、WEBアドレス帳の機能を利用することができます。
詳しくはWEBアドレス帳取扱説明書を参照してください。
- **ワンタッチコールバックでメールの相手に発信するには**
メール到達通知、ワンタッチコールバック再生でメールを再生中に、メール再生中の発信特番の説明文に書かれている番号をダイヤルすることにより、録音した方へ発信することができます。
- **ワンタッチコールバックを利用するには**
ワンタッチコールバック発信、ワンタッチコールバック再生、WEBアドレス帳、メール再生中に発信特番の機能をご利用になるには、システム設定が必要になります。

電子メールサーバの利用を設定する

電子メールの利用に関するデータを設定します。電子メールサーバへ接続するためのデータや、通知周期、送信失敗時のリトライ回数などが設定できます。また、録音可能時間がなくなったりFTPサーバへの音声メールアップロード機能が正常に動作しなかったときに通知メールを自動送信する機能を利用したいときは、管理者用メールアドレスを登録します。この操作は、ユーザ管理者のみ行うことができます。

1 利用メニューで「IP系データ設定」をクリックする。

ユーザ管理者

- 録音メッセージダウンロード
- 録音メッセージ消去
- 個別ガイダンス管理
- 共用ガイダンス管理
- VMリセット
- VMメモリフォーマット
- ユーザ管理者ID変更
- メール再生順設定
- 付加DID失敗時転送先設定
- 電子メール通知設定
- 録音可能時間・件数確認
- IP系データ設定**
- ワンタッチコールバック設定
- 音声メールアップロード設定
- 接続タイムアウト時間変更
- WEB設定データ管理

ログアウト

2 「電子メールサーバ設定」をクリックする。

ユーザ管理者

IP系データ設定

- IPアドレス設定
- VMリセット
- 電子メールサーバ設定**

利用メニューへ戻る

3 各項目を設定する。

電子メール通知周期(分) : 10

電子メール通知リトライ回数 : 5

管理者用メールアドレス(録音可能時間・件数の通知先) :

ユーザID(VMメールアドレス) :

SMTPサーバ名 :

SMTPポート番号 : 25

POP3サーバ名 :

POP3ポート番号 : 110

サーバ認証方式 : SMTP認証を使用する。
 POP before SMTPを使用する。

サーバ認証用データ設定

ユーザID :

パスワード :

POP認証待ち時間(msec) : 300

4 「書込」をクリックする。

電子メールサーバ設定

電子メールサーバに関する情報を設定してください。

電子メール通知周期(分) : 10

電子メール通知リトライ回数 : 5

管理者用メールアドレス(録音可能時間・件数の通知先) :

ユーザID(VMメールアドレス) :

SMTPサーバ名 :

SMTPポート番号 : 25

POP3サーバ名 :

POP3ポート番号 : 110

サーバ認証方式 : SMTP認証を使用する。
 POP before SMTPを使用する。

サーバ認証用データ設定

ユーザID :

パスワード :

POP認証待ち時間(msec) : 300

書込 ※再起動時に設定が反映されます。

[IP系データ設定へ戻る](#)

[利用メニューへ戻る](#)



ワンポイント

- 電子メールサーバ設定を行った場合には必ずVMリセット (P122) を行ってください。設定の変更は、リセット後に有効となります。
- 1つ前の画面に戻るには「IP系データ設定へ戻る」をクリックします。



お知らせ

- サーバ認証用データ設定のユーザIDやパスワードは、お使いのプロバイダや電子メールサーバの環境設定にあわせて登録してください。
- お使いのプロバイダや電子メールサーバによっては、電子メールの認証機能等のために、電子メールによる通知機能をご利用になれない場合があります。詳しくは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にご相談ください。

メール到達通知を設定する

メールの到達を通知する電子メールの利用を設定します。通知を利用する場合は、通知先のメールアドレスを登録します。この設定は、一般ユーザとユーザ管理者で操作手順が異なります。

1 利用メニューで「電子メール通知設定」をクリックする。

一般ユーザは、手順4に進みます。

〈一般ユーザ〉

一般ユーザ

ボックス番号: 10

録音可能時間: 100時間07分

現在のメール保有数: 0

- 録音メッセージダウンロード
- 録音メッセージ消去
- 個別ガイドランス管理
- 電子メール通知設定

ログアウト

〈ユーザ管理者〉

ユーザ管理者

- 録音メッセージダウンロード
- 録音メッセージ消去
- 個別ガイドランス管理
- 共用ガイドランス管理
- VMリセット
- VMメモリフォーマット
- ユーザ管理者ID変更
- メール再生順設定
- 付加ID失敗時転送先設定
- 電子メール通知設定
- 録音可能時間・件数確認
- IP系データ設定
- ワンタッチコールバック設定
- 音声メールアップロード設定
- 接続タイムアウト時間変更
- WEB設定データ管理

ログアウト

2 ボックス番号を入力する。

3 「実行」をクリックする。

電子メール通知設定 ログアウト

メールボックスの番号を入力してください。

ボックス番号:

利用メニューへ戻る

4 電子メール通知の有無を設定する。

5 通知先メールアドレスを入力する。

6 「書込」をクリックする。

電子メール通知設定 ログアウト

ボックス番号: 10

電子メール通知有無 : 通知しない

通知先メールアドレス :

利用メニューへ戻る



ワンポイント

- 電子メール通知有無を「通知しない」に設定すると通知先メールアドレスを登録できません。通知先メールアドレスを設定する場合は、「通知する」に設定してから登録してください。



お知らせ

- 電子メール通知の有無を「通知する」→「通知しない」→「通知する」にすばやく変更した場合、操作のタイミングによっては、最初の「通知する」のときに録音されていたメールが電子メールで通知されることがあります。

個別ガイダンスを管理するには

パソコンから個別ガイダンスをメールボックスにアップロードしたり、メールボックスに保存されている個別ガイダンスをパソコンへダウンロードすることができます。

この操作は、一般ユーザの利用者メニュー、ユーザ管理者の利用者メニューのどちらから行うこともできます。

個別ガイダンスをアップロードする（一般ユーザ）

パソコンで作成した個別ガイダンスのwaveファイルを、メールボックスへアップロードします。

1 利用メニューで「個別ガイダンス管理」をクリックする。

2 「参照」をクリックし、アップロードするファイルを指定する。

3 「アップロード」の「実行」をクリックする。

アップロードが完了すると、「該当ガイダンスを登録しました。」と表示されます。



ワンポイント

● Webブラウザのポップアップブロックの設定について

Webブラウザのポップアップブロックの設定が有効の場合は、アップロードを実行中のウィンドウが表示されません。あらかじめWebブラウザのポップアップブロックの設定で、「10.0.0.6（初期値）」のサイトのポップアップを許可しておいてください。



お知らせ

- アップロード可能なファイル形式はRIFF形式のファイルで8kHz / 8bit / モノラル、waveフォーマット、μ-Lawのみとなります。違う形式のファイルをアップロードすると「アップロードしたファイルはVMで使用できない形式です。」が表示され、アップロードできません。
- ファイルサイズが2048Kbyteを超えるファイルをアップロードしようとすると、「アップロードしたファイルが大きすぎます。」と表示され、アップロードできません。
- 個別ガイダンス管理画面でのダウンロードの表示は、ボックスに個別ガイダンスが登録されている場合にのみ表示されます。個別ガイダンスが登録されていない場合は表示されません。
- アップロードした場合にVMメモリに空きがなくなると、「一時保存ファイルの書き込みに失敗しました。」または「空きメモリ容量が不足しているため、本サービスは利用できません。」と表示されます。不要な録音メッセージを消去してから行ってください。
- ガイダンスアップロード中にLANケーブルが抜け、一定時間経過すると、「ページを表示できません」と表示されます。その後、LANケーブルを接続し、再度ガイダンスのアップロードを行うと、約2分間「ページを表示できません」または「一時保存ファイルの作成に失敗しました」などと表示されアップロードできない場合があります。アップロード中にLANケーブルが抜けた場合は、約2分たってから操作を行ってください。
- アップロードするガイダンスのファイル名には「:」「&」「(空白)」「..(連続する2つ以上のピリオド)」を使用しないでください。ダウンロード時にファイル名が正常に表示できなくなります。

個別ガイダンスをアップロードする（ユーザ管理者）

パソコンで作成した個別ガイダンスのwaveファイルを、メールボックスへアップロードします。

1 利用メニューで「個別ガイダンス管理」をクリックする。

ユーザ管理者

- 録音メッセージダウンロード
- 録音メッセージ消去
- 個別ガイダンス管理**
- 共用ガイダンス管理
- VMリセット
- VMメモリフォーマット
- ユーザ管理者ID変更
- メール再生順設定
- 付加DID失敗時転送先設定
- 電子メール通知設定
- 録音可能時間・件数確認
- IP系データ設定
- ワンタッチコールバック設定
- 音声メールアップロード設定
- 接続タイムアウト時間変更
- WEB設定データ管理

ログアウト

2 メールボックスの番号を入力し、「実行」をクリックする。

個別ガイダンス管理 ログアウト

メールボックスの番号を入力してください。

ボックス番号:

利用メニューへ戻る

3 「参照」をクリックし、アップロードするファイルを指定する。

4 「アップロード」の「実行」をクリックする。

個別ガイダンス管理

ボックス番号:10 ログアウト

アップロード

ファイル指定: 参照

ダウンロード

| | 名称 |
|----------------------------------|---------|
| <input checked="" type="radio"/> | 個別ガイダンス |

利用メニューへ戻る

アップロードが完了すると、「該当ガイダンスを登録しました。」と表示されます。



お知らせ

- アップロードした場合にVMメモリに空きがなくなると、「一時保存ファイルの書き込みに失敗しました。」または「空きメモリ容量が不足しているため、本サービスは利用できません。」と表示されます。不要な録音メッセージを消去してから行ってください。
- ファイルサイズが2048Kbyteを超えるファイルをアップロードしようとすると、「アップロードしたファイルが大きすぎます。」と表示され、アップロードできません。
- 個別ガイダンス管理画面でのダウンロードの表示は、ボックスに個別ガイダンスが登録されている場合にのみ表示されます。個別ガイダンスが登録されていない場合は表示されません。
- アップロード可能なファイル形式はRIFF形式のファイルで8kHz / 8bit / モノラル、waveフォーマット、μ-Lawのみとなります。違う形式のファイルをアップロードすると「アップロードしたファイルはVMで使用できない形式です。」が表示され、アップロードできません。
- ガイダンスアップロード中にLANケーブルが抜け、一定時間経過すると、「ページを表示できません」と表示されます。その後、LANケーブルを接続し、再度ガイダンスのアップロードを行うと、約2分間「ページを表示できません」または「一時保存ファイルの作成に失敗しました」などと表示されアップロードできない場合があります。アップロード中にLANケーブルが抜けた場合は、約2分たってから操作を行ってください。
- アップロードするガイダンスのファイル名には「:」「&」「(空白)」「.. (連続する2つ以上のピリオド)」を使用しないでください。ダウンロード時にファイル名が正常に表示できなくなります。



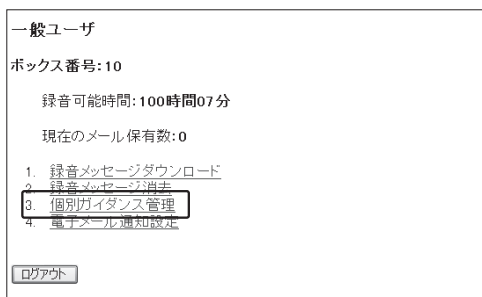
ワンポイント

- Webブラウザのポップアップブロックの設定について
Webブラウザのポップアップブロックの設定が有効の場合は、アップロードを実行中のウィンドウが表示されません。あらかじめWebブラウザのポップアップブロックの設定で、「10.0.0.6 (初期値)」のサイトのポップアップを許可しておいてください。

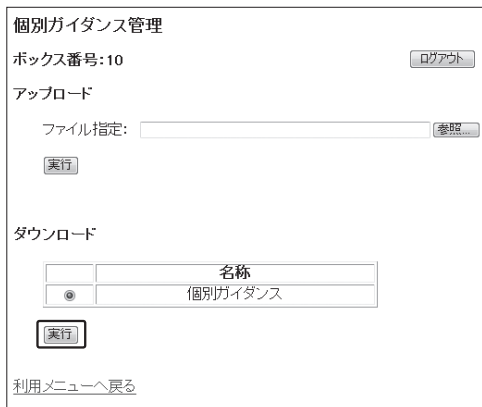
個別ガイダンスをダウンロードする（一般ユーザ）

メールボックスに保存されている個別ガイダンスをwaveファイルとしてダウンロードします。

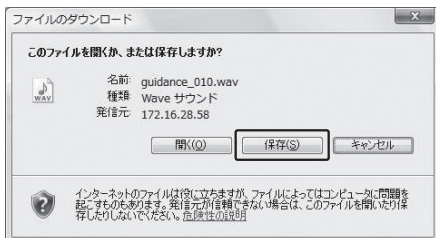
1 利用メニューで「個別ガイダンス管理」をクリックする。



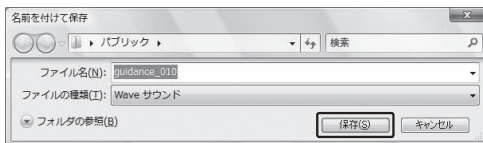
2 「ダウンロード」の「実行」をクリックする。



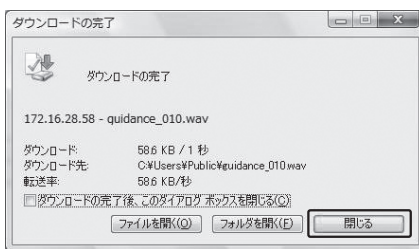
3 「保存」をクリックする。



4 ファイル名を確認し、「保存」をクリックする。 ファイル名を変更する場合は、新しいファイル名を入力し直します。



5 ダウンロードの完了を確認し、「閉じる」をクリックする。



ワンポイント

- **ダウンロードするときのファイル名**
初期設定では、下記のようなファイル名になります。「xxx」にはボックス番号が入ります。
guidance_xxx.wav
- **個別ガイダンスをダウンロードした場合のファイルサイズ**
個別ガイダンスをダウンロードした場合、2分の録音で約1Mbyteサイズのファイルとなります。お使いのパソコンのハードディスクなどの空き容量にご注意してお使いください。
- **ダウンロードしたwaveファイルのファイル形式について**
ダウンロードしたwaveファイルはRIFF形式、waveフォーマット、μ-Lawで保存されます。Windows Media Playerなどで再生することができます。



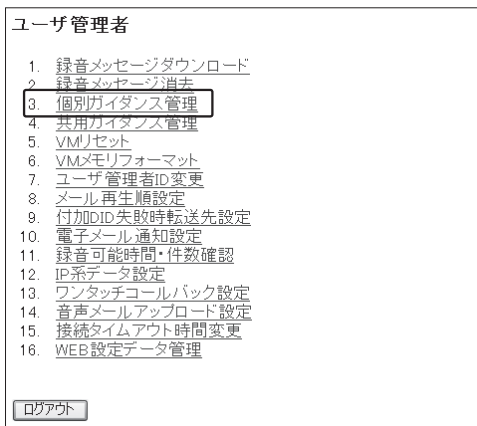
お知らせ

- 個別ガイダンス管理画面でのダウンロードの表示は、ボックスに個別ガイダンスが登録されている場合にのみ表示されます。個別ガイダンスが登録されていない場合は表示されません。
- ダウンロード中にLANケーブルが抜けるとダウンロードが失敗となります。その後、LANケーブルを接続し、再度ダウンロードを実行するとダウンロードできない場合があります。ダウンロード中にLANケーブルが抜けた場合は、約2分たってから操作を行ってください。

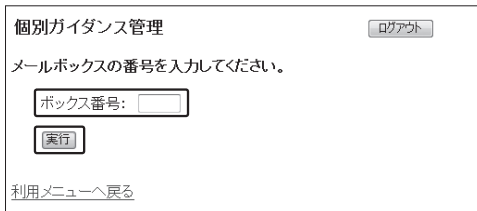
個別ガイダンスをダウンロードする（ユーザ管理者）

メールボックスに保存されている個別ガイダンスを wave ファイルとしてダウンロードします。

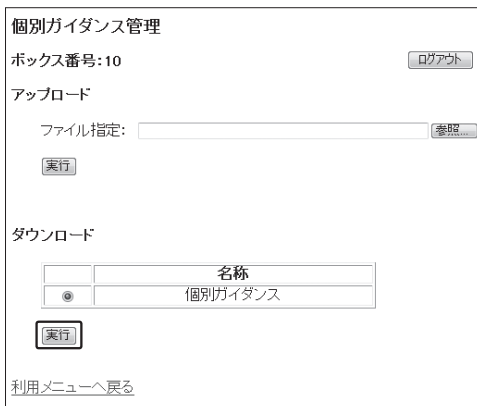
1 利用メニューで「個別ガイダンス管理」をクリックする。



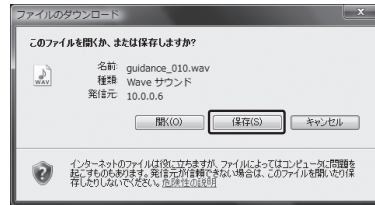
2 メールボックスの番号を入力し、「実行」をクリックする。



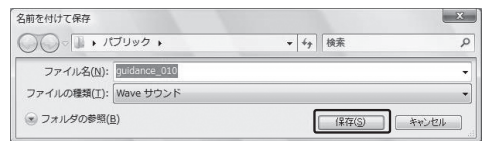
3 「ダウンロード」の「実行」をクリックする。



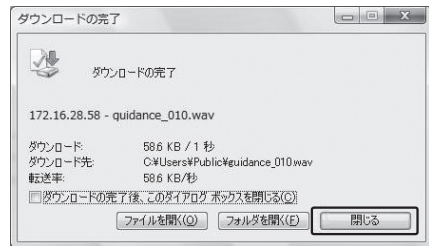
4 「保存」をクリックする。



5 ファイル名を確認し、「保存」をクリックする。ファイル名を変更する場合は、新しいファイル名を入力し直します。



6 ダウンロードの完了を確認し、「閉じる」をクリックする。





ワンポイント

- **ダウンロードするときのファイル名**
初期設定では、下記のようなファイル名になります。「xxx」にはボックス番号が入ります。
guidance_xxx.wav
- **個別ガイダンスをダウンロードした場合のファイルサイズ**
個別ガイダンスをダウンロードした場合、2分の録音で約1Mbyteサイズのファイルとなります。お使いのパソコンのハードディスクなどの空き容量にご注意してお使いください。
- **ダウンロードしたwaveファイルのファイル形式について**
ダウンロードしたwaveファイルはRIFF形式、waveフォーマット、 μ -Lawで保存されます。
Windows Media Playerなどで再生することができます。



お知らせ

- 個別ガイダンス管理画面でのダウンロードの表示は、ボックスに個別ガイダンスが登録されている場合にのみ表示されます。個別ガイダンスが登録されていない場合は表示されません。
- ダウンロード中にLANケーブルが抜けるとダウンロードが失敗となります。その後、LANケーブルを接続し、再度ダウンロードを実行するとダウンロードできない場合があります。ダウンロード中にLANケーブルが抜けた場合は、約2分たってから操作を行ってください。

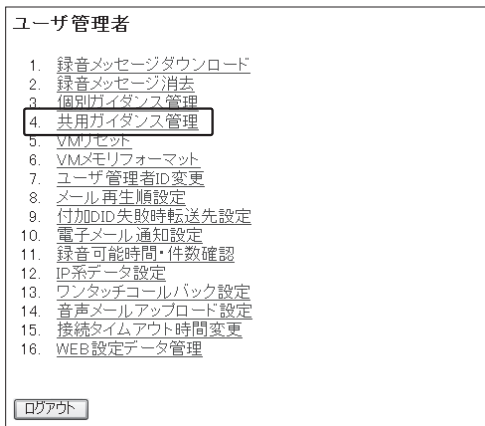
共用ガイダンスを管理するには

パソコンから共用ガイダンスを音声メールにアップロードしたり、音声メールに登録されている共用ガイダンスをパソコンへダウンロードすることができます。管理対象となるガイダンス番号は11～99です。この操作は、ユーザ管理者のみ行うことができます。

共用ガイダンスをアップロードする

パソコンで作成した共用ガイダンスのwaveファイルを、音声メールへアップロードします。

1 利用メニューで「共用ガイダンス管理」をクリックする。



2 ガイダンス番号を選択する。

3 「参照」をクリックし、アップロードするファイルを指定する。

4 「アップロード」の「実行」をクリックする。



アップロードが完了すると、「該当ガイダンスを登録しました。」と表示されます。



ワンポイント

● Webブラウザのポップアップブロックの設定について

Webブラウザのポップアップブロックの設定が有効の場合は、アップロードを実行中のウィンドウが表示されません。あらかじめWebブラウザのポップアップブロックの設定で、「10.0.0.6（初期値）」のサイトのポップアップを許可しておいてください。



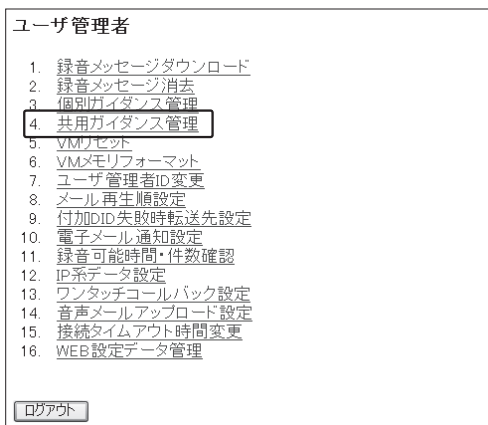
お知らせ

- アップロード可能なファイル形式はRIFF形式のファイルで8kHz / 8bit / モノラル、waveフォーマット、μ-Lawのみとなります。違う形式のファイルをアップロードすると「アップロードしたファイルはVMで使用できない形式です。」が表示され、アップロードできません。
- ファイルサイズが2048Kbyteを超えるファイルをアップロードしようとすると、「アップロードしたファイルが大きすぎます。」と表示され、アップロードできません。
- アップロードした場合にVMメモリに空きがなくなると、「一時保存ファイルの書き込みに失敗しました。」または「空きメモリ容量が不足しているため、本サービスは利用できません。」と表示されます。不要な録音メッセージを消去してから行ってください。
- 共用ガイダンス管理画面でのダウンロードの表示は、共用ガイダンスが登録されている場合にのみ表示されます。共用ガイダンスが登録されていない場合は表示されません。
- ガイダンスアップロード中にLANケーブルが抜け、一定時間経過すると「ページを表示できません」と表示されます。その後、LANケーブルを接続し、再度ガイダンスのアップロードを行っても、約2分間「ページを表示できません」または「一時保存ファイルの作成に失敗しました」などと表示されアップロードできない場合があります。アップロード中にLANケーブルが抜けた場合は、約2分たってから操作を行ってください。
- アップロードするガイダンスのファイル名には「:」「&」「(空白)」「.. (連続する2つ以上のピリオド)」を使用しないでください。ダウンロード時にファイル名が正常に表示できなくなります。

共用ガイダンスをダウンロードする

音声メールに登録されている共用ガイダンスをwaveファイルとしてダウンロードします。

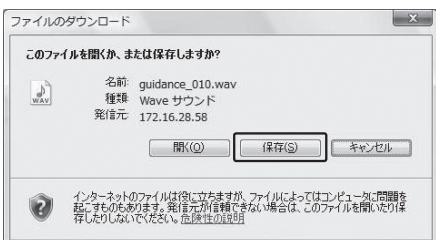
1 利用メニューで「共用ガイダンス管理」をクリックする。



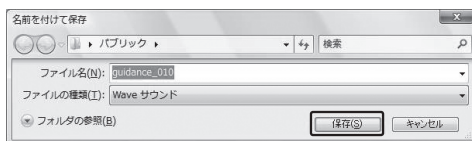
2 ダウンロードするファイルをクリックし、「ダウンロード」の「実行」をクリックする。



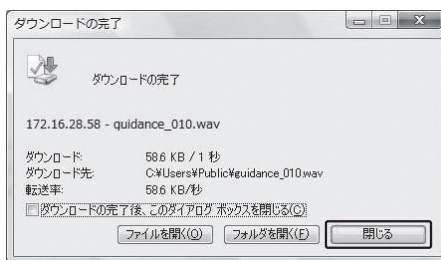
3 「保存」をクリックする。



4 ファイル名を確認し、「保存」をクリックする。 ファイル名を変更する場合は、新しいファイル名を入力し直します。



5 ダウンロードの完了を確認し、「閉じる」をクリックする。



3 管理を行う

共用ガイダンスを管理するには



ワンポイント

● ダウンロードするときのファイル名

初期設定では、下記のようなファイル名になります。「xx」にはガイダンス番号が入ります。

comm_guidance_xx.wav



お知らせ

● ガイダンス番号01…10の共用ガイダンスはダウンロードできません。

● 共用ガイダンス管理画面でのダウンロードの表示は、共用ガイダンスが登録されている場合にのみ表示されます。共用ガイダンスが登録されていない場合は表示されません。

● ダウンロード中にLANケーブルが抜けるとダウンロードが失敗となります。その後、LANケーブルを接続し、再度ダウンロードを実行するとダウンロードできない場合があります。ダウンロード中にLANケーブルが抜けた場合は、約2分たってから操作を行ってください。

メールの再生順を設定するには

録音メッセージを再生する順番を、ボックスごとに設定できます。お買い求め時は「新しい順」に設定されています。この操作は、ユーザ管理者のみ行うことができます。

1 利用メニューで「メール再生順設定」をクリックする。

ユーザ管理者

1. [録音メッセージダウンロード](#)
2. [録音メッセージ消去](#)
3. [個別ガイダンス管理](#)
4. [共用ガイダンス管理](#)
5. [VMリセット](#)
6. [VMメモリフォーマット](#)
7. [ユーザ管理者ID変更](#)
8. **メール再生順設定**
9. [付加ID失敗時転送先設定](#)
10. [電子メール通知設定](#)
11. [録音可能時間・件数確認](#)
12. [IP系データ設定](#)
13. [ワンタッチコールバック設定](#)
14. [音声メールアップロード設定](#)
15. [接続タイムアウト時間変更](#)
16. [WEB設定データ管理](#)

2 ボックス番号を入力する。

3 再生順を選択する。

メール再生順設定

ボックス番号 :

メールの再生順 : 新しい順 ▾

[利用メニューへ戻る](#)

4 「書込」をクリックする。

メール再生順設定

ボックス番号 :

メールの再生順 : 新しい順 ▾

[利用メニューへ戻る](#)



- メール再生順設定画面では、現在の設定は表示できません。書き込んだ設定が反映されるのみとなります。

付加番号ダイヤルイン入力エラー時の 転送先を設定するには

付加番号ダイヤルイン（外線転送、内線転送）（☛P69、70）で、発信者が誤った内線番号を3回入力した場合や3回時間切れになった場合に、音声メールから切断せずに登録した内線番号に転送されるように設定できます。この操作は、ユーザ管理者のみ行うことができます。

- 1** 利用メニューで「付加DID失敗時転送先設定」をクリックする。

ユーザ管理者

- 録音メッセージダウンロード
- 録音メッセージ消去
- 個別ガイダンス管理
- 共用ガイダンス管理
- VMリセット
- VMメモリフォーマット
- ユーザ管理者ID変更
- メール再生順設定
- 付加DID失敗時転送先設定**
- 電子メール通知設定
- 録音可能時間・件数確認
- IP系データ設定
- ワンタッチコールバック設定
- 音声メールアップロード設定
- 接続タイムアウト時間変更
- WEB設定データ管理

ログアウト

- 2** 「転送先内線番号」のオプションボタンをオンにし、内線番号を入力する。

- 3** 「書込」をクリックする。

付加DID失敗時転送先設定 ログアウト

設定なし

転送先内線番号 :

利用メニューへ戻る

録音可能時間やメールの件数を確認するには

音声メール全体の録音可能時間や、ボックスごとの録音メッセージ件数を確認できます。この操作は、一般ユーザとユーザ管理者で操作手順が異なります。

録音可能時間・件数を確認する（一般ユーザ）

一般ユーザとしてログインし、一般ユーザの利用メニューを表示します。

1 Webブラウザを起動し、音声メールユニットのIPアドレスを入力し、[Enter] キーを押す。

2 トップメニューで、「一般ユーザ」をクリックする。

Voice Mail Top Menu

1. 一般ユーザ
2. ユーザ管理者

3 メールボックスの番号を入力し、「実行」をクリックする。

一般ユーザ

メールボックスの番号を入力してください。

ボックス番号:

[トップメニューへ戻る](#)



一般ユーザの利用メニューが表示される。

一般ユーザ

ボックス番号: 10

録音可能時間: 100時間07分

現在のメール保有数: 0

1. [録音メッセージダウンロード](#)
2. [録音メッセージ消去](#)
3. [個別ガイドランス管理](#)
4. [電子メール通知設定](#)

録音可能時間・件数を確認する（ユーザ管理者）

1 利用メニューで「録音可能時間・件数確認」をクリックする。

ユーザ管理者

1. [録音メッセージダウンロード](#)
2. [録音メッセージ消去](#)
3. [個別ガイドランス管理](#)
4. [共用ガイドランス管理](#)
5. [VMリセット](#)
6. [VMメモリフォーマット](#)
7. [ユーザ管理者ID変更](#)
8. [メール再生順設定](#)
9. [付加DID失敗時転送先設定](#)
10. [電子メール通知設定](#)
11. [録音可能時間・件数確認](#)
12. [IPホテータ設定](#)
13. [ワンタッチコールバック設定](#)
14. [音声メールアップロード設定](#)
15. [接続タイムアウト時間変更](#)
16. [WEB設定データ管理](#)

2 録音可能時間や、ボックスごとのメール保有数を確認する。

録音可能時間・件数確認

録音可能時間: 100時間07分

| ボックス番号 | 現在のメール保有数 |
|--------|-----------|
| 001 | 0 |
| 002 | 0 |
| 003 | 0 |
| 004 | 0 |
| 005 | 0 |
| 006 | 0 |
| 007 | 0 |
| 008 | 0 |
| 009 | 0 |
| 010 | 0 |
| 011 | 0 |
| 012 | 0 |
| 013 | 0 |
| 014 | 0 |

[利用メニューへ戻る](#)



ワンポイント

- ユーザ管理者で目的のボックスのメール数が表示されていないときは
録音可能時間・件数確認画面の右端にあるスクロールバーを操作して表示させます。

IP系システムデータを設定するには

音声メールのIP系データを設定できます。
この操作は、ユーザ管理者のみ行うことができます。

IPアドレス設定をする

1 利用メニューで「IP系データ設定」をクリックする。

ユーザ管理者 ログアウト

- 録音メッセージダウンロード
- 録音メッセージ消去
- 個別ガイダンス管理
- 共用ガイダンス管理
- VMリセット
- VMメモリフォーマット
- ユーザ管理者ID変更
- メール再生順設定
- 付加DID失敗時転送先設定
- 電子メール通知設定
- 録音可能時間・件数確認
- IP系データ設定**
- ワンタッチコールバック設定
- 音声メールアップロード設定
- 接続タイムアウト時間変更
- WEB設定データ管理

ログアウト

2 「IPアドレス設定」をクリックする。

ユーザ管理者 ログアウト

IP系データ設定

- IPアドレス設定**
- VM環境設定
- 電子メールサーバ設定

[利用メニューへ戻る](#)

3 各項目を設定する。

IPアドレス設定 ログアウト

VMのIPアドレスを設定してください。

| | | | | | | | | |
|-------------|---|-----|---|----|---|----|---|----|
| IPアドレス | : | 172 | . | 16 | . | 28 | . | 58 |
| サブネットマスク | : | 255 | . | 0 | . | 0 | . | 0 |
| デフォルトゲートウェイ | : | | . | | . | | . | |
| DNSサーバ | : | | . | | . | | . | |

書込 ※再起動時に設定が反映されます。

[IP系データ設定へ戻る](#)

[利用メニューへ戻る](#)

4 「書込」をクリックする。

IPアドレス設定 ログアウト

VMのIPアドレスを設定してください。

| | | | | | | | | |
|-------------|---|-----|---|----|---|----|---|----|
| IPアドレス | : | 172 | . | 16 | . | 28 | . | 58 |
| サブネットマスク | : | 255 | . | 0 | . | 0 | . | 0 |
| デフォルトゲートウェイ | : | | . | | . | | . | |
| DNSサーバ | : | | . | | . | | . | |

書込 ※再起動時に設定が反映されます。

[IP系データ設定へ戻る](#)

[利用メニューへ戻る](#)



ワンポイント

●お買い求め時の設定は

次のように設定されています。

IPアドレス : 10.0.0.6
 サブネットマスク : 255.0.0.0
 デフォルトゲートウェイ : 設定なし
 DNSサーバ : 設定なし

●IPアドレス設定を行った場合には

必ずVMリセット (P122) を行ってください。設定の変更は、リセット後に有効となります。

●1つ前の画面に戻るには

「IP系データ設定へ戻る」をクリックします。



お知らせ

- IPアドレスの設定や変更を行う場合は、当社のサービス取扱所または販売店にご相談ください。
- IPアドレスは、忘れないようにご注意ください。IPアドレスを忘れると、パソコンから音声メールを利用できなくなります。IPアドレスを忘れた場合は、当社のサービス取扱所または販売店にご相談ください。

IP系システムデータを設定するには
録音可能時間やメールの件数を確認するには

VLAN環境設定をする

1 利用メニューで「IP系データ設定」をクリックする。

ユーザー管理者

- 録音メッセージダウンロード
- 録音メッセージ消去
- 個別ガイダンス管理
- 共用ガイダンス管理
- VMリセット
- VMメモリフォーマット
- ユーザー管理者ID変更
- メール再生順設定
- 付加DID失敗時転送先設定
- 電子メール通知設定
- 録音可能時間・件数確認
- IP系データ設定**
- ワンタッチコールバック設定
- 音声メールアップロード設定
- 接続タイムアウト時間変更
- WEB設定データ管理

ログアウト

2 「VLAN環境設定」をクリックする。

ユーザー管理者

IP系データ設定

- IPアドレス設定
- VLAN環境設定**
- 電子メールサーバ設定

利用メニューへ戻る

3 各項目を設定する。

VLAN環境設定

VLANを設定します。

VLANタグを付加しない
 VLANタグを付加する

VLAN ID :

CoS値 :

書込 ※再起動時に設定が反映されます。

IP系データ設定へ戻る
 利用メニューへ戻る

4 「書込」をクリックする。

VLAN環境設定

VLANを設定します。

VLANタグを付加しない
 VLANタグを付加する

VLAN ID :

CoS値 :

書込 ※再起動時に設定が反映されます。

IP系データ設定へ戻る
 利用メニューへ戻る



ワンポイント

● お買い求め時の設定は

次のように設定されています。

VLANタグ：付加しない

VLAN ID：設定なし（設定範囲：1～4094）

CoS値：5（設定範囲：0～7）

● VLAN環境設定を行った場合には

必ずVMリセット（P122）を行ってください。設定の変更は、リセット後に有効となります。

● 「VLANタグを付加しない」をオンにすると

VLAN ID、CoS値の設定は無効となります。

● 1つ前の画面に戻るには

「IP系データ設定へ戻る」をクリックします。



お知らせ

● VLANタグの設定を変更したときは、他のパソコンやHUB等も合わせて設定変更を行わないと音声メールに接続できなくなるのでご注意ください。VLAN環境の設定や変更を行う場合は、当社のサービス取扱所または販売店にご相談ください。

● 本装置のCoS値を設定しただけでは、CoS値での優先制御は利用できません。LANに接続されているHUB等の設定もあわせて行う必要があります。

ワンタッチコールバック機能を設定するには

ワンタッチコールバック機能を設定できます。この操作は、ユーザ管理者のみ行うことができます。

1 利用メニューで「ワンタッチコールバック設定」をクリックする。

ユーザ管理者

- 録音メッセージダウンロード
- 録音メッセージ消去
- 個別ガイダンス管理
- 共用ガイダンス管理
- VMリセット
- VMメモリフォーマット
- ユーザ管理者ID変更
- メール再生順設定
- 付加DID失敗時転送先設定
- 電子メール通知設定
- 録音可能時間・件数確認
- ID系データ設定
- ワンタッチコールバック設定**
- 音声メールアップロード設定
- 接続タイムアウト時間変更
- WEB設定データ管理

ログアウト

2 「ワンタッチコールバック機能設定」をクリックする。

ワンタッチコールバック設定

- ワンタッチコールバック機能設定**
- ワンタッチコールバック発信通話番号設定

利用メニューへ戻る

3 各項目を設定する。

ワンタッチコールバック機能設定

ワンタッチコールバック機能に関する情報を設定してください。

電子メール通知設定

主装置WAN側アドレス : ※

WEBアドレス帳サーバアドレス :

※ ポート番号を80以外で使用する場合はアドレスの後にポート番号を設定してください。(ポート番号8080の設定例) xxxxxxxxxxxx8080

機能設定

WEBアドレス帳サーバアドレス :

VM HTTPポート番号 :

メール再生中の発信特番 :

※ 再起動後に設定は有効になります。

ワンタッチコールバック設定へ戻る

利用メニューへ戻る

4 「書込」をクリックする。

ワンタッチコールバック機能設定

ワンタッチコールバック機能に関する情報を設定してください。

電子メール通知設定

主装置WAN側アドレス : ※

WEBアドレス帳サーバアドレス :

※ ポート番号を80以外で使用する場合はアドレスの後にポート番号を設定してください。(ポート番号8080の設定例) xxxxxxxxxxxx8080

機能設定

WEBアドレス帳サーバアドレス :

VM HTTPポート番号 :

メール再生中の発信特番 :

※ 再起動後に設定は有効になります。

ワンタッチコールバック設定へ戻る

利用メニューへ戻る



ワンポイント

●お買い求め時の設定は

次のように設定されています。

電子メール通知用設定

主装置WAN側アドレス : 設定なし

WEBアドレス帳サーバアドレス : 設定なし

機能設定

WEBアドレス帳サーバアドレス : 設定なし

VM HTTPポート番号 : 8080

メール再生中の発信特番 : 8#

●ワンタッチコールバック機能設定を行った場合には

必ずVMリセット (P122) を行ってください。設定の変更は、リセット後に有効となります。

●1つ前の画面に戻るには

「ワンタッチコールバック設定へ戻る」をクリックします。

●ポート番号を80以外で使用する場合は

主装置WAN側アドレスの入力で、ポート番号を80以外で使用する場合は、アドレスのあとにポート番号を設定してください。



お知らせ

●VM HTTPポート番号は、ワンタッチコールバック機能を利用するためのポート番号です。

PC操作編の機能については、ポート番号「80」となります。

VM HTTPポート番号の設定については、システム設定と合わせて設定を行ってください。

●VM HTTPポート番号へは「80」を設定することはできません。

●主装置WAN側アドレスを設定しないと、メールが録音された場合に通知される電子メールに、発信URL、再生URLは付加されません。主装置WAN側アドレスについては、システム設定に合わせて設定を行ってください。

●電子メール通知用設定のWEBアドレス帳サーバアドレスを設定しないと、メールが録音された場合に通知される電子メールに、WEBアドレス帳へアクセスするためのURLは付加されません。WEBアドレス帳の機能をご利用になる場合は、システム設定、およびWEBアドレス帳の設定に合わせて設定を行ってください。

●メール再生中の発信特番を設定しないと、メールが録音された場合に通知される電子メールに、メール再生中の発信特番の説明文は付加されず、メール再生中の発信特番による操作はできません。

●電子メール通知用設定のWEBアドレス帳サーバアドレス設定内容については、WEBアドレス帳取扱説明書を参照してください。

ワンタッチコールバック発信通知番号を設定するには

ワンタッチコールバック機能で相手の方に通知する発信番号を設定できます。
この操作は、ユーザ管理者のみ行うことができます。

1 利用メニューで「ワンタッチコールバック設定」をクリックする。

ユーザ管理者

- 録音メッセージダウンロード
- 録音メッセージ消去
- 個別ガイダンス管理
- 共用ガイダンス管理
- VMリセット
- VMメモリフォーマット
- ユーザ管理者ID変更
- メール再生順設定
- 付加DID失敗時転送先設定
- 電子メール通知設定
- 録音可能時間・件数確認
- ID系データ設定
- ワンタッチコールバック設定**
- 音声メールアップロード設定
- 接続タイムアウト時間変更
- WEB設定データ管理

ログアウト

2 「ワンタッチコールバック発信通知番号設定」をクリックする。

ワンタッチコールバック設定

- ワンタッチコールバック機能設定
- ワンタッチコールバック発信通知番号設定**

利用メニューへ戻る

3 メールボックスの番号を入力し、「実行」をクリックする。

ワンタッチコールバック発信通知番号設定

メールボックスの番号を入力してください。

ボックス番号:

実行

ワンタッチコールバック設定へ戻る

4 ワンタッチコールバック発信番号を入力する。

ワンタッチコールバック発信通知番号設定

ボックス番号:10

ワンタッチコールバック発信通知番号:

書込 ※再起動後に設定は有効になります。

ワンタッチコールバック設定へ戻る

利用メニューへ戻る

5 「書込」をクリックする。

ワンタッチコールバック発信通知番号設定

ボックス番号:10

ワンタッチコールバック発信通知番号:

書込 ※再起動後に設定は有効になります。

ワンタッチコールバック設定へ戻る

利用メニューへ戻る



ワンポイント

- ワンタッチコールバック設定の画面に戻るには「ワンタッチコールバック設定へ戻る」をクリックします。
- ワンタッチコールバック発信通知番号設定を行った場合には必ずVMリセット（P122）を行ってください。設定の変更は、リセット後に有効となります。



お知らせ

- ワンタッチコールバック発信通知番号は、半角数字（0～9）の12桁以内で設定することができます。12桁を超えて設定することはできません。
- ご使用の回線やその契約によっては、ワンタッチコールバック発信通知番号を設定して、ワンタッチコールバック発信を行っても、その番号が相手の方に通知されない場合があります。

音声メールアップロードを設定するには

音声メールアップロード機能を設定できます。
この機能はユーザ管理者のみ行うことができます。

音声メールアップロード機能を設定する

1 利用メニューで「音声メールアップロード設定」をクリックする。

ユーザ管理者

- 録音メッセージダウンロード
- 録音メッセージ消去
- 個別ガイダンス管理
- 共用ガイダンス管理
- VMリセット
- VMメモリフォーマット
- ユーザ管理者ID変更
- メール再生順設定
- 付加DID失敗時転送先設定
- 電子メール通知設定
- 録音可能時間・件数確認
- IP系データ設定
- コンタクトコールバック設定
- 14 音声メールアップロード設定**
- 接続タイムアウト時間変更
- WEB設定データ管理

ログアウト

2 「音声メールアップロード機能設定」をクリックする。

音声メールアップロード設定

- 1 音声メールアップロード機能設定**
- 音声メールアップロード有無設定

利用メニューへ戻る

3 各項目を設定する。

音声メールアップロード機能設定

音声メールアップロード機能に関する情報を設定してください。

アップロードFTPサーバアドレス :

アップロードFTPサーバポート番号 :

ユーザ名 :

パスワード :

アップロードフォルダ名 :

アップロード曜日・時刻 : 日曜日 01 時
 月曜日 01 時
 火曜日 01 時
 水曜日 01 時
 木曜日 01 時
 金曜日 01 時
 土曜日 01 時

音声メールサーバ保存日数 : 日

暗号化FTPS(Explicit)有無 :

パッシブ(passive)モード有無 :

4 「書込」をクリックする。

音声メールアップロード機能設定

音声メールアップロード機能に関する情報を設定してください。

アップロードFTPサーバアドレス :

アップロードFTPサーバポート番号 :

ユーザ名 :

パスワード :

アップロードフォルダ名 :

アップロード曜日・時刻 : 日曜日 01 時
 月曜日 01 時
 火曜日 01 時
 水曜日 01 時
 木曜日 01 時
 金曜日 01 時
 土曜日 01 時

音声メールサーバ保存日数 : 日

暗号化FTPS(Explicit)有無 :

パッシブ(passive)モード有無 :

※再起動後に設定は有効になります。

[音声メールアップロード設定へ戻る](#)

[利用メニューへ戻る](#)



ワンポイント

●お買い求め時の設定は

次のように設定されています。

アップロードFTPサーバアドレス：設定なし

アップロードFTPサーバポート番号：21

ユーザ名：設定なし

パスワード：設定なし

アップロードフォルダ名：NXL8VMUDAT

アップロード曜日・時刻：設定なし

音声メールサーバ保存日数：90日（設定範囲：1～90）

暗号化FTPS（Explicit）有無：しない

パッシブ（passive）モード有無：しない

●1つ前の画面には

「音声メールアップロード設定へ戻る」をクリックします。

●音声メールアップロード機能設定を行った場合には

必ずVMリセット（☛P122）を行ってください。設定の変更は、リセット後に有効となります。

●音声メールユニットの暗号化通信（FTPS）仕様（☛P98）



お知らせ

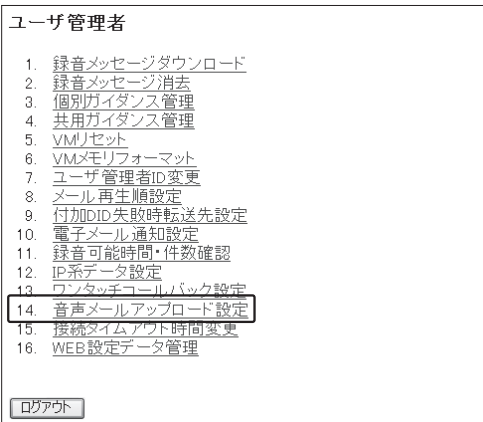
●クラウド上のサーバは、FTPS接続（暗号化する）のでご使用を推奨します。「暗号化FTPS（Explicit）有無」を「する」に設定してください。

●LAN上のサーバは、FTPS接続（暗号化する）でご使用の場合、サーバの種類、サーバの設定によってはエラーとなることがあります。

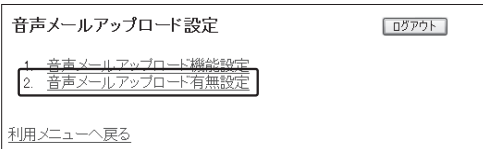
●クラウド上のサーバをご使用の場合、「パッシブ（passive）モード有無」を「しない」に設定したときは、エラーとなることがあります。

音声メールアップロード 有無を設定する

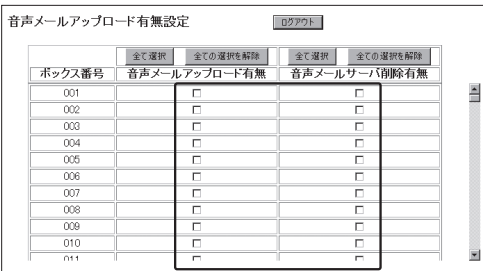
1 利用メニューで「音声メールアップロード設定」をクリックする。



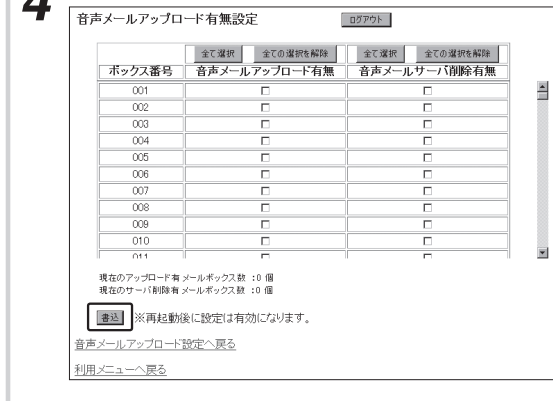
2 「音声メールアップロード有無設定」をクリックする。



3 各項目を設定する。



4 「書込」をクリックする。



ワンポイント

- お買い求め時の設定は
次のように設定されています。
音声メールアップロード有無：設定なし
音声メールサーバ削除有無：設定なし
- すべてのボックスを一度に設定するには
「全て選択」や「全ての選択を解除」をクリックします。
- 1つ前の画面に戻るには
「音声メールアップロード設定へ戻る」をクリックします。
- 音声メールアップロード有無設定を行った場合には
必ずVMリセット（P122）を行ってください。設定の変更は、リセット後に有効となります。

お知らせ

- 音声メールサーバ削除有無を有りに設定した場合、音声メールサーバ保存日数（P117）で設定された日数を経過した音声メールはFTPサーバから削除します。

接続タイムアウト時間を変更するには

接続タイムアウト時間を設定できます。
この機能はユーザ管理者のみ行うことができます。

1 利用メニューで「接続タイムアウト時間変更」をクリックする。

ユーザ管理者

1. 録音メッセージダウンロード
2. 録音メッセージ消去
3. 個別ガイドランス管理
4. 共用ガイドランス管理
5. VMリセット
6. VMメモリフォーマット
7. ユーザ管理者ID変更
8. メール再生順設定
9. 付加DID失敗時転送先設定
10. 電子メール通知設定
11. 録音可能時間・件数確認
12. IP系データ設定
13. ワンタッチコールバック設定
14. 音声メールアップロード設定
15. 接続タイムアウト時間変更
16. WEB設定データ管理

2 接続タイムアウト時間（分）を入力する。

接続タイムアウト時間変更

接続タイムアウト時間を入力してください。

接続タイムアウト時間（分） :

3 「書込」をクリックする。

接続タイムアウト時間変更

接続タイムアウト時間を入力してください。

接続タイムアウト時間（分） :

※再起動時に設定が反映されます。

接続タイムアウト時間とは、ログイン後、ブラウザで操作しなかった場合や、ログアウトせずにブラウザを開いた場合にログアウトとなるまでの時間です。

[利用メニューへ戻る](#)



ワンポイント

- お買い求め時の設定は
次のように設定されています。
接続タイムアウト時間（分）：10（設定範囲：1～10）
- 接続タイムアウト時間変更を行った場合には
必ずVMリセット（▶P122）を行ってください。設定の変更は、リセット後に有効となります。
- 接続タイムアウトとは
ログイン後、接続タイムアウト時間の間操作がない場合は、自動的にログアウトとなります。なお、ログアウトせずにWebブラウザを終了した場合は、接続タイムアウト時間が経過するまで、ログインはできません。

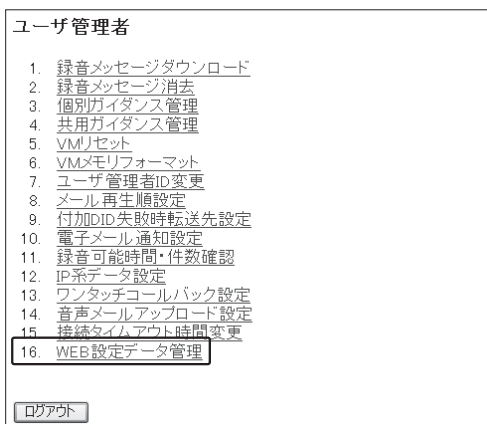
WEB設定データを管理するには

パソコンに保存しているWEB設定データの設定ファイルを音声メールユニットにアップロード（データ転送）したり、音声メールユニットからWEB設定データの設定ファイルをパソコンへダウンロード（データ取得）することができます。この操作は、ユーザ管理者のみ行うことができます。

WEB設定データをアップロードする (PC→VM)

パソコンに保存しているWEB設定データの設定ファイルを、音声メールユニットへアップロードします。

1 利用メニューで「WEB設定データ管理」をクリックする。



2 「参照」をクリックし、アップロードするファイルを指定する。

3 「WEB設定データアップロード(PC→VM)」の「実行」をクリックする。



アップロードが完了すると、「アップロードが完了しました。VMをリセットすると変更が反映されます。」と表示されます。



ワンポイント

● Webブラウザのポップアップブロックの設定について

Webブラウザのポップアップブロックの設定が有効の場合は、アップロードを実行中のウィンドウが表示されません。あらかじめWebブラウザのポップアップブロックの設定で、「10.0.0.6（初期値）」のサイトのポップアップを許可しておいてください。

● WEB設定データアップロードを行った場合には

必ずVMリセット（☛P122）を行ってください。設定の変更は、リセット後に有効となります。



お知らせ

● アップロード可能なファイル形式は、音声メールユニットにてダウンロードを行ったWEB設定データのファイルのみとなります。違う形式のファイルや壊れているファイルをアップロードするとエラーメッセージが表示され、アップロードできません。

● アップロードするファイルの設定内容により、IPアドレス等の設定も変更されることがあります。IPアドレスを忘れると、パソコンから音声メールを利用できなくなるためご注意ください。（☛P113）

● アップロードした場合にVMメモリに空きがなくなると、「一時保存ファイルの書き込みに失敗しました。」または「空きメモリ容量が不足しているため、本サービスは利用できません。」と表示されます。不要な録音メッセージを消去してから行ってください。

● WEB設定データアップロード中にLANケーブルが抜け、一定時間経過すると「ページを表示できません」と表示されます。その後、LANケーブルを接続し、再度WEB設定データのアップロードを行っても、約2分間「ページを表示できません」または「一時保存ファイルの作成に失敗しました」などと表示されアップロードできない場合があります。アップロード中にLANケーブルが抜けた場合は、約2分たってから操作を行ってください。

WEB設定データをダウンロードする (VM→PC)

音声メールユニットからWEB設定データの設定ファイルをパソコンへダウンロードします。

1 利用メニューで「WEB設定データ管理」をクリックする。

ユーザ管理者

- 録音メッセージダウンロード
- 録音メッセージ消去
- 個別ダイヤル管理
- 共用ダイヤル管理
- VMリセット
- VMメモリフォーマット
- ユーザ管理者ID変更
- メール再生順設定
- 付加DID失敗時転送先設定
- 電子メール通知設定
- 録音可能時間・件数確認
- IP系データ設定
- ワンタッチコールバック設定
- 音声メールアップロード設定
- 接続タイムアウト時間変更
- 16. WEB設定データ管理**

ログアウト

2 「WEB設定データダウンロード(VM→PC)」の「実行」をクリックする。

WEB設定データ管理

WEB設定データアップロード(PC→VM)

ファイル指定:

※再起動時に設定が反映されます。

WEB設定データダウンロード(VM→PC)

利用メニューへ戻る

3 「こちらをクリックしてください。」をクリックする。

WEB設定データ管理

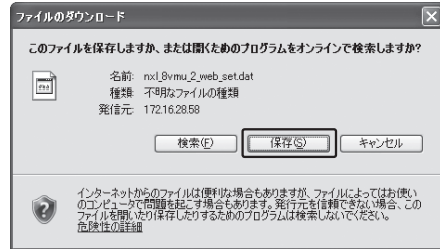
ダウンロードを開始します。よろしければ、[こちらをクリックしてください。](#)

ダウンロード完了後は、WEB設定データ管理、または利用メニューへ戻ってください。

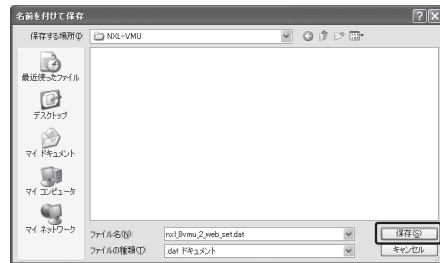
WEB設定データ管理へ戻る

利用メニューへ戻る

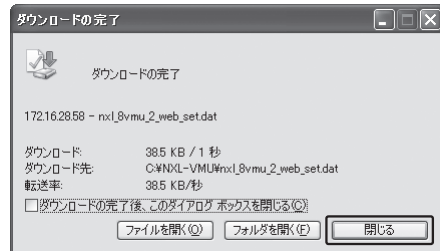
4 「保存」をクリックする。



5 ファイル名を確認し、「保存」をクリックする。ファイル名を変更する場合は、新しいファイル名を入力し直します。



6 ダウンロードの完了を確認し、「閉じる」をクリックする。



4 保守を行う

WEB設定データを管理するには



ワンポイント

●ダウンロードするときのファイル名

初期設定では、下記のようなファイル名になりますが、パソコンで自由に変更できます。

nxi_8vmu_2_web_set.dat



お知らせ

- WEB設定データはユーザ管理者で設定するシステム共通と一般ユーザで設定するBOX毎を一括してダウンロードし、受信したWEB設定データはすべてパソコンに保存します。
- ダウンロードには数分かかる場合があります。
- ダウンロード中にLANケーブルが抜けるとダウンロードが失敗となります。その後、LANケーブルを接続し、再度ダウンロードを実行するとダウンロードできない場合があります。ダウンロード中にLANケーブルが抜けた場合は、約2分たってから操作を行ってください。

パソコンから音声メール機能をリセットするには

パソコンから音声メール機能をリセットすることができます。リセットを行う前に、音声メール機能を使用していないことを確認してください。
この操作は、ユーザ管理者のみ行うことができます。

1 利用メニューで「VMリセット」をクリックする。

ユーザ管理者

1. [録音メッセージダウンロード](#)
2. [録音メッセージ消去](#)
3. [個別ガイダンス管理](#)
4. [共用ガイダンス管理](#)
5. **VMリセット**
6. [VMメモリフォーマット](#)
7. [ユーザ管理者ID変更](#)
8. [メール再生順設定](#)
9. [付加DID失敗時転送先設定](#)
10. [電子メール通知設定](#)
11. [録音可能時間・件数確認](#)
12. [IP系データ設定](#)
13. [ワンタッチコールバック設定](#)
14. [音声メールアップロード設定](#)
15. [接続タイムアウト時間変更](#)
16. [WEB設定データ管理](#)

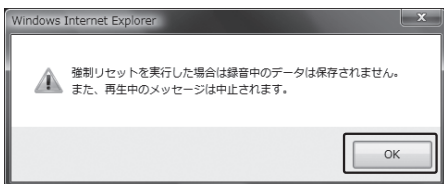
2 「実行」をクリックする。

VMリセット

VMをリセットします。
VMを使用していないことを確認し、実行してください。

強制リセット

3 「OK」をクリックする。



VMリセット

VMをリセットしています。
一度ブラウザを閉じ、再度接続してください。



ワンポイント

- VMリセットを行った場合には
VMリセットを行った場合には、一度ブラウザを閉じてから再びブラウザを起動して、音声メール機能に接続してください。
- 音声メールを使用中の状態で強制的にリセットを行うには
手順2の前に、「強制リセット」のチェックボックスをチェックします。



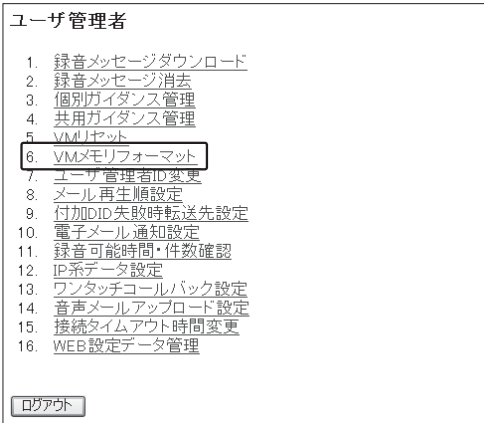
お知らせ

- 音声メールを使用中の状態でVMリセットを実行すると「VMサービスが使用されているため、リセットを実行できませんでした。」が表示され、リセットすることはできません。
- 音声メールを使用中の状態でリセットを行うと、録音中のデータは破棄され、保存されません。強制リセットを行う場合はご注意ください。
- 手順3の画面は、「強制リセット」をチェックした場合のみ表示されます。

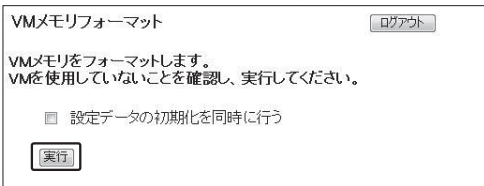
パソコンからVMメモリをフォーマットするには

パソコンから音声メールのメモリをフォーマットすることができます。
この操作は、ユーザ管理者のみ行うことができます。

1 利用メニューで「VMメモリフォーマット」をクリックする。



2 「実行」をクリックする。



3 「OK」をクリックする。



ワンポイント

- Webブラウザのポップアップブロックの設定について
Webブラウザのポップアップブロックの設定が有効の場合は、アップロードを実行中のウィンドウが表示されません。あらかじめWebブラウザのポップアップブロックの設定で、「10.0.0.6 (初期値)」のサイトのポップアップを許可しておいてください。
- フォーマットと同時に設定データを初期化するには
手順2の前に、「設定データの初期化を同時に行う」のチェックボックスをチェックします。次の設定が初期化され、お買い求め時の状態に戻ります。
 - IP系データ設定の電子メールサーバ設定
 - 電子メール通知設定
 - メール再生順設定
 - 付加DID失敗時転送先設定
 - ワンタッチコールバック設定
 - 音声メールアップロード設定
 - 接続タイムアウト時間変更



お知らせ

- フォーマットには多少の時間がかかります。実行後は、フォーマットが完了するまでお待ちください。
- 音声メールを使用中の状態でVMフォーマットを実行すると、「VMサービスが使用されているため、メモリフォーマットを実行できませんでした。」が表示され、メモリフォーマットをすることはできません。使用中でないことを確認してからフォーマットを実行してください。
- ご利用の状況によっては、音声メールの録音メッセージが壊れて電話機やパソコンから正常にご利用できなくなる可能性があります。フォーマットについては、電話機やパソコンから音声メールを正常にご利用できなくなった場合のみ行ってください。またフォーマット後は、VMリセット (●P122) を行ってください。
- フォーマットを行うと録音メッセージ、ガイダンス、IVRシナリオ等はすべて消去されます。重要な録音メッセージやガイダンスはすべてパソコンに保存してからフォーマットしてください。VMをフォーマットした場合、点灯中のボックスランプは点灯のままとなります。そのボックスをクリックしてメールを再生すると「メールがありません。」のガイダンスが再生されます。再生を終了するとボックスランプの点灯は消えます。
- フォーマットを実行し、設定データの初期化を行うと、電子メールの機能を利用できなくなります。機能を利用するには、再度、電子メールサーバ設定および電子メール通知の設定を行ってください。

ユーザ管理者IDを変更するには

パソコンからユーザ管理者IDを変更することができます。
この操作は、ユーザ管理者のみ行うことができます。

1 利用メニューで「ユーザ管理者ID変更」をクリックする。

ユーザ管理者

- 録音メッセージダウンロード
- 録音メッセージ消去
- 個別ガイダンス管理
- 共用ガイダンス管理
- VMリセット
- VMメモリフォーマット
- ユーザ管理者ID変更**
- スール再生聴設定
- 付加DID失敗時転送先設定
- 電子メール通知設定
- 録音可能時間・件数確認
- IP系データ設定
- ワンタッチコールバック設定
- 音声メールアップロード設定
- 接続タイムアウト時間変更
- WEB設定データ管理

ログアウト

2 現在のユーザ管理者IDを入力する。

ユーザ管理者ID変更 ログアウト

現在のユーザ管理者IDを入力し、変更後のIDを2回入力してください。

古いユーザ管理者ID : ●●●●

新しいユーザ管理者ID :

新しいユーザ管理者IDの確認入力 :

書込

利用メニューへ戻る

3 新しいユーザ管理者IDを入力する。

ユーザ管理者ID変更 ログアウト

現在のユーザ管理者IDを入力し、変更後のIDを2回入力してください。

古いユーザ管理者ID : ●●●●

新しいユーザ管理者ID : ●●●●●●●●●●●●●●

新しいユーザ管理者IDの確認入力 :

書込

利用メニューへ戻る

4 もう一度同じユーザIDを入力する。

ユーザ管理者ID変更 ログアウト

現在のユーザ管理者IDを入力し、変更後のIDを2回入力してください。

古いユーザ管理者ID : ●●●●

新しいユーザ管理者ID : ●●●●●●●●●●●●●●

新しいユーザ管理者IDの確認入力 : ●●●●●●●●●●●●●●

書込

利用メニューへ戻る

5 「書込」をクリックする。

ユーザ管理者ID変更 ログアウト

現在のユーザ管理者IDを入力し、変更後のIDを2回入力してください。

古いユーザ管理者ID : ●●●●

新しいユーザ管理者ID : ●●●●●●●●●●●●●●

新しいユーザ管理者IDの確認入力 : ●●●●●●●●●●●●●●

書込

利用メニューへ戻る

お知らせ

- ユーザ管理者IDは半角英数字で16文字まで設定ができます。16文字を超えて設定することはできません。
- ユーザ管理者IDは忘れないようにご注意ください。ユーザ管理者IDを忘れるとユーザ管理者用の操作ができなくなります。ユーザ管理者IDを忘れた場合は、当社のサービス取扱所または販売店にご相談ください。

停電になったときは

- ・ 停電中（停電電話機のみ使用できるとき）は音声メールの機能は一切ご使用できません。また、停電中に音声メールに電話をかけた場合は呼び出しに応答しません。
- ・ メッセージ録音中に停電になった場合、主装置がバッテリーなどにより動いている（回線がつながっている）間に録音を終了してください。録音中に主装置が停止した場合（回線が切断された場合）には、録音は保持されません。
- ・ 停電になった場合でも、それまでに録音終了していた内容などは保持されます。ただし、このときに音声メールのバッテリーがなくなってしまった場合には保持されません。
- ・ 停電などが発生した場合、音声メールに録音されているファイルが壊れることがあります。大切なメッセージは、その都度パソコンに保存してください。ファイルが壊れたときには、音声メールのフォーマットとリセットを行ってください。
- ・ 音声メールユニットは、電源を落とした状態で20日以上放置しないでください。音声メールのバッテリーがなくなり、録音されているファイルや設定データが消去されて使用できなくなります。その場合は、電源を入れてフォーマットを行ってください。充電状態によっては20日以内でもバッテリーがなくなる場合があります。バッテリーをフル充電するには、一日以上電源を入れた状態にしてください。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、修理を依頼される前に次の点をご確認ください。

| こんなときは | 原因 | 確認してください | 参照ページ | |
|---|-------------------------------------|--|-----------------------------|--|
| 音声メールに電話がつかない | 主装置の電源が入っていない | 主装置の電源スイッチをオンにしてください | — | |
| | 主装置の電源コードが抜けている | 電源コードを正しく接続してください | — | |
| | 停電中 | 停電が復旧するまで使えません | ☛P125 | |
| | 主装置と音声メールの通信ができていない | | 主装置と音声メールの間の接続を正しく行ってください | |
| | | | 音声メールの設定が正しく行われているか確認してください | |
| 電話回線が混み合っている | しばらく待ってからかけ直してください | — | | |
| 音声メールを操作できない | ダイヤル回線の電話機を使っている | プッシュホン電話機または回転ダイヤル式電話機でトーン信号 (PB) に切り替えられる電話機をお使いください | — | |
| メールまたはコメントを録音できない | 「システム設定」で設定された録音件数を超えている | 不要なメールを消去してください | ☛P41 | |
| | 「システム設定」で設定された録音時間を超えている | 「システム設定」で設定された録音時間以内で録音してください | — | |
| | 音声メール内のメールがいっぱいになっている | 不要なメールを消去してください | ☛P41 | |
| 録音したメールが再生できない | 「システム設定」で設定されたメール保存日数を過ぎている | メールは消去されています (故障ではありません) 消去したくないメールはバックアップしてください | ☛P39 | |
| | 録音終了前に停電した | 録音中に停電すると、メッセージは保持されません 復旧してから、再度録音してください | ☛P125 | |
| IVRで音声メールにつながらない | 作成したシナリオに誤りがある | シナリオを確認し、正しいシナリオを入力してください | ☛P55 | |
| パソコンから音声メールにつながらない | 入力した音声メールのIPアドレスに誤りがある | 音声メールのIPアドレスを確認し、正しいIPアドレスを入力してください | ☛P113 | |
| | パソコンの設定と合っていない | パソコンと音声メールのIPアドレスやサブネットマスクを正しく設定してください | ☛P113 | |
| 再生URLまたは発信URLにアクセスし、「要求を受け付けました。」と表示されても電話機に着信が入らない | 電話回線が混み合ってる | しばらく待ってから、再生URLまたは発信URLにアクセスしてください | ☛P74 ☛P75 | |
| | 音声メールにワンタッチコールバック要求がされていない | お使いの携帯電話やスマートフォンによっては、キャッシュ機能により古い情報が表示されることがあります。詳しくはお使いの携帯電話やスマートフォンの取扱説明書を参照してください。 | — | |
| FTPサーバへの音声メールアップロードに失敗する | 通信回線が混み合っている。また、アップロードするファイルサイズが大きい | 使用するルータの設定によっては失敗することがあります。お使いのルータの設定を確認してください。 | ☛P98 | |

アルファベット

| | |
|--------------------|-----------|
| FTP 接続 | 98、99、117 |
| FTPS 接続 | 98、99、117 |
| ID コード | 73 |
| IP アドレス設定 | 113 |
| IP 系システムデータ設定 | 113 |
| IVR 機能 | 49 |
| 操作の流れ | 49 |
| 利用回数を確認する | 58 |
| PB | 14 |
| VLAN 環境設定 | 114 |
| VM | |
| VM メモリをフォーマットする | 123 |
| VM をリセットする | 122 |
| WEB 設定データ | |
| アップロードする (PC → VM) | 120 |
| ダウンロードする (VM → PC) | 121 |
| Web ブラウザの設定 | 84 |

五十音

【ア行】

| | |
|-------------------|----------------|
| アップロードファイル | 98 |
| 暗証番号 | |
| ダイヤルイン暗証番号を設定する | 73 |
| 登録する | 59 |
| メール再生用 | 32、34、36、39、59 |
| ユーザ暗証番号 | 73 |
| 録音・消去用 | 24、26、41、42、59 |
| 一般ユーザの利用メニュー | 85 |
| 画面の流れ | 85 |
| 個別ガイダンスをアップロードする | 103 |
| 個別ガイダンスをダウンロードする | 105 |
| 設定画面の流れ | 91 |
| ログインする | 89 |
| 録音メッセージを消去する | 96 |
| 録音メッセージをパソコンに保存する | 92 |
| 置き場所 | 4、7、8 |
| 同じメールを繰り返し再生する | 32、34、36 |
| 音声メール | 14、15 |
| 操作ボタン | 16 |
| 音声メールアップロード | |
| 設定する | 117 |
| 録音内容を一括管理する | 98 |

【カ行】

外出先から利用する

| | |
|-----------------|----|
| 機能アクセス | 71 |
| 内線呼出 | 69 |
| 留守番電話が応答したときに他の | |
| 電話機を呼び出す | 46 |
| メールを送る | 26 |
| メールを再生する | 36 |
| 外線に転送する | 70 |

外線転送

外線ボックス

ガイダンス機能

| | |
|-------------------|-------------|
| お使いの電話機のボックスに | |
| オリジナルのガイダンスを録音する | 64 |
| オリジナルのガイダンスを録音する | 64 |
| ガイダンス番号 | 61、62、64、65 |
| システムモードに対応したガイダンス | 63 |
| 登録 | 62、63 |
| 登録を解除する | 62 |
| 録音 | 57、64、65 |

機能アクセス

休憩モードの切り替え

共通ボックス

共用ガイダンス

| | |
|--------|-----|
| アップロード | 108 |
| ダウンロード | 109 |
| 録音 | 65 |

携帯電話

故障かな？と思ったら

コメント録音

| | |
|------------------|-------|
| 位置を決める | 23、40 |
| 再生中のメールにコメントを付ける | 40 |
| 録音後にメールを転送する | 23、40 |
| 録音内容にコメントを付ける | 23 |
| 録音を一時停止する | 23、40 |
| 録音を途中で取り消す | 23、40 |

コンソール

【サ行】

再生ボタン

| | |
|------------------|----|
| 再生する | 34 |
| ボタンを押さずにメールを再生する | 34 |
| メールをバックアップする | 39 |

| | | | |
|-----------------|-------|----------------------|----------|
| システム設定で利用できる機能 | 76 | 留守番電話の転送 | 46 |
| 通話録音 | 77 | 添付品 | 11 |
| その他 | 79 | 動作フロー | 50 |
| メールを送る | 77 | 同報ボックス | 15 |
| メールを再生／消去する | 78 | 同報メール | 25 |
| システムモード | 63 | トーカー | 67 |
| 優先順位 | 63 | 登録されているトーカーを確認する | 68 |
| 手動解除 | 71 | 登録する | 68 |
| 自動通話録音 | 14、18 | トーカー番号 | 67、68 |
| 録音モードを切り替える | 19、21 | トーン信号 | 14 |
| 自動通話録音の種類 | 18、20 | 特番 | 11 |
| シナリオ | | 取扱説明書の構成 | 10 |
| 確認する | 57 | 【ナ行】 | |
| 作成（編集）する | 55 | 内線ボックス | 15 |
| 初期設定シナリオ | 50 | 内線呼出 | 69 |
| シナリオコマンド | 52 | 【ハ行】 | |
| シナリオコマンドを組み合わせる | 51 | パソコンの接続 | 83 |
| シナリオのアクセス数を確認する | 58 | お客様にご用意いただくもの | 83 |
| 手動通話録音 | 14、22 | 動作環境について | 83 |
| 手動で録音する | 22 | 標準電話機 | 16 |
| 録音モードを切り替える | 19、21 | 昼間モードの切り替え | 71 |
| 仕様 | 130 | 付加 DID 失敗時転送先設定 | 111 |
| スマートフォン | 30 | プリセクションサービス | 66 |
| 設置環境 | 4、7、8 | 保守サービス | 131 |
| 接続タイムアウト | 119 | 【マ行】 | |
| 専用線 | 70 | メール再生 | |
| 【タ行】 | | 一覧から選択する | 38 |
| ダイヤルイン暗証番号 | 73 | ダイヤルボタンでの操作 | 32、34、36 |
| 着信代行 | 14 | 再生後のランプ表示 | 35 |
| 停電になったとき | 125 | 再生する | 34 |
| 電子メールサーバを利用する | 99 | 再生中の表示操作 | 35 |
| 電子メールサーバ設定 | 101 | 再生を中止する | 34、39 |
| 電子メール通知設定 | 102 | 転送する | 28 |
| 転送 | | バックアップする | 39 |
| 外線転送 | 70 | ハンドセットを置いたまま再生する | 38 |
| 着信を音声メールに転送する | 66 | ボックスボタンを押さずにメールを再生する | 34 |
| 転送先が設定されていないとき | 46 | | |
| 転送先番号 | 70 | | |
| 転送先を取り消す | 28 | | |
| 転送を設定する | 111 | | |
| 内線電話機に転送する | 69 | | |
| メールの転送 | 28 | | |

| | |
|-----------------------------|--------------------------------|
| メール送信 | 24 |
| 送信ボタンを押さずにメールを送る | 25 |
| 送信を中止する | 24 |
| 内線電話機から送る | 26、36 |
| 内線電話機がお話中、 または応答しないときに送る | 25 |
| メールサービス | 26、36 |
| メール再生順設定 | 110 |
| メール到達通知 | 32 |
| サービスを開始する | 31 |
| サービスを停止する | 33 |
| 通知先を携帯電話やスマートフォンに 設定する | 30 |
| メール到達時のランプ表示 | 29 |
| メール到達通知に回答する | 32 |
| メール到達通知を設定する | 30 |
| メール到達通知（電子メール） | 99 |
| 設定する | 102 |
| メール到達表示 | 29 |
| メールの消去 | |
| 再生中のメールを消去する | 41 |
| すべてのメールを消去する | 42 |
| バックアップされたメールを消去する | 41 |
| メールボックス | 15 |
| メールボックスの番号 | 89 |
| ボックスに対応したガイダンスを登録する | 62 |
| メール録音通話切替先 | 46 |
| モニタ中の相手の方とお話する | 48 |
| 【ヤ行】 | |
| 夜間モードの切り替え | 71 |
| ユーザ暗証番号を消去する | 73 |
| ユーザ管理者の利用メニュー | 86 |
| 画面の流れ | 86 |
| 個別ガイダンスをアップロードする | 104 |
| 個別ガイダンスをダウンロードする | 106 |
| 設定画面の流れ | 91 |
| ユーザ管理者 ID を変更する | 124 |
| ログインする | 90 |
| 録音メッセージを消去する | 97 |
| 録音メッセージをパソコンに保存する | 94 |
| 【ラ行】 | |
| ランプ表示 | 17 |
| 留守番電話 | 43 |
| 解除 | 45、71 |
| 起動 | 45、71 |
| 再度、転送する | 46 |
| 設定する | 43 |
| 設定予約を取り消す | 43 |
| 設定を解除する | 44 |
| モニタする | 48 |
| 留守番電話が応答したとき、他の電話機に 転送する | 46 |
| 留守ボタンを押さずに解除する | 45 |
| 留守ボタンを押さずに起動する | 45 |
| 留守番電話モニタ可表示 | 47 |
| 録音 | |
| 一時停止する | 18、20、22、23、24、 26、40、64、65 |
| 件数を設定する | 19、21、22 |
| コメントを付ける | 23 |
| 時間が一定時間に満たなかったとき | 22、23、25、26、40、48 |
| 時間が一定時間を超えたとき | 19、21、22 |
| 時間を設定する | 19、21、22 |
| 終了する | 18、20、22、23、24、26、 40、64、65 |
| 中止後に録音を再開したいとき | 18、20、22 |
| 中止する | 18、20、22 |
| 内容を一括管理する（WEB 機能） | 98 |
| 録音可能時間・件数確認 | 112 |
| 録音可能時間通知 | 99 |
| 録音モードを切り替える | 19、21 |
| 【ワ行】 | |
| ワンタッチコールバック | |
| 機能を設定する | 115 |
| 再生を利用する | 74 |
| サービスを開始する | 31 |
| サービスを停止する | 33 |
| 通知先を設定する | 30 |
| 発信通知番号を設定する | 116 |
| 発信を利用する | 75 |

■ ユニットタイプ

| | |
|-------------|--|
| 同時再生・録音回線数 | 最大8回線（1セットあたり） |
| 音声蓄積媒体 | 半導体（フラッシュメモリ） |
| メモリ容量 | 4 Gbyte |
| 録音可能時間 | 最大約100時間 |
| メモリユニット搭載数 | 最大1枚 |
| 録音・再生ビットレート | 64 kbps（ μ -Law用） |
| ボックス数 | ボックス：最大500（1システムあたり） 同報ボックス：最大16（1システムあたり） |
| 1メールあたり録音時間 | 最大時間を設定可能（設定可能時間：1～30分または制限なし） |
| 録音件数 | 最大255件（1ボックスあたり） |
| LANインタフェース | IEEE802.3（10BASE-T）、IEEE802.3u（100BASE-TX）自動認識 |
| ポート数 | 1ポート |
| 接続コネクタ | RJ45（8ピンモジュラジャック） |
| 最大伝送距離 | 100 m |

保守サービスのご案内

●保証について

保証期間（1年間）中の故障につきましては、「保証書」の記載にもとづき当社が無償で修理いたしますので「保証書」は大切に保管してください。（詳しくは「保証書」の無料修理規定をご覧ください。）

※本装置に貼られている封印シールを剥がしたり、分解したりしないでください。封印シールを剥がしたり分解した場合は、本保証の対象外となります。

●保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。

当社では、安心して商品をご利用いただける定額保守サービスをお勧めしております。

保守サービスの種類は

| | |
|----------|--|
| 定額保守サービス | ●毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時には当社が無料で修理を行うサービスです。 |
| 実費保守サービス | ●修理に要した費用をいただきます。 （修理費として、お客様宅へおうかがいするための費用および修理に要する技術的費用・部品代をいただきます。） （故障内容によっては高額になる場合もありますのでご了承ください。） ●当社のサービス取扱所まで商品をお持ちいただいた場合は、お客様宅へおうかがいするための費用が不要になります。 |

●故障に関するお問い合わせ（24時間年中無休※）

局番無しの113番（無料）へご連絡ください。

※携帯電話・PHSからは「0120-444113」（無料）にてお受けしております。

※17:00～翌日9:00までは、録音にて受付しており順次ご対応いたします。

※故障修理などの対応時間は9:00～17:00です。

●その他

定額保守サービス料金については、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センタ

■NTT東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先： 0120-970413

※携帯電話・PHS・050IP電話からのご利用は
03-5667-7100（通話料金がかかります）

受付時間 9:00～17:00

※年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

■NTT西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先： 0120-248995

受付時間 9:00～17:00

※年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

●補修用部品の保有期間について

本商品の補修用性能部品（商品の性能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後、7年間保有しております。



この取扱説明書は、森林資源保護のため、再生紙を使用しています。 環境を考えて大豆インクを使用しています

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報などを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ： <http://web116.jp/ced/>
<http://www.ntt-west.co.jp/kiki/>

使い方などで不明の点がございましたら、NTT通信機器お取扱相談センターへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センター

■NTT東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先： 0120-970413

※携帯電話・PHS・050IP電話からのご利用は
03-5667-7100（通話料金がかかります）

受付時間 9：00～17：00

※年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

■NTT西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先： 0120-248995

受付時間 9：00～17：00

※年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

©2013 NTTEAST・NTTWEST



本3252-2 (2013.9)
NXLP-VMトリセツ-〈2〉

4389063000|H02